

日本語でつながる
All Begins with Communication

 とよた日本語学習支援システム

.....とよた日本語能力判定.....

対象者判定の手引き

第3版(改訂版)

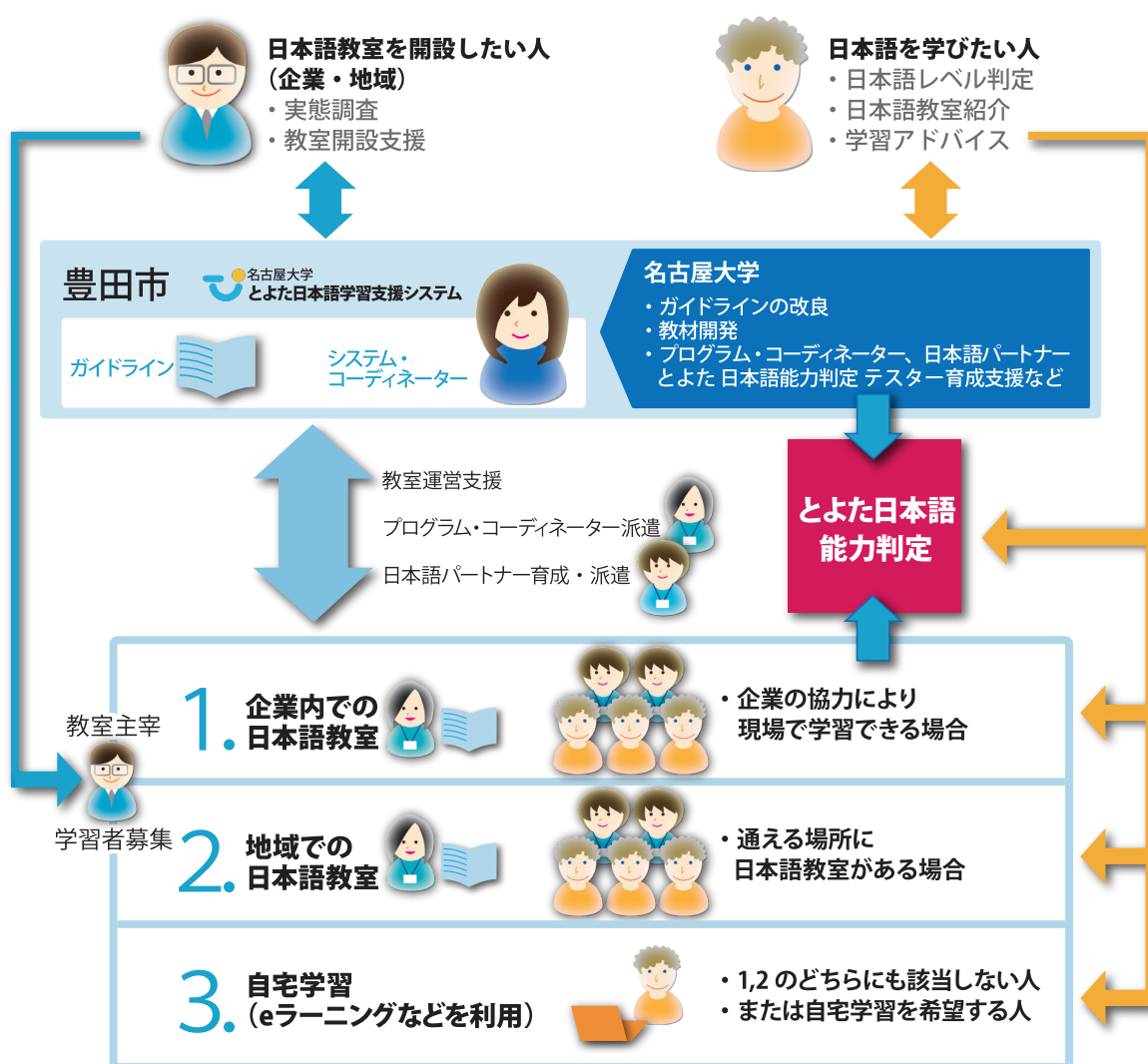


豊田市

はじめに

豊田市は、名古屋大学と共働で多文化共生社会の実現を目指し、平成20年度から市内に在住・在勤の外国人が地域社会で日常生活を営むために最低限必要な日本語能力を習得できる仕組みの構築と普及を目的とした「とよた日本語学習支援システム」を運営しています。

とよた日本語能力判定は、「とよた日本語学習支援ガイドライン」に基づき、日本語教室の開設時や外国籍住民のレベル判定を行います。本書は、とよた日本語学習支援システムにおける対象者判定テストのための手引きです。これからそのテストになろうとしている方に対して行われるテストトレーニングのためのテキストとして、またテストとして活動される際にマニュアルとして参照できることを目的に作成されました。



この手引きには対象者判定の考え方や判定基準、テストの構成と手順、留意事項の後に、テストの判定マニュアルが書かれています。また、実際の「聞く・話す」の判定の様子を撮影した動画を見ながら、判定の方法がわかるように構成されています。できるだけ多くの方々に対し、わかりやすく短時間で、だれでも同じように判定が行えるようになることを目指して作成されたものです。日本語学習支援の教室などでご活用いただければ幸いです。

第3版（改訂版）発行にあたって

『とよた日本語能力判定 対象者判定の手引き』の初版を2011年8月に発行してから5年、第2版を発行してから4年半が経ちました。初版発行からの5年間で約150人の対象者判定テストを育成し、700人以上の受験者に対してテストを実施してきました。これまでの対象者判定テストの育成やテストの実施で明らかになった課題を解決するためには大幅な改訂をする必要があり、第3版を発行するに至りました。

第3版では大きく4点について改訂を行っています。

まず、Can-do statementsの再選定です。初版・第2版のCan-do statementsでは、「聞く」「話す」「やりとり」「読む」「書く」の5技能について、とよた日本語能力レベルの0レベルから4レベルまでの幅広いレベルを取り扱っていました。第3版では項目数はそのままに、「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能について、0レベルから3レベルまでの範囲で言語行動を再選定しました。対象者判定で判定対象としている0レベル、1レベル、2レベル以上という3段階で考えたとき、双方向的な「やりとり」を除く、一方向的に「聞く」「話す」ことは困難度が高く、1技能としてそれぞれをとりあげると、テストの内容よりも難しい言語行動について尋ねなければならなくなります。その中でさらに幅広いレベルについて尋ねると、0レベル、1レベルの人はほとんどの項目に「できない」と答えることになります。0レベル、1レベルの人でも日本語のできる言語行動を知り、その上で次の目標を見つけられるよう、レベルを絞って言語行動を選定しました。また、とよた日本語能力判定が考える日本語能力である、「相互の歩み寄りを通して成り立つ柔軟で可変的な能力」について尋ねるためには、一方向的な「聞く」「話す」項目よりも、双方向的な「やりとり」に関する項目を増やしたいと考えました。しかし、言語能力を「やりとり」「読む」「書く」の3技能に分けることは一般的とは言えません。そのため、より多くの人に理解してもらいやすいよう「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能とすることにしました。ただし、この4技能は「（やりとりの中で）聞く」「（やりとりの中で）話す」というように、基本的には相互行為の中での技能を想定しています。

2つ目は「聞く・話す」判定のインタビュータスクの修正とB版の作成です。初版・第2版で作成され、実施されてきたインタビュータスクをA版とし、第3版では新たにB版を作成しました。受験者の中には何年にもわたってとよた日本語学習支援システムの教室に参加している人もいます。そのような受験者が試験内容を覚えてしまい、正確な判定ができなくなることを防ぐため、A版とはインタビューで尋ねる質問の順番を入れ替えたB版を作成しました。これまで実施されてきたA版も、より自然な会話の中で「聞く・話す」能力を測れるよう、テストの質問にバリエーションを追加しました。

3つ目は「読む・書く」判定の修正とB版の作成です。まず、受験者が自分の基本的な情報について読んで書く問題（氏名、住所、生年月日）、読んで選ぶ・記入する問題（性別、国籍、年齢）を修正しました。これまではそれぞれを問題として並べていただけでしたが、第3版ではより公的な手続きなどで目にする形に近づけ、フォームに記入する形式での出題に変更しました。また、自分で書かなければならないもの、読んで選べればよいもの・数字を記入できればよいものを再検討し、読んで書く問題は氏名、住所、国籍とし、読んで選ぶ・記入する問題は生年月日、年齢、性別としました。そして、「聞く・話す」判定のインタビュータスクと同様に、「読む・書く」判定でもより正確な判定を行うため、初版・第2版で作成され、実施されてきたものをA版として、第3版では新たにB版を作成しました。「読む・書く」判定のB版もA版と同様、日常生活や仕事で目にすると思われるものを出题しています。

最後に、対象者判定試験の対応言語にネパール語版を追加しました。初版の発行時に比べ、豊田市に在住・在勤の外国人は一層多国籍化しました。中でもネパール国籍の住民は平成25年10月までは200人程度でしたが、平成27年10月には400人へと倍増しました。受験者もネパール語を母語とする人の受験が増え、英語で対応ができない場合に正確な判定ができないケースが目立ってきました。このような市内の外国人の多様化も踏まえ、第3版にはネパール語を追加して全11言語（日本語含む）で対応ができるようになりました。

第3版も初版・第2版と同様、多くの方々にわかりやすいこと、だれでも同じように判定が行えることを目指して改訂を行いました。とよた日本語能力判定の理念をご理解いただき、日本語学習支援の教室などでご活用いただければ幸いです。

Contents

とよた日本語能力判定「対象者判定」の手引き

- はじめに

- 第3版（改定版）発行にあたって

- Chapter 1

とよた日本語能力判定「対象者判定」とは

- 1 とよた日本語能力判定の基本的理念・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
- 2 とよた日本語学習支援システムにおける「対象者判定」の位置づけ・・・・・・・・・・12
- 3 とよた日本語能力判定「対象者判定」の実施目的・実施対象・・・・・・・・・・13
- 4 とよた日本語能力判定の評価基準・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14

- Chapter 2

とよた日本語学習支援システムにおける「対象者判定」

- 1 とよた日本語能力判定「対象者判定」の構成・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
- 2 とよた日本語能力判定「対象者判定」実施の流れ・・・・・・・・・・・・・・・・・・17
- 3 対象者判定テストの募集と応募・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
- 4 「対象者判定」実施前①：テストが準備するもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
- 5 「対象者判定」実施前②：当日の動き・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20
- 6 「対象者判定」の実施手順・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21
- 7 「対象者判定」実施後①：クラスの判定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22
- 8 「対象者判定」実施後②：結果の入力と送付・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23
- 9 「対象者判定」実施後②：判定結果データの入力と送付・・・・・・・・・・・・24
- 10 「対象者判定」判定結果の通知・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・26

- Chapter 3

「対象者判定」の実施とレベルの判定

- 1 Can-do statements・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・28
- 2 「読む・書く」判定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・29
- 3 「聞く・話す」判定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・31
- 4 実施にあたって注意すべきこと・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・40
- 5 読む能力の判定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・44
- 6 書く能力の判定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・47
- 7 聞く能力の判定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・53
- 8 話す能力の判定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・54

● Chapter 4

動画について

- 1 動画の内容・・60
- 2 1レベルの受験者の「聞く・話す」判定・・・・・・・・・・・・・・・・61
- 3 2レベルの受験者の「聞く・話す」判定・・・・・・・・・・・・・・・・72

● Chapter 5

資料

- 【1】 「聞く・話す」判定シート（A版・B版）・・・・・・・・・・・・84
 - 【2】 ロールカード（多言語）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・100
 - 【3】 絵カード（2種）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・112
 - 【4】 Can-do statements（日本語）・・・・・・・・・・・・114
 - 【5】 「読む・書く」判定シート（A・B版：英語）・・・・・・・・115
 - 【6】 判定結果報告シート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・119
-
- 参考文献・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・120

● Chapter 1

とよた日本語能力判定「対象者判定」とは

- 1 とよた日本語能力判定の基本的理念
- 2 とよた日本語学習支援システムにおける「対象者判定」の位置づけ
- 3 とよた日本語能力判定「対象者判定」の実施目的・実施対象
- 4 とよた日本語能力判定の評価基準

1. とよた日本語能力判定の基本的理念

なぜ日本語能力判定が必要なのでしょうか？

教室を始めることになり学習者を募集したところ、いろいろなレベルや要求をもった人が集まったとします。ある人は日常生活の基本的な会話ができるようになりたいと言っています。また、ある人は仕事のために高いレベルの日本語が話せるようになりたいと言っています。さらに、別の人にはもっと漢字を勉強したいと言っています。さあ、どうしましょうか？

みんなの要望にいつぺんに答えることはできません。教室には限度がありますから、とよた日本語学習支援システムでは、まずは日本語を話したり、聞いたりすることがほとんどできない人や、少しはできても限られたことしか伝えられなくて生活のコミュニケーションの場で困っている人を対象に教室を開くことにしました。しかし、そういう人をどのように見分けたいのでしょうか？そこで、日本語能力レベルを示すものさしを作ろうと考えました。このものさしに沿って、一定のレベル以下の人を支援対象者と認定し、日本語学習の教室に入ってもらおうのです。

これまでも、日本語能力レベルを測るさまざまな試験はありました。しかし、それらは教室で日本語を学習した人を対象としたものがほとんどで、日本に来て10年、20年と経つのに日本語を勉強する機会に恵まれずに、まだひらがなやカタカナもよく読めないという人には難しすぎます。そのような人たちは試験の問題文も読むことができません。それに、従来の試験は、使える日本語を測る試験ではなく、学習したことを正しく覚えているかどうかを測る試験が中心でした。そこで、新たに「知っていること」ではなく、「できること」を測る「とよた日本語能力判定」を作りました。この本は、この判定のしかたを解説するものです。

どのような経緯で基準を決めたのでしょうか？

「とよた日本語学習支援システム」を構築する前に、豊田市に住む外国籍住民247名と日本人87名にアンケートおよびインタビューによる予備調査を実施しました。これは、外国籍住民が普段の生活場面や仕事の間、保護者として関わる教育の場で、どのくらい日本語を使うのか（使用状況）、日本語を使って十分対応できるのか（日本語能力）、それができることはどのくらい重要か（日本語の必要度）に関する調査を行いました。その結果、さまざまな場面で日本語を使う必要があり、多くの人々がまだ自分の日本語能力では十分ではないと感じていることがわかりました。日本人からも簡単なことだけでも日本語でできるようになると、外国人と日本人の間に交流が生まれて、お互い暮らしやすくなるという意見が多く寄せられました。また、対象となった外国籍住民のうち約1割が日本語で書かれた自分の名前が読めない、約2割が自分の名前をカタカナで書けないこともわかりました。

この調査の結果に基づいて、「とよた日本語能力判定」の考え方や、基準、テスト作成の方針、問題形式、具体的な問題などを決めていきました。この調査の結果については、巻末の参考文献に報告書が載せてありますのでご覧ください。

だれが、どのようにこの判定を作ったのでしょうか？

豊田市から「とよた日本語学習支援システム」構築の事業を委託された名古屋大学を中心として、東海中部地域で日本語教育に関わる方々と「とよた日本語能力判定ワーキング・グループ（以下判定WG）」を2008年に作りました。この判定WGで基本理念から話し合い、一步一步作り上げていきました。

初めての判定試験を2008年に実施してから、その結果に基づいて何度も判定基準の見直しやテスト問題の差し替えを行ってきました。これまでに簡易試験も含めると1600人以上の外国籍住民に判定試験を実施してきました。その間、判定試験実施にあたっては、判定WGメンバー以外にも、市の職員の方や工場のスタッフなど多くの方々の協力をいただきました。

判定基準を作るにあたって、何を参考にしたのでしょうか？

豊田市の実態に基づいた判定にするために、2007年に行った前述の予備調査がもちろん基本になっています。しかし、その基準は、広くほかの領域とも比較できるものでなくてはなりません。そこで現在ヨーロッパはもちろん世界各国の言語教育に大きな影響を与えている「ヨーロッパ言語共通参照枠：Common European Framework of Reference for Languages (CEFR)」の基準を参考にしました。この基準に関しては、やはり巻末の参考文献に載せてありますので、参考にさせていただきます。

「とよた日本語能力判定」で考える日本語能力とは何ですか？

「とよた日本語能力判定」は、多くの人にわかりやすい、そしてみんなに共通してもらえものさしであることを目指しています。以下に「とよた日本語学習支援システム」の考える日本語能力について述べます。

◆ 相手とのやりとりの中で変わりうる柔軟で可変的な能力

言語能力を個人がもつ固定した能力として考えるのではなく、状況や相手に応じて、変動するものだと考えます。コミュニケーションとはお互いが協力して作り上げていくもので、ゆっくり話してもらえるように頼んだり、聞き返したりできれば、言語能力がかならずしも十分でなくても、相手の言っていることがわかったり、言いたいことを相手に助けてもらいながら意図を伝えることができます。とよた日本語能力判定では、そのような話し手と聞き手のやり取りの中で、相互の歩み寄りを通して成り立つ柔軟で可変的な能力をとらえることをめざします。

したがって、判定でも日本人同士が普通にやりとりするときの言い方から、徐々にやさしい言い方に変えていくことによって、どこまで支援すればコミュニケーションが成り立つのかという視点で日本語能力レベルを判定します。

◆ コミュニケーション能力

正確さよりも意図が伝わるかどうかを重視します。日本語として多少不自然でも、聞いたり、読んだりする人が推測できれば、コミュニケーションは成り立ちます。また、コミュニケーションが成り立つためには、言葉の力だけではなく、その人がもっているさまざまな知識や経験も必要です。言いたいことを表わす日本語がわからなければ具体的な例などを挙げたり、聞いたりしながら、相手にわかってもらう努力をします。このように、日本語の初歩段階では、言葉の数も限られ、文法なども正確ではないかもしれませんが、意図が伝わるのが日々の生活の中では重要です。ですから、話す・書く能力では、まずは文脈や周囲の状況などの助けを借りても「伝わる」ことを第一に考えます。

また、聞く・読む能力も、自分も持っているすべての知識（日本語の能力ではなく、自分の国の言葉の力（たとえば中国の人が漢字を知っていること）も含まれます）を使って、どれだけ日本語で話されていることや書かれていることを理解できるかが測られます。

しかし、思わぬ誤解をまねいたりしないために、また人間関係をよりよいものにしていくために、状況や文脈のないところでも、意図が正確に伝えられたり、相手の意図がわかるようになっていくことは重要です。そのため、コミュニケーションの能力レベルが次第に上がるにつれ、より複雑な内容や不慣れな状況にも対応できるようになっていくことが求められます。

どんな方針に基づいて判定試験は作られたのでしょうか？

判定WGでは次のような点に留意して判定試験を作成しました。

➤ 日常生活の中で使う日本語

判定に使われるタスク（問題）は、市民として生活する中で必要とされる日本語を対象としています。これは2007年度に行った前述の予備調査に基づいて、買い物や医療、団地での付き合いなど地域での活動、働いている工場など職場での活動、子どものいる人にとっては教育関係の場面を想定して作成されました。

➤ 判定の基準の具体化

判定の結果は、単なるレベルだけを知らせるのではなく、その人が日本語を使って何ができるかをできるだけわかりやすい具体的な行動の形で記述するようにしました。たとえば「はっきりゆっくり言ってもらえれば住んでいるところを聞くなどの質問の意味がわかる」（P14の表1-2を参照）のような形で示します。これは、受験者本人はもちろん、豊田市内に住んでいる住民や企業の人などにも共通して理解・認識してもらえるようにしたいからです。そして、この判定が人々の情報交換やコミュニケーションに役立つようになっていくことを願っています。

➤ 学習者の気づきをやる気につなげる

「手紙などの短いメッセージが書ける」のような「…ができる」という具体的な行動を示した文（Can-do statements）のリストを使って、自分ができるかどうかを受験者自身に判定してもらいます。この活動を通して、今の自分の能力をできるだけ具体的に把握し、今後の日本語学習への動機づけや学習したことの成果の手ごたえを感じられるようにしていくことを目指しています。

とよた日本語能力判定ではどのようなレベルを設定しているのでしょうか？

とよた日本語学習支援システムに関わる全ての人々が共通してもっているべき能力基準尺度（ものさし）として、次の表 1-1 の日本語能力レベル基準を設定しました。

表 1-1 とよた日本語能力レベル

レベル	段階	内容
6	熟達段階	より抽象的な議論が日本語を用いてできる
5	深化段階	効果的なコミュニケーションが日本語を用いてできる
4	拡大段階	より多くの領域で日本語を用いてコミュニケーションができる
3	自立段階	自立して自分の身の周りの社会参加が日本語を用いてできる
2	要支援段階	周囲の支援に基づいて、自分の身の周りの社会参加が日本語で行える
1	基礎段階	限られた単語を理解したり、話す・書くことができる
0	未学習段階	日本語を話したり聞いたりすることがほとんどできない

2 レベルの要支援段階とはどんなレベルですか？

要支援段階の 2 レベルは、必要に応じて他の人が助けてくれて、あらかじめ決まっているような状況や短い会話なら、比較的容易に対話ができるレベルです。あまり苦労しなくても簡単に日常的なやりとりができ、いつもだいたいどんなことが話されるか予測できるような状況ならば、身近な話題についての考えや情報を交換し、質問に答えることができます。

また、要支援段階の人は、やさしく書かれていれば日ごろ接する機会の多い語や文を読むことができます。人に教えてもらったり、辞書などの助けがあれば、短い文を書いたりすることもできます。周囲の配慮がまだ必要ではありますが、なんとか日常生活の限られた範囲の中では日本語を使って社会参加ができるレベルです。日常生活の中でもあまり接する機会のない、より複雑な状況には、まだ対応できません。

それに対し、基礎段階の 1 レベルは、日ごろ接する機会の多い言葉・文字は覚えていて、その言葉を使って理解したり、答えたりはできますが、それ以外になるとやりとりすることが難しい段階です。基本的に単語レベルでの答えしかできません。文字も、名前や住所など、普段よく読んだり書いたりする限られた文字については、理解したり書いたりできますが、手紙など短いメッセージを読んだり、書いたりすることはまだ難しく、単語レベルの読み書きが中心です。

2. とよた日本語学習支援システムにおける「対象者判定」の位置づけ

「とよた日本語学習支援システム」の日本語能力判定には、「日本語教室における支援対象者の認定（対象者判定）」と「レベル認定を目的とした判定試験（レベル判定）」があります。

対象者判定

教室開設の判断やクラス分けのために行うものです。「聞く」「話す」「読む」「書く」が0, 1レベルか2レベル以上であるかを判定します。0, 1レベルであれば、本システムの支援対象者として認定します。

レベル判定

「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能別に0レベルから4レベルまでの判定を行います。学習者にとっては現状の自分の日本語能力レベルを把握するとともに、学習成果の確認に役立ちます。企業などにとっては、採用基準、人事考課等への活用が期待できます

本書は、このうちの「対象者判定」のみについて述べられています。

3. とよた日本語能力判定「対象者判定」の実施目的・実施対象

(1) 実施目的

「とよた日本語学習支援システム」が開設・運営支援する日本語教室での支援対象者を認定することを目的とした判定試験です。

受験者の「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能を各々「0レベル」「1レベル」「2レベル以上」の3つに判定し、さらに「会話クラス」「読み書きクラス」「支援対象外」に振り分けます。その結果をもとに、各受験者にどのクラスに入ることができるか知らせます。また、新しく教室を開設するときなどには、学習者数が一定以上集まらないとクラスを開講できないこともありますので、クラスを開講するか否か判断する材料ともなります。

また同じテストをコースの終わり、あるいは次のコースのはじめに実施することで、受験者自身が自分の日本語能力を把握できると同時に学習によってどれだけ進歩したか知ることができます。このことによって、日本語学習の目標を確認し学習の動機づけや学習の手ごたえとすることが期待されます。

(2) 実施対象

豊田市に在住・在勤で、本システムが開設・運営支援する日本語教室の受講を希望する外国籍住民を対象とします。

4. とよた日本語能力判定の評価基準

本システムでは外国籍住民の日本語能力を0～6レベルまでの7段階に区分し、おおむねどのようなことができるかの内容と4技能別の4レベルまでの具体的な行動を記述した「とよた日本語能力レベルと行動記述（表1-2）」を本システム共通の基準として設定しています。

表1-2 とよた日本語能力レベルと行動記述

レベル	段階	内容	聞く	話す	読む	書く
4	拡大段階	より多くの領域で日本語を用いてコミュニケーションができる。	あまり接する機会の多くない車内放送や病院などのアナウンスを聞いて、必要な行動が取れる。仕事や個人的な話題に関して説明を聞いて理解できる。	自分の経験やできごとなど、まとまった話ができる。また相手に対し説明を求めたり、質問することができる。あまり接する機会の多くない場面でも対応できる。	自分で辞書を調べてあまり接する機会のない文や文章が理解できる。	自分で辞書を調べてあまり書いた経験のない文や文章(問い合わせメールなど)が書ける。
3	自立段階	自立して自分の身の周りの社会参加が日本語を用いてできる。	職場や家庭など慣れた場所で質問や指示がわかる。	質問に文で答えることができる。わからないとき、説明を求めることができる。家族について説明したり、人と会う約束をしたり、簡単な感想を述べることができる。	自分で辞書を調べて日常生活で接する機会の多い文や文章(回覧板など)が理解できる。	自分で辞書を調べて日常生活で必要度が高い文や文章(履歴書の志望の動機など)が書ける。
2	要支援段階	周囲の支援に基づいて、自分の身の周りの社会参加が日本語で行える。	簡単な日本語で話してもらえば、質問や単純な指示がわかる。	簡単な質問なら単語で答えることができる。わからないと聞き返したり、ゆっくり話すよう依頼することができる。場所を聞くなど簡単な質問ができる。	外国人にとってもわかりやすく書かれていれば日常生活で接する機会の多い語や文の意味が理解できる。	五十音図や辞書を調べたり、人に助けをもらいながら日常生活で必要度が高い手紙などの短いメッセージが書ける。
1	基礎段階	限られた単語を理解したり、話す・書くことができる。	「名前は？」のような簡単な質問がわかる。はっきりゆっくり言ってもらえば、自分のよく聞き慣れたものの名前や地名などが聞いてわかる。ものの値段や曜日、日付、時刻などが聞いてわかる。	日常生活で必要度が高く、接する機会の多い語であれば出身や居住地、電話番号、時間、値段など基本的なことが単語で言える。	ひらがな、カタカナ、漢字で書かれた自分の名前、国名など日常生活で必要度が高く、接する機会の多い語であれば理解できる。	名前、国名、住所、所属など使用頻度や必要度の高い語をひらがな・カタカナ・漢字のいずれかで書ける。
0	未学習段階	日本語を話したり聞いたりすることがほとんどできない。	あいさつや自分の名前を呼びかけられていることがわかる。	あいさつができる。名前が言える。		

とよた日本語学習支援システムにおける「対象者判定」

- 1 とよた日本語能力判定「対象者判定」の構成
- 2 とよた日本語能力判定「対象者判定」実施の流れ
- 3 対象者判定テストの募集と応募
- 4 「対象者判定」実施前①：テストが準備するもの
- 5 「対象者判定」実施前②：当日の動き
- 6 「対象者判定」の実施手順
- 7 「対象者判定」実施後①：4技能のレベルの判定
- 8 「対象者判定」実施後②：クラスの判定
- 9 「対象者判定」実施後③：判定結果データの入力と送付
- 10 「対象者判定」判定結果の通知

1. とよた日本語能力判定「対象者判定」の構成

とよた日本語能力判定「対象者判定」は、Can-do statements【自己評価チェックリスト】、「聞く・話す」判定、「読む・書く」判定の3つから構成されています。

①Can-do statements【自己評価チェックリスト】

- ・自分の日本語能力を「～できる」という形で書いたチェックリストに1～4の4段階でチェックをしていく「自己評価チェックリスト」です。自分がその項目についてできると思えば4、できないと思えば1に○をつけます。

②「聞く・話す」判定

- ・対象者判定テストが受験者に質問したりしながら、面接式の会話能力を測る判定テストです。インタビュータスク、ロールプレイタスク、「絵を見て話す」タスクの3つから構成されています。

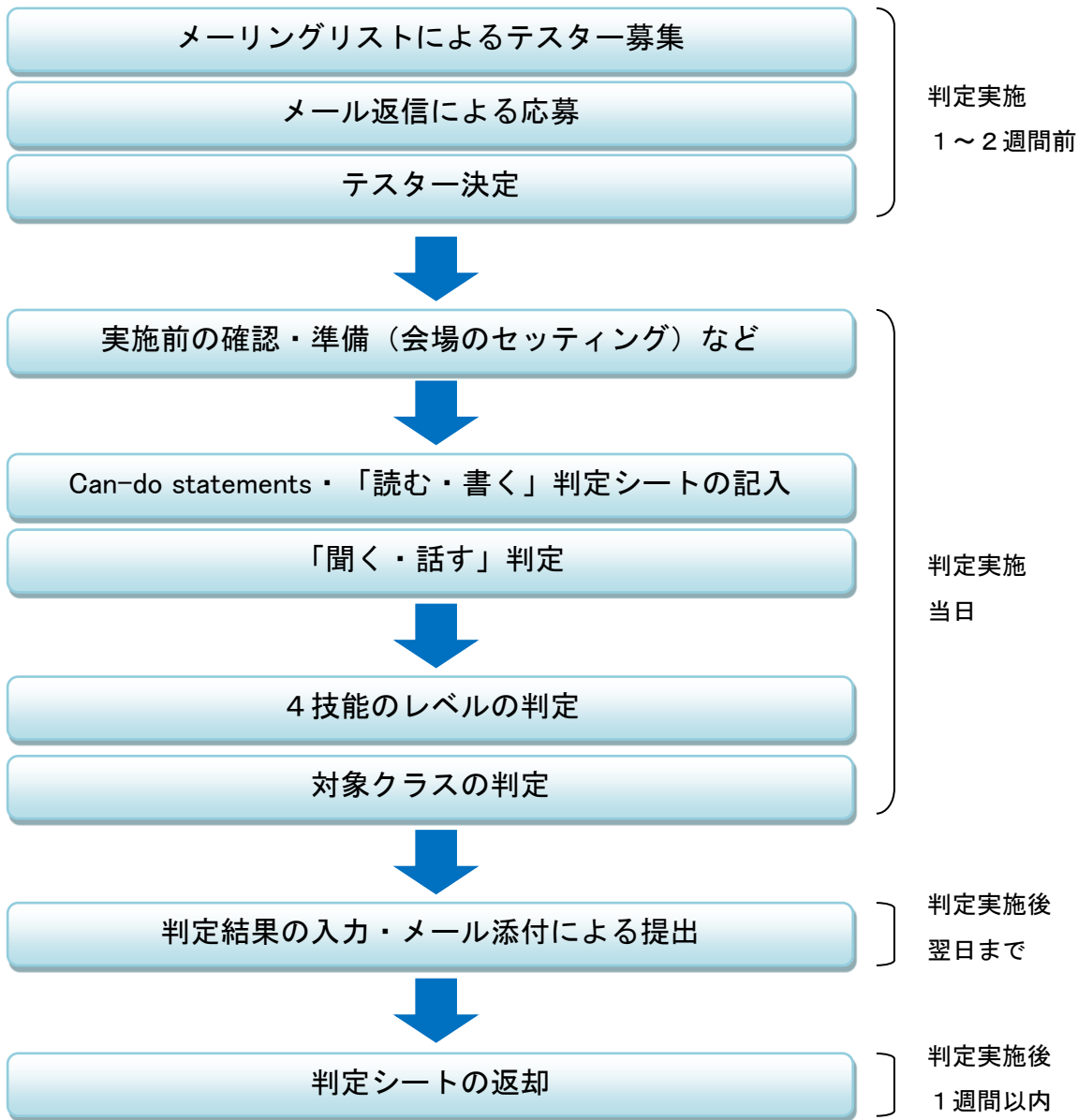
③「読む・書く」判定

- ・受験者が「読む・書く」判定シートに記入して、それを回収・採点することで判定を行う筆記式の判定テストです。

対象者判定テストは以上の3つを実施し、その結果から各技能のレベルと対象クラスの判定を行い、それらすべての結果を報告するまでの一連の作業を行います。詳細は「2. とよた日本語能力判定『対象者判定』実施の流れ」をご覧ください。

2. とよた日本語能力判定「対象者判定」実施の流れ

以下が対象者判定テストを募集するところから、実際に判定を実施し、結果を報告するまでの流れです。



3. 対象者判定テストの募集と応募

とよた日本語学習支援システムにおける対象者判定テストはすべて「対象者判定メーリングリスト」に登録されます。このメーリングリストを通じて、対象者判定テストの募集がメールで送られます。対象者判定は基本的には日本語教室の支援対象者を判定するテストですので、日本語教室のコースの前に行われます。実施の1～2週間前には募集がかかりますので、参加が可能な方はメールで知らせてください。応募をとりまとめ、最終的にどなたにお願いするかをお知らせします。応募者多数の場合はご遠慮をいただくことがありますのご了承ください。

4. 「対象者判定」実施前①：テストが準備するもの

●対象者判定テスト認定証（名札）

対象者判定テストトレーニングを受けた方にお渡しする名札型の認定証です。首にかけられるようになっており、「聞く・話す」判定のインタビュータスクの自己紹介部分で使用します。

●ロールプレイタスク用のロールカード：多言語版（P100 資料参照）

「聞く・話す」判定のロールプレイタスクで使用するロールカードです。第5章の資料として載せてありますので、そちらをコピーするか、「とよた日本語学習支援システム」の Web サイトからダウンロードして使用してください。現在、日本語版、英語版、ポルトガル語版、スペイン語版、中国語（簡体字）版、中国語（繁体字）版、タガログ語版、インドネシア語版、タイ語版、ベトナム語版、ネパール語版があります。事前にシステム・コーディネーター等から必要な言語について指示があることがありますが、念のため常に全ての言語を持ってくるようにしてください。

●「絵を見て話す」タスク用の絵カード：2種（P112 資料参照）

「聞く・話す」判定の「絵を見て話す」タスクで使用する絵カードです。対象者判定を複数回受ける受験者のために、「絵カード1」と「絵カード2」の2種を用意しています。第5章の資料として載せてありますので、そちらをコピーするか、「とよた日本語学習支援システム」の Web サイトからダウンロードして使用してください。判定当日、システム・コーディネーター等からどちらの絵カードを使用するか指示がありますので、必ず2種とも持参してください。

●判定マニュアル

本紙です。対象者判定の際は、各技能の判定基準や、クラス分けの判定基準を参照する必要がありますので、持ってくるようにしてください。

●筆記用具

シートに記入する際に必要ですので、持参してください。

○IC レコーダー（任意）

「聞く・話す」判定の際、やりとりを録音しておき、後で聞き返しながら受験者の反応を確認するために使用することができます（ただし、使用する場合は事前に受験者に録音許可を取ってください）。手持ちのものがあれば持参しても構いませんし、持っていない場合でも、事前にシステム・コーディネーターに連絡すれば、IC レコーダーを借りることができます。

5. 「対象者判定」実施前②：当日の動き

(1) 集合時間など

当日の集合場所、集合時間などは、予めメールでお知らせします。車で向かう場合には、駐車場が限られる場合がありますので、集合場所に注意してください。集合時間は、判定開始時間の15分前です。事前の説明等、準備がありますので、遅れないように集合してください。もし遅れる場合には、必ずシステム・コーディネーターに連絡してください。

(2) 準備

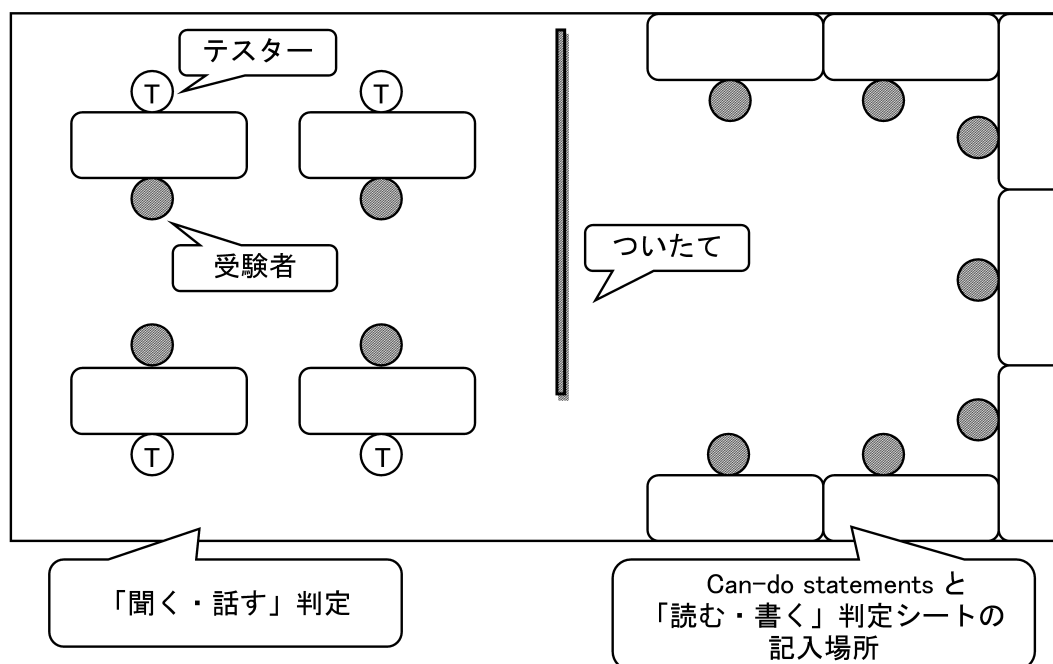
判定会場に到着したら、準備をします。判定会場は、企業の食堂や会議室、地域の公民館など、さまざまです。大きな部屋を使用する場合と、小さな部屋をいくつか使う場合とではセッティングの仕方が異なりますが、ここでは大きな部屋を仕切って使う場合のセッティングについて説明します。

大きな部屋の場合、Can-do statements と「読む・書く」判定シートを記入する場所と、「聞く・話す」判定を行う場所の2つに分けます。ついたりやホワイトボードなど、仕切りになるものがあるといいですが、ない場合もできるだけ2つの空間が分かれるように机と椅子を配置してください。

「読む・書く」判定シートを記入する場所は、受験者が近づきすぎないように机と椅子を並べてください。できれば壁に沿って並べることができるといいでしょう。

「聞く・話す」判定を行う場所は、テストと受験者が向かい合って座れるように机と椅子を並べます。受験者が他の受験者を見たり、相談したりしないように、できるだけ受験者が壁に向かって座れるようにしましょう。

会場セッティングの一例



6. 「対象者判定」の実施手順

準備が終わったら、対象者判定を始めましょう。
対象者判定は以下の2つのステップに分かれています。

ステップ1

Can-do statements と「読む・書く」判定シートの記入
→受験者にシートを渡し、受験者が各自で記入します。

ステップ2

「聞く・話す」判定
→テストとのやりとりで判定します。
シートにはテストが記入します。

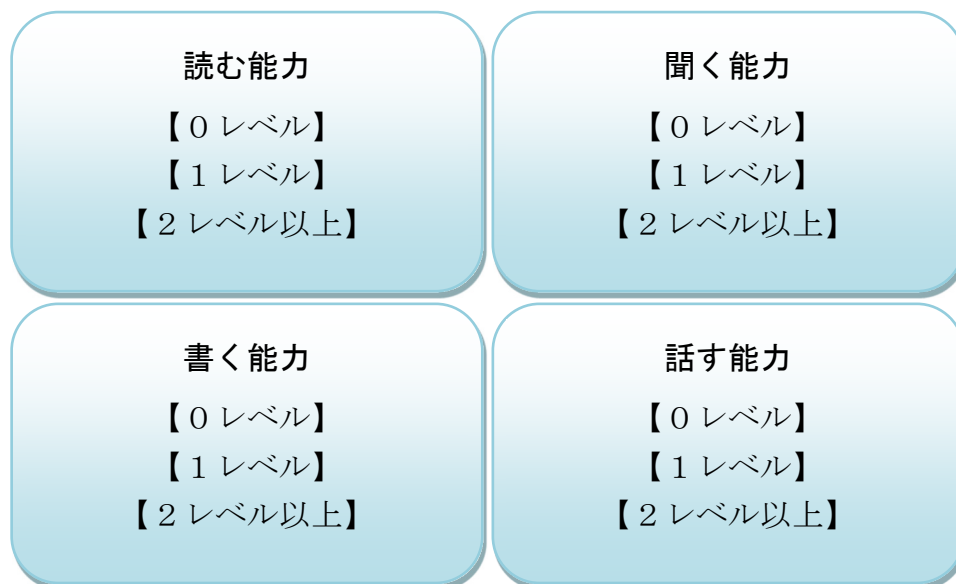
受験者には、最初に、Can-do statements と「読む・書く」判定シートが渡され、ステップ1を行います。受験者はステップ1でCan-do statements と「読む・書く」判定シートを記入し終わってから、ステップ2の「聞く・話す」判定を行います。受験者は「聞く・話す」判定の際に、ステップ1で記入したシートを持ってきますので、Can-do statements に記入漏れがないかどうか確認し、記入が済んでいればCan-do statements と「読む・書く」判定シートを回収してください。受験者の案内はシステム・コーディネーター等が行います。

上記の方法ではステップ1が終わってからでないと、ステップ2を実施できませんが、受験者の人数が多い場合などは、時間を有効に使うため、受験者を、ステップ1を先に行うグループとステップ2を先に行うグループの2つに分け、同時並行で判定を実施することもあります。

Can-do statements、「読む・書く」判定、「聞く・話す」判定の詳しい実施方法は、第3章で説明します。

7. 「対象者判定」実施後①：4技能のレベルの判定

対象者判定が実施し終わったら、次に4技能の各レベルを判定します。「読む」「書く」「聞く」「話す」それぞれの技能について、0レベルか、1レベルか、2レベル以上かを判定します。



受験者の中には「とよた日本語能力レベル」の3レベルや4レベルにあたる受験者もいますが、この対象者判定では0レベル、1レベル、2レベル以上の3つのレベルしか判定することができないので、3レベルや4レベルにあたる受験者はすべて「2レベル以上」として判定されます。

これら各技能のレベルの判定方法については第3章で詳しく説明します。

8. 「対象者判定」実施後②：クラスの判定

読む能力、書く能力、聞く能力、話す能力のレベルが判定できたら、次はクラスの判定をします。クラスの判定基準は以下の通りです。

会話クラス

聞く能力・話す能力のいずれかまたは両方に
0レベルか1レベルが含まれる
(読む能力・書く能力に関わらず)

読み書きクラス

聞く能力・話す能力がともに2レベル以上で、
読む能力・書く能力のいずれかまたは両方に
0レベルか1レベルが含まれる

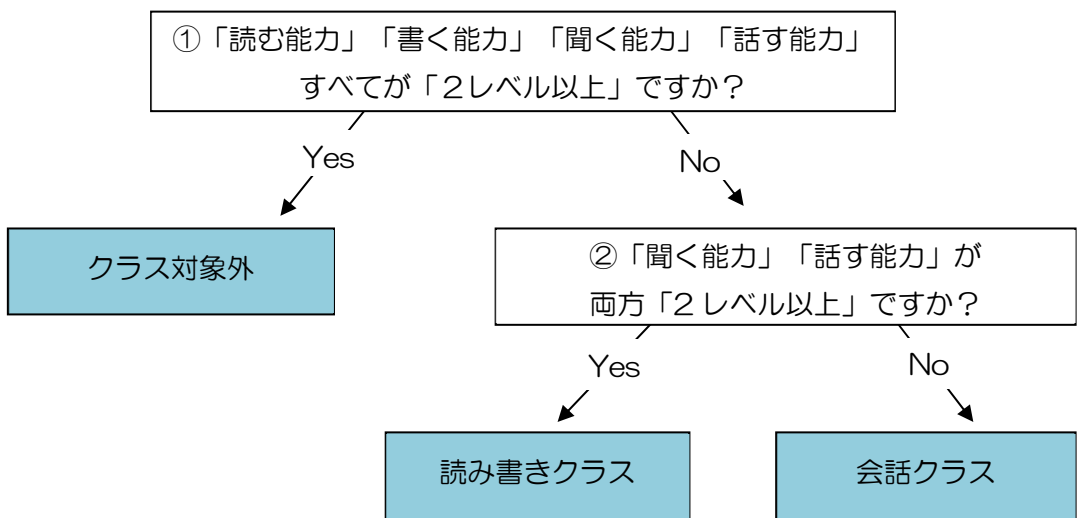
クラス対象外

全ての技能の能力が2レベル以上

※対象者判定の結果は「クラス対象外」となりますが、教室主催者の希望により総合クラスが開講される場合があります。

クラスの判定の具体的な手順は下のチャートをご覧ください。

チャート 2-1 クラスの判定



9. 「対象者判定」実施後③：判定結果データの入力と送付

Can-do statements の回答、「聞く・話す」判定シートと「読む・書く」判定シートの各項目の判定結果、及び、クラスの判定結果を表（次ページ参照）に入力します。この表は「判定結果報告シート」といい、「とよた日本語学習支援システム」の Web サイトからファイルをダウンロードできますので、各自でダウンロードして使用してください。

記入が終わったらこの「判定結果報告シート」をメールに添付して送付先アドレスに送ってください。送付先は判定当日にお知らせします。

入力が終わったシート（Can-do statements、「読む・書く」判定シート、「聞く・話す」判定シート）は、1 週間以内に事務局まで返却してください。

Can-do statements																																			
No.	聞く					話す					読む					書く					合計														
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	聞く	話す	読む	書く	合計
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	聞く	話す	読む	書く	合計

Can-do statements に関する注釈:

- 受験者Noは省略せずに全て書く
- Can-do statements に関する注釈: 無回答があった場合は「-」(ハイフン)を入力する
- 読む問題は1番(読む)、2番、4番を合計する
- 書く問題は1番(書く)、3番、5番を合計する

読む能力と書く能力の判定																								
No.	1 (書く)		1. (読む)			2. (読む)			3 (書く)			4 (読む)			5 (書く)									
	名前	住所	国籍	年齢	性別	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3
	名前	住所	国籍	年齢	性別	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3

インタビュータスクに関する注釈:

- Can-do statementsシートに書いてある名前を書く
- インタビュータスクの「聞くレベル」の数字を記入する
- インタビュータスクのレベルを記入する
- 「質問のタイプ」と「質問内容の適切さ」から算定したトピックのレベルを記入する
- ロールプレイトスクのレベルを記入する
- 絵を見て話すタスクのレベルを記入する
- インタビュータスクで、7番までで打ち切った場合は8番以降の欄には「-」(ハイフン)を入力する

話す能力の判定														
No.	1		インタビュータスク			インタビュータスク			インタビュータスク			インタビュータスク		
	名前	住所	名前	住所	名前	住所	名前	住所	名前	住所	名前	住所	名前	住所
	名前	住所	名前	住所	名前	住所	名前	住所	名前	住所	名前	住所	名前	住所

判定結果に関する注釈:

- インタビュータスクの「話すレベル」の数字を記入する
- 「話すレベル」の数字を記入する
- 「会話」「読み書き」「対象外」の「対象外」のいずれかを記入
- 「対象者判定」「修了判定」「その他」のいずれかを記入
- 記入例: 2020/2/1 (半角数字)
- 全角で入力する (半角で入力しない)
- 半角数字で0, 1, 2のレベルを入力する
- 各項目の左側のセルに入力する。#と表示されても、そのままにしてセルを結合しない。

10. 「対象者判定」判定結果の通知

対象者判定の結果は、下のようなシートで各受験者に通知されます。

このシートには受験者の各技能のレベルが数字と受験者の母語で書かれた「とよた日本語能力レベルと行動記述」（P14 の表 1 - 2）で示されています。「とよた日本語能力レベルと行動記述」の網掛け部分が受験者の当てはまるレベルです。

対象者判定結果/Results						
			○○○○○○			様
受験言語/Language			△△△△			
			判定日/Date		20YY/MM/DD	

判定結果	聞く	話す	読む	書く		
レベル	1	1	0	0		
とよた日本語能力レベル						
対象者判定 3段階【0・1・2以上】						
レベル	段階	内容	聞く	話す	読む	書く
2	要支援段階	周囲の支援に基づいて、自分の身の周りの社会参加が日本語で行える。	簡単な日本語で話してもらえば、質問や単純な指示がわかる。	簡単な質問なら単語で答えることができる。わからないと聞き返したり、ゆっくり話すよう依頼することができる。場所を聞くなど簡単な質問ができる。	外国人にとってもわかりやすく書かれていれば日常生活で接する機会の多い語や文の意味が理解できる。	五十音図や辞書を調べたり、人に助けをもらいながら日常生活で必要度が高い手紙などの短いメッセージが書ける。
1	基礎段階	限られた単語を理解したり、話す・書くことができる。	「名前は何?」のような簡単な質問がわかる。はっきりゆっくり言ってもらえば、自分のよく聞き慣れたものの名前や地名などが聞いてわかる。ものの値段や曜日、日付、時刻などが聞いてわかる。	日常生活で必要度が高く、接する機会の多い語であれば出身や居住地域、電話番号、時間、値段などが単語で言える。	ひらがな、かたかな、漢字で書かれた自分の名前、国名など日常生活で必要度が高く、接する機会の多い語であれば理解できる。	名前、国名、住所、所属など使用頻度や必要度の高い語をひらがな・かたかな・漢字のいずれかで書ける。
0	未学習段階	日本語を話したり聞いたりすることがほとんどできない。	あいさつや自分の名前を呼びかけられていることがわかる。	あいさつができる。名前が言える。		

● Chapter 3

「対象者判定」の実施とレベルの判定

- 1 Can-do statements
- 2 「読む・書く」判定
- 3 「聞く・話す」判定
- 4 実施にあたって注意すべきこと
- 5 読む能力の判定
- 6 書く能力の判定
- 7 聞く能力の判定
- 8 話す能力の判定

1. Can-do statements

Can-do statements は現実の生活の中で日本語を使って何ができるか、できないかを受験者自身に判断してもらうものです。「自分の国籍や住んでいるところなどを日本語で人に伝えることができます」のような行動を母語で記述した文に対して、「簡単にできる」から「まったくできない」までの4段階で答えてもらいます。日常の生活の中で自分の日本語使用についてどのように感じているのかを、用意した文のリストに答えてもらうことによって、自己評価のレベルを判定します。

この判定は、学習の目標を立てるとき、学習を振り返り、成果を確認するときに変役に立ちます。また、学習を支援する人にとっても、貴重な情報を提供します。

対象者判定試験では次のようなシートに受験者が自分で記入します。(P113 資料参照)

日本語

Can-do-statements【自己評価チェックリスト】 ID番号 _____ 名前 _____

あなたは日本語で次のようなことができますか？ あてはまる数字に○をつけてください。

1：まったくできない 2：あまりできない 3：なんとかできる 4：簡単にできる

聞く	難			易
1 「こんにちは」「いらっしゃいませ」などの挨拶を聞いて理解できます。	1	2	3	4
2 はっきりした発音で、ゆっくり言ってもらえれば、質問や指示が理解できます。	1	2	3	4
3 乗り物に乗っているとき、知っている駅や停留所の名前を聞き取ることができます。	1	2	3	4
4 自分の知っている日本人の名前を聞き取ることができます。	1	2	3	4
5 いい店や場所について質問したとき、ゆっくり話してもらえれば、理解できます。	1	2	3	4
6 よくある状況で「このごろ、どう？」のような日常的な表現をいくつか理解できます。	1	2	3	4
7 店内の放送などで呼ばれて、どこに行けばいいか聞いて理解できます。	1	2	3	4
8 病院や薬局で薬をもらった時の飲み方の説明を聞いて理解できます。	1	2	3	4

この Can-do statements の結果はレベルの判定には直接反映されませんが、テストでは対象としていない受験者の日本語を使った行動を見るために使ったり、学習の振り返りなど教室の中で使用したりします。また、「読む・書く」判定や「聞く・話す」判定で測っていることを、受験者自身がどのくらいできると考えているのか、認識の差異などを見ることもできます。

2. 「読む・書く」判定

判定には、「読む・書く」判定シートを使用します。判定シートには2種類あり、対象者判定当日の実施前の確認・準備の際、システム・コーディネーター等から、2種類のうちどちらを使用するか指示があります。英語版のほか、ポルトガル語版、スペイン語版、中国語（簡体字）版、中国語（繁体字）版、タガログ語版、インドネシア語版、タイ語版、ベトナム語版、ネパール語版が用意してありますので、受験者の母語に合わせてシートを選んで使用してください。制限時間は約15分です。テストですので、静かな場所で行います。隣同士ある程度のスペースをとって、受験者同士が話し合わないよう注意してください。

【テスト内容の構成】

問題は1番から5番まであります。1番（生年月日、年齢、性別）、2番、4番は読む力を測る問題です。1番（氏名、住所、国籍）、3番、5番は書く力を測る問題です。（例としてここでは英語版の「読む・書く」判定シートA版を引用します）

1番：氏名・住所・国籍などをひらがな・カタカナ・漢字などを使って書く。
生年月日・年齢・性別などを読んで、正しく記入する／選ぶ。

1. Please fill in the boxes in Japanese.			
氏名			
住所			
生年月日	年	月	日 () 歳
性別	男 ・ 女	国籍	

2番：ひらがな・カタカナ・漢字で書かれた日常よく目にする単語の意味（母語）を選ぶ。

2. What do the following words mean? Mark the most suitable response with a circle.			
① くるま：	1 Telephone	2 Watch	3 Train 4 Automobile
② ありがとう：	1 Sorry	2 Thank you	3 Goodbye 4 Nice to meet you.
③ バス：	1 Bus	2 Boss	3 Van 4 Screw
④ インターネット：	1 Interchange	2 Internet	3 Super-market 4 Apartment
⑤ 出口：	1 Glass	2 Window	3 Exit 4 Emergency Exit
⑥ 危険：	1 Stop	2 Safety	3 Parking 4 Danger

3番：ひらがな・カタカナ・漢字を使って母語で指示された単語を書く。

3. How do you say the following phrases in Japanese? Write its equivalent in **Japanese** (Hiragana, Katakana or Kanji).

- | | |
|--------------------------|--------------|
| ① Trash/Garbage/Rubbish: | ② Children: |
| ③ Toilet: | ④ Ice Cream: |
| ⑤ Book: | ⑥ Today: |

4番：ひらがな・カタカナ・漢字で書かれた日常よく目にする文の意味（母語）を選ぶ。

4. What do the following words mean? Mark the most suitable response with a circle.

- ① 10時開店： 1. Open at 10
2. Close at 10
3. Start work at 10
4. Finish work at 10
- ② 月曜：定休日： 1. Open on Mondays
2. Open on Sundays
3. Close on Mondays
4. Close on Sundays
- ③ これは食べ物ではありません： 1. Drinkable
2. Not Drinkable
3. Edible
4. Not Edible
- ④ 電気ご使用料のお知らせ： 1. Notice of Gas Usage
2. Notice of Electricity Usage
3. Notice of Water Usage
4. Notice of Telephone Usage
- ⑤ 至急ご連絡ください： 1. Contact immediately
2. Contact tomorrow
3. Come immediately
4. Come tomorrow

5番：ひらがな・カタカナ・漢字を使って母語で指示された文を書く。

5. How do you say the following phrases in Japanese? Write its equivalent in **Japanese** (Hiragana, Katakana or Kanji).

- ① Congratulations
- ② Please call him (on the telephone).
- ③ I'm taking the day off (work) because I'm down with a flu.

3. 「聞く・話す」判定

「聞く・話す」判定を行うために必要なもの（以下）が手元にそろっているか確認してください。

- ① 対象者判定テスター認定証（名札）
- ② ロールプレイタスク用のロールカード
- ③ 「絵を見て話す」タスク用の絵カード
- ④ 筆記用具
- ⑤ ICレコーダー（任意）
- ⑥ 「聞く・話す」判定シート A 版／B 版（システム・コーディネーター等から配布）

はじめに、「聞く・話す」判定シートに情報を記入していきます。まず Can-do statements の上部に書かれている「NO.」を「聞く・話す」判定シートに書き写します。次に「聞く・話す」判定シートの「情報記入欄」に必要事項を書いていきます。（「レコーダー」「フォルダ」は IC レコーダーを使用しない場合は書く必要はありません。また、「受験者」の「国名」は「聞く・話す」判定実施終了後記入をします）

情報記入欄

対象教室	第 期			日本語教室	
判定日	西暦 年 月 日				
場所					
目的	対象者判定 / 修了判定 / その他()				
受験者	氏名		判定者	氏名	
	国			レコーダ	
	性別	男・女		フォルダ	

※レコーダを使用しない場合、「レコーダ」「フォルダ」は記入しなくてもよい。
※ 国名はテストでの回答を記入するので、終了後記入。

記入が済んだら、いよいよ「聞く・話す」判定の実施に入っていきます。

【1】インタビュータスク

インタビュータスクは「聞く・話す」判定シートのみで実施できます。以下がその手順です。

- ①質問は「1. あいさつ」から順に行います。
- ②各質問では、一番上に書いてある2レベルの質問からしていきます。質問をしたとき、受験者から言葉による聞き返しや表情などによる聞き返しなどがあれば、同じ質問をもう一度だけ言います。質問が理解できていないと判断した場合、同じ囲みにある下の質問へ移ります。受験者が理解できた質問のレベルの□にチェックを入れます。
- ③質問に対して受験者が答えた答えの形式に最も近いものの□にチェックを入れます。
- ④質問を下げてでも応答が得られない場合、できるだけこやかに次の質問に移ります。質問の解説などはしないでください。
- ⑤ほとんど何も答えられなくても、「7. 交通手段」までの質問は行ってください。
- ⑥「7. 交通手段」まで行った段階で「話すレベル（受験者の応答）」の0レベルに5つ以上チェックがあれば、そこでインタビュータスクを終了します。
- ⑦それ以外は「12. 休みの日」まで行ってください。「12. 休みの日」まで終了したら、インタビュータスクは終わりです。

A版とB版では問題の順番や番号が異なりますが、上記の手順は同じです。当日のシートに従って、質問してください。

聞くレベル	テスター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
2	□いつ日本へ来ましたか。	2	□文で答える	2006年に来ました／5年前に来ました
1	□日本、来た、いつ？	2	□「～です」で答える	2006年です／5年前です
1	□いつ日本？2000年？2005年？【例示】	1	□語のみ	2006年／5年前
0	□理解できない	1	□推測すれば意味がわかる	2、0、0、6／5年
		0	□非言語行動で反応する	(手で)5、文字を書く
		0	□母語で反応する	Dois anos/two years
		0	□産出できない	

A版

5. 数字／時

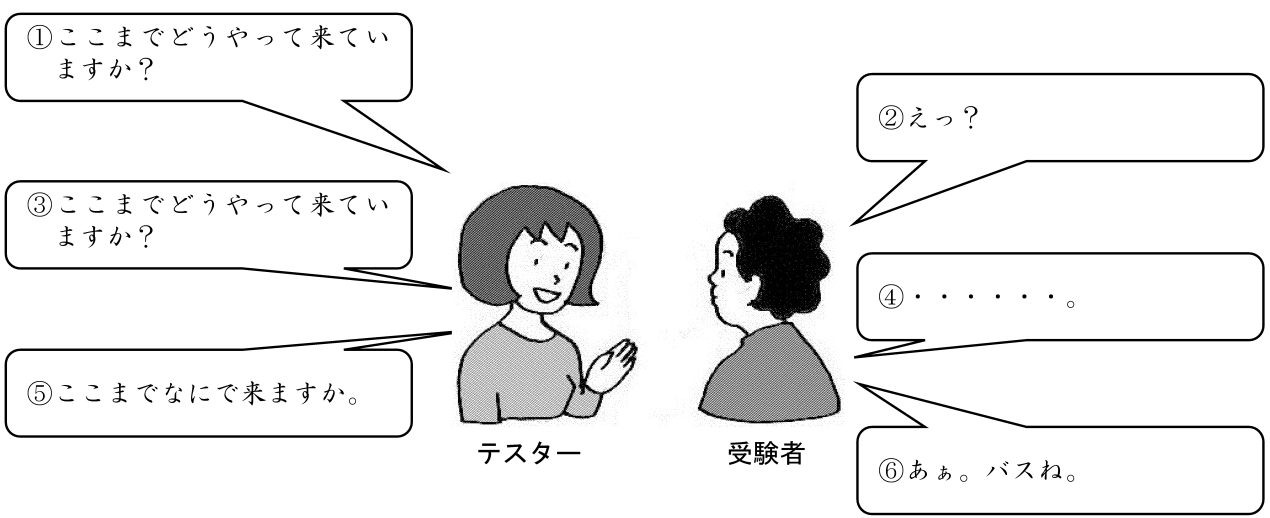
上から聞いていき、答えられなかったら質問のレベルを下げる

受験者が答えた形式に最も近いものにチェックを入れます

来日年：西暦 年

参考として受験者の情報を記入してください

例えば、インタビュータスクの「7. 交通手段」について、次のようなやりとりを行ったとします。



テスターが「ここまでどうやって来ていますか」と聞いたところ (①)、受験者が「えっ？」と聞き返してきましたので (②)、聞き取れなかったと判断してもう一度「ここまでどうやって来ていますか」と質問を繰り返します (③)。しかし、受験者は質問がわからなかったようで、黙ってしまいました (④)。そこで、今度は質問のレベルを上げて、「ここまでなにで来ますか」と聞いたところ (⑤)、受験者は「ああ。バスね」と答えました (⑥)。

これをシートにチェックすると以下ようになります。

A 版

7. 交通手段

聞くレベル	テスター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
2	<input type="checkbox"/> ここまでどうやって来ていますか。/ここまでどうやって来ましたか。	2	<input type="checkbox"/> 文で答える	車で通っています/バスで行きます/送迎で来ています/歩いてきました。
2	<input checked="" type="checkbox"/> ここまでなにで来ますか。/ここまでなにで来ましたか。	2	<input type="checkbox"/> 「～です」で答える	車です/歩きます/送迎です
1	<input type="checkbox"/> ここまで、バスで来ますか、車で来ますか。【例示】	2	<input type="checkbox"/> 「(手段)」で答える	自転車で/バスで/歩いて
1	<input type="checkbox"/> ここに来ます。バス?車?電車?歩きます?送迎?【例示】	1	<input checked="" type="checkbox"/> 語で答える	自転車/車/バス/送迎
0	<input type="checkbox"/> 理解できない	1	<input type="checkbox"/> テスターの例示を繰り返す	(テスター「車?」)うん、車
		1	<input type="checkbox"/> 「はい、うん/いいえ」で答える	はい/うん/ううん/いいえ
		0	<input type="checkbox"/> 非言語/母語での反応	Outobus/(文字で)車/擬音
		0	<input type="checkbox"/> 産出できない	

「ここまでどうやって来ていますか」という質問では受験者は答えられませんでした。が、「ここまでなにで来ますか」という質問で答えることができたので、「ここまでなにで来ますか」で理解できたと判断し、チェックをつけます。受験者は「バスね」と答えましたので、語で答えていたとし、「語で答える」にチェックをつけます(「単語+ね」

は「語で答える」とみなします)。

この交通手段は質問のしかたに気をつける必要があります。会場が、受験者がいつも通っている場所のときは、「ここまでどうやって来ていますか」と言います。それ以外の会場であれば、「ここまでどうやって来ましたか」と質問します。状況に応じた質問をしてください。

【2】ロールプレイタスク

受験者の言語のロールカード（以下）を渡し、「これを読んでください」と指示します。声に出して読む必要はありませんので、黙読で読んでもらってください。具体的な指示はロールカードに書かれていますので、読むように言うだけでいいでしょう。

ロールカードの指示文（母語で記述されている）

私たちは今日初めて会いました。仲良くなるために、次のことを質問しながら、自然な会話をしてください。

- ① 名前
- ② 住んでいるところ（どこに住んでいるか）
- ③ 家族構成（家族にだれがいるか）
- ④ 趣味

では、始めましょう。

受験者がロールカードを読み終わったと思ったら、テストは笑顔で「ほら、どうぞ！」の合図を送ります。「こんにちは」と言ってテストから話しかけてみるのもいいでしょう。それでも黙っているようなら、（相手を指さして）「あなたが」、（テスト自身を指さして）「私に聞いてください」とゆっくり言いましょう。タスクを理解すれば、受験者が質問をしてきますので、「聞く・話す」判定シートの「手順①」と「手順②」に従い、順番にチェックしていきます。

もし、しばらくたっても何もタスクができない、または「できない」など言うようであれば、笑顔でロールカードを回収し、「絵を見て話す」タスクに移ります。

また、4つの質問のうち、一部しか質問をせず、聞いてこない質問が残っているようであれば（不注意で飛ばしたかもしれないので）、質問を指さし、「これは？」など言って、質問をするように促してください。

●手順 1

①名前、②住んでいるところ、③家族構成、④趣味、それぞれについて、【質問のタイプ】と【質問の適切さ】をチェックします。

【質問のタイプ】

文を使って質問できるのか、単語の羅列でしか質問できないのかをチェックします。

例えば「名前は何ですか」であれば文ですが、「名前、なに？」であれば単語の羅列であると判断します。

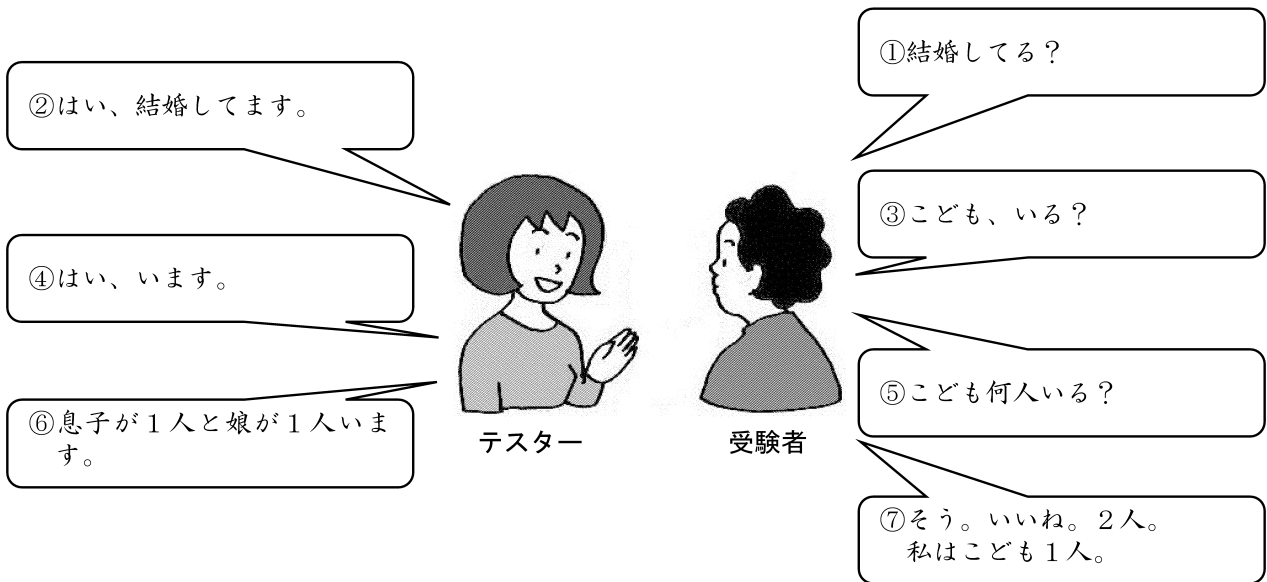
【質問内容の適切さ】

受験者の質問が、それぞれ名前、住んでいるところ、家族構成、趣味を尋ねるのに適切な質問であるかどうかをチェックします。語彙の少ない受験者はいろいろな聞き方で質問をしてきますので、それが聞くべきことを聞ける質問であるか、よく考えてチェックしてください。例えば、趣味を聞く質問で、「趣味、なに？」という質問であれば趣味を聞くのに適切な質問であるといえますが、「何が好きですか」という質問では趣味

を聞いているとはわからないので、趣味を聞く質問としての適切さは低くなります。

ただし、手を変え品を変え、さまざまな質問をしてきた場合、ひとつの質問ではなく質問全体で聞くべきことが聞けたかどうかを判断します。

例えば、「家族構成」について以下のようなやり取りをしたとします。



上の例の場合、ひとつひとつの質問は断片的にしか聞いていませんが、質問全体を見ると、どんな家族がいるか聞くことができました。質問全体として欲しい情報を得られる質問ができていると言えるので、「質問内容の適切さ」は2レベルと判断していいでしょう。これをシートにチェックすると以下ようになります。

家族構成	質問のタイプ	3	<input type="checkbox"/> 初対面にふさわしい丁寧な質問ができる。	・ご家族についてお聞きしてもいいですか。 ・ご結婚していらっしゃるんですか。
		2	<input type="checkbox"/> 文を使って質問ができる。	・家族は何人ですか。 ・結婚していますか。 ・お父さん、お母さんと一緒に住んでいますか。
		1	<input checked="" type="checkbox"/> ごく単純な文、または単語の羅列による質問ができる。	・家族、何人？ ・お父さん、お母さん、一緒？ ・子供いる？ ・結婚してる？
		0	<input type="checkbox"/> 質問ができない。	
	質問内容の適切さ	2	<input checked="" type="checkbox"/> (質問全体として) 欲しい情報を得られる質問ができる。	・家族は何人ですか。 ・家族は誰がいる？
		1	<input type="checkbox"/> (質問全体を見ても) 十分に情報を集められる質問ができない。	・結婚してる？ ・子供いますか。 —家族構成について聞いていない
0		<input type="checkbox"/> 質問の意図がわからない。質問ができない。		

しかし、上の例で、①の「結婚してる？」のような質問だけで家族についての質問を終えた場合、「結婚してる？」だけでは家族構成について聞いたことにならないので、適切さは下がります。

●手順2

ロールプレイタスク全体の印象について、【歩み寄りの必要度】と【テスト応答後の受験者の反応】の2つの観点からあてはまるものをチェックします。

【歩み寄りの必要度】では、受験者の行った質問が、どのくらいテストの聞き返しや推測が必要なものであったかをチェックします。

例えば、下の例ではまず受験者は「家族はいくつですか?」と質問しています(①)。ここでテストが家族の人数を答えるためには「いくつ」が人数を聞いているのだと推測しなければなりません。ここではテストは「いくつ」は年齢を聞いているのではないかと思って「歳ですか?」と聞き返しています(②)。このように、テストが推測や聞き返しを行って初めて受験者が求める答えを得られるような質問が多く見られる場合、【歩み寄りの必要度】のレベルは低くなります。



【テスト応答後の受験者の反応】では、テストが受験者の質問に答えた後の受験者の反応を見ます。例えば上の例のような反応(⑤)が多くあれば、会話にふさわしい応答があったとしてチェックします。

【3】「絵を見て話す」タスク

まず「絵カード1」か「絵カード2」を選びます。システム・コーディネーター等から使用するカードの指定がある場合は、その指示に従ってください。使用する絵カードが「絵カード1」の場合は「絵を見て話す1」タスクへ、「絵カード2」の場合は「絵を見て話す2」タスクへ進んでください。

●「絵を見て話す1」タスクの手順

- ①「絵カード1」を見せます。
- ②テスターが「この人は山田さんです。昨日、山田さんは何をしましたか？説明して下さい」と指示を伝えます。
- ③受験者が何をするかわからず、タスクを始めないようであれば、絵を1つずつ指さしながら「山田さんは何をしましたか」と聞きます。
- ④ひと通り絵について話したあと、時間に言及していないようであれば、「山田さんは何時に家に帰りましたか」など時間を説明するように促します。
- ⑤買い物の中身に言及していない場合は「何をいくらで買いましたか」と聞きます。
(このとき、買った品物とその値段の両方についてチェックをします)
- ⑥電話番号に言及していない場合は、「何番に電話をかけましたか」と聞きます。
- ⑦全て終了したら、にこやかに「これで終わりです」と告げ、終了します。

●「絵を見て話す2」タスクの手順

- ①「絵カード2」を見せる。
- ②テスターが「この人は田中さんです。今日の朝、田中さんは何をしましたか？説明して下さい」と言う。
- ③受験者が何をするかわからず、タスクを始めないようであれば、絵を1つずつ指さしながら「田中さんは何をしましたか」と聞きます。
- ④ひと通り絵について話したあと、時間に言及していないようであれば、「田中さんは何時に家に帰りましたか」など時間を説明するように促します。
- ⑤買い物の中身に言及していない場合は「何をいくらで買いましたか」と聞きます。
(このとき、買った品物とその値段の両方についてチェックをします)
- ⑥電話番号に言及していない場合は、「何番に電話をかけましたか」と聞きます。
- ⑦全て終了したら、にこやかに「これで終わりです」と告げ、終了します。

※「絵を見て話す2」タスクには値段の合計を問う項目があるので注意してください。

※合計を問う項目に関しては品物の名前がないので値段のみチェックします。

例えば、絵カード1「山田さんの生活」（資料参照）を見せて、指示をしたところ、受験者が以下のように説明したとします。



受験者はひとつずつの絵について説明していますが、「買い物する。」「帰る。」と、文とは言えない不完全な説明になっています。しかし、単語だけというわけでもないので、これをシートにチェックすると以下ようになります。

1. 行動の説明

テスター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
(最初の指示で受験者が発話しない場合) 絵を指で指しながら、「山田さんは何をしましたか?」とひとつずつ聞く	3	<input type="checkbox"/> 接続表現を使い、順を追って説明できる	5時に仕事が終わってから買い物をし、帰りました/奥さんと夕食を食べましたそれから電話をかけた
	2	<input type="checkbox"/> 1つずつの絵を文で説明できる	スーパーで買い物をしました。6時に家へ帰りました。テレビを見ました。電話をかけた。
	2	<input type="checkbox"/> 1つずつの絵をやや不自然であるが文で説明できる	スーパーで買い物する。6時にアパートに帰る。テレビを見る。友達に電話する。
	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1つずつの絵を不完全だが説明できる	買い物する。アパート帰る。テレビ見る。電話する。
	1	<input type="checkbox"/> 絵の情報の一部を単語で言える	買い物、帰った、テレビ、電話
	0	<input type="checkbox"/> 説明できない	

次に、「3. 品物と値段の説明」について以下のような説明をしたとします。



それぞれの品物の名前は正しく言っていますが、値段については、バナナしか正しく説明できていません。これをシートにチェックすると以下ようになります。

3. 品物と値段の説明

テスター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
(「1. 行動の説明」で値段を説明しなかった場合) 以下の問いかけを行う <input type="checkbox"/> 何をいくらで買いましたか? <input type="checkbox"/> これは何ですか?いくらでしたか? <input type="checkbox"/> これ何?いくら?何円?	2	<input type="checkbox"/> 品物と値段を正しく説明できる (4ペア中3ペア以上)	バナナがひゃくきゅうじゅうはちえん
	1	<input checked="" type="checkbox"/> 品物と値段を部分的に正しく説明できる (4ペア中2or1ペア)	バナナ、いちきゅうはちえん
	0	<input type="checkbox"/> 1ペアも品物と値段を正しく説明できない	
※品物の名前		バナナ〇、牛乳〇、ミルク〇、パン〇 とりにく〇、チキン〇、とり〇、肉〇、にわとり〇	

4. 実施にあたって注意すべきこと

●全体を通して

このテストの大きな目的は、以下の2点です。

- ◆ 普通の日本人とのやりとりがどの程度できるかを測定すること
- ◆ 普通の日本人と話してみてもやりとりができなかった場合に、相手がどこまで歩み寄ればやりとりが成り立つのかを測定すること

この2つをみるためにはまず、テスターが話す日本語は自然でなければなりません。最初から支援的になってしまえば、どの程度歩み寄ったかがわからなくなってしまうからです。したがって、あまり日本語を聞いたり話したりできない受験者に対しても、はじめから不自然にポーズを置いたりゆっくり話したり、大きな声を出したりすることなく、普段話しているような日本語で自然に話すことが求められます。もし、それで質問が理解できない場合には、シートに沿って質問のレベルを下げっていくことで、徐々に受験者に歩み寄り、支援的なやりとりをしていき、どこまで歩み寄ればやりとりができるのかを判定します。

「聞く・話す」判定をしている間、シートに記入することに気を取られると、つい下ばかり向いてしまいがちになりますが、それでは自然な会話とは言えなくなってしまいますので、受験者の顔を見て、応対するようにしましょう。テスター自身が緊張してこわばった表情で応対すると受験者はますます緊張してしまいますので、受験者の緊張を和らげるように心がけ、笑顔でやりとりをしましょう。ただし、テストであるということは忘れないようにしてください。

●インタビュータスクに関して

トピックによっては答えることが不可能な場合や、個人的な問題に触れて、受験者の気分を害してしまう恐れがあるかもしれません。ここでは答えた内容ではなく日本語力を知るために質問しているので、そうした場合は、質問の内容を同程度の日本語力が測れる別の質問に変更するなど、臨機応変に対応してください。もし事前に事情が分かっていたらトピックを適宜変更することも考えられます。たとえば学生に対しては「お仕事は～？」と聞かずに「学校は～？」としたり、現在仕事をしていない人には過去にしていた仕事について聞いたりしてください。

質問のレベルを下げたって、例示を行う場合、受験者に当てはまる例をすぐに挙げないように注意してください。例えば、相手がブラジル人だとわかっている場合、「国は？」の例示としていきなり「ブラジル？」と聞くのではなく、「ペルー？アルゼンチン？」など聞き、「（あ、どこの国から来たか聞いてるんだ。私の国はブラジルだから…）ブラジル」のように、自分で考え、テスターの例示の繰り返しでない答えができるかどうかが見られるように例示をしてください。

● ロールプレイタスクに関して

テスターは受験者が聞いてくる質問を予め知っていますが、「初対面である」という場面設定なので、何も知らずに質問をされた場合にその意図が理解できる質問であるかどうかを考えて、受け答えをしてください。例えば、趣味について聞く質問のつもりで「何が好きですか？」と聞かれた場合、すぐに趣味を言うのではなく、好きな食べ物などを答えてみてください。すると、受験者が再び考えて「好きなことは何ですか？」など聞きなおしてくることがありますので、その場合はその聞きなおした質問も含めてチェックをするようにしてください。

質問の答えは、受験者がわかるような答えを返すようにしましょう。必ずしも本当のことを言う必要はありません。例えば、趣味について説明するとき、受験者にとって難しい語を使わなければならないような場合は、理解しやすいものに変えるなどしましょう。別の趣味を言っても構いません。

また、答えは必要最小限の答えにとどめましょう。例えば、「どこに住んでいますか」と聞かれたとき、「××市の〇〇町に住んでるんだけど、□□駅から歩いてすぐのところで…」など長々と答えるのではなく、「××市です」くらいで構いません。もしその後「××市のどこですか」など聞いてきたら「〇〇町です」と答えてもいいでしょう。

それから、受験者がとても話し好きで、話が脱線したり、いつまでも会話が終わらなかつたりすることがありますが、ある程度個々の質問についての話が済んだと思ったら、あまり関係のない話題に進まないうちに、ロールカードを指さすなどして、次の質問に移るように促してください。話がはずむととても楽しいとは思いますが、引き続き他の受験者のテストをしなければならなかつたりして時間が限られる場合がありますので、あまり長々と話し続けないようにコントロールしてください。

● 「絵を見て話す」タスクに関して

「絵を見て話す」タスクでは、受験者がどこまで説明できるか見るために、最後までひと通り言うよう、根気強く待ってください。中には、受験者が、行動を表す語がわからず、間違った説明をする場合がありますが、「違います。これは〇〇ですよ」などの訂正はせずに、言えるところまで先を促してください。

電話番号は、レベルの低い受験者にも比較的簡単なので、電話番号を最後に言うてもらうなどして、気持ちよく終わることができるように心がけてください。

●実施後のふりかえり

対象者判定をするテストは受験者を相手に1人で判定を行い、経験を積むこととなります。したがって、セルフモニター（自分が行ったことをふりかえる）が十分機能しないと、テスト養成で学んだことがきちんと反映されないまま、判定を繰り返すことになるかもしれません。「実施にあたって注意すること」をしっかりと意識して判定を行わないと、以下のような問題が起きやすくなります。

1. 判定シートを追うのが精いっぱい、受験者の顔を見ないで質問をしている
2. 受験者が聞き取りやすいように、不自然にゆっくり話している
3. 受験者が聞き取りやすいように、区切って話している
4. 受験者と自然な会話ができず、判定シートの棒読みになっている
5. 受験者が聞き返していないのに、自ら質問を繰り返している
6. 判定シートの手順にある問題（トピック）を飛ばして進めている
7. 予想を立てて、難から易に構成されている質問文を飛ばして進めている
8. 判定シートの質問文（言い方）を自分流に変えて質問している

経験が少ないテストには上記1～5が起きやすく、経験が増すにつれて、6～8のようなことが起きやすいと考えられます。

テストは、以上のような問題が起こらないように、自身の判定の様子を録画（難しいければ録音）し、「ふりかえりチェックリスト」（次頁参照）に記入しながら、自らの判定の様子をふりかえってください。ふりかえりチェックリストには、判定する際に難しいと感じた点や、採点時に困ったことについても記入する欄を設けてありますので、その視点からも判定のあり方を再確認してください。

常に自分の判定の様子をふりかえり、よりよい判定ができるように心がけてください。

とよた日本語能力判定「対象者判定」ふりかえりチェックリスト

いつもとよた日本語能力判定「対象者判定」にご協力いただき、ありがとうございます。よりよい対象者判定テスターになるために、自分の対象者判定の様子の録画あるいは録音を見たり聞いたりしながら、下記の項目についてふりかえってみましょう。

氏名 _____

●自然な問いかけになっていますか？

1. 相手の顔を見て、話していますか？（録画の場合）
2. あなたの質問の仕方は、不自然にゆっくりな話し方になっていませんか？
3. あなたの話し方は、不自然に区切ったりしていませんか？
4. あなたの話し方は、判定シートの棒読みになっていませんか？

●テストの手順で実施していますか？

1. 相手が聞き返しをしていないのに、質問を繰り返したりしていませんか？
2. 問題（トピック）は飛ばしていませんか？
3. 予想を立てて、質問を飛ばしていませんか？
4. 判定シートと違う言い方で質問していませんか？

●テストを実施していて判定しにくかったところはどこですか？

なぜだと思えますか？

●あとで採点する際、困ったことは何ですか？

本紙は提出の必要はありません。ご自身の研鑽のためにご利用ください。
不明点があれば、とよた日本語学習支援システム事務局までお尋ねください。

5. 読む能力の判定

まず、手順1に従って、「読む・書く」判定シートの各問題を採点します。次に各問題の得点を合計し、合計点からレベルを判定します。

●手順1：各問題の採点

下の採点基準をもとに、問題1、問題2、問題4の各問題を採点します。

【A版・B版共通】

【問題1】（各1点×3問）

生年月日：

1点：年月日の順番で数字（生年月日）書かれている

0点：記入がない、または年月日の順番で数字（生年月日）が書かれていない

年齢：

1点：（ 歳）の中に数字（年齢）が書かれている

0点：空白

性別：

1点：男、女のいずれかに○がつけてある

0点：いずれも○がない、または両方に○がつけてある

【A版】

【問題2】（各1点×6問）

正しい選択肢に○がつけてあれば1点（下線の引いてあるものが正解）

- ①くるま : 1. 電話 2. 時計 3. 電車 4. 自動車
- ②ありがとう : 1. すみません 2. ありがとう 3. さようなら 4. はじめまして
- ③バス : 1. バス 2. ボス 3. (車の)バン 4. ビス(ねじ)
- ④インターネット : 1. インターチェンジ 2. インターネット
3. スーパーマーケット 4. アパート
- ⑤出口 : 1. ガラス 2. まど 3. 出口 4. 非常口
- ⑥危険 : 1. 生まれ 2. 安全 3. 駐車 4. 危険

【問題4】（各1点×5問）

正しい選択肢に○がつけてあれば1点（下線の引いてあるものが正解）

- ①10時開店 : 1. 10時開店 2. 10時閉店 3. 10時出勤 4. 10時退社
- ②月曜定休日 : 1. 月曜営業 2. 日曜営業 3. 月曜休業 4. 日曜休業
- ③これは食べ物ではありません :
1. これは飲み物です 2. これは飲み物ではありません
3. これは食べ物です 4. これは食べ物ではありません
- ④電気ご使用料のお知らせ :
1. ガス料金のお知らせ 2. 電気料金のお知らせ
3. 水道料金のお知らせ 4. 電話料金のお知らせ
- ⑤至急ご連絡ください
1. すぐ連絡してください 2. 明日連絡してください
3. すぐ来てください 4. 明日来てください

【B版】

【問題2】（各1点×6問）

正しい選択肢に○がつけてあれば1点（下線の引いてあるものが正解）

- ①くすり : 1. つくえ 2. あめ 3. くすり 4. くるま
②あぶない : 1. わからない 2. あぶない 3. あつい 4. さわるな
③タクシー : 1. タクシー 2. バス 3. 税金 4. 費用
④ペットボトル : 1. プラスチック 2. ボールペン
3. 段ボール 4. ペットボトル
⑤止まれ : 1. 進め 2. 曲がれ 3. 止まれ 4. 入るな
⑥注意 : 1. 注意 2. 禁煙 3. 安全 4. 禁止

【問題4】（各1点×5問）

正しい選択肢に○がつけてあれば1点（下線の引いてあるものが正解）

- ①6時閉店 : 1. 6時開始 2. 6時終了 3. 6時開店 4. 6時閉店
②金曜：特売日 : 1. 金曜特売 2. 月曜特売 3. 金曜休業 4. 月曜休業
③これはお酒です :
1. これは飲み物です 2. これは飲み物ではありません
3. これはお酒です 4. これはお酒ではありません
④停電のお知らせ :
1. 郵便物お預かりのお知らせ 2. 停電のお知らせ
3. 避難訓練のお知らせ 4. 断水のお知らせ
⑤ご自由にお使いください :
1. お早めにお越しく下さい 2. ご自由にお使いください
3. ご自由にお取りください 4. お早めにお召し上がりください

●手順2：合計点によるレベルの判定

採点が終わったら、問題1、問題2、問題4の全ての点数を合計します。この基準はA版もB版も共通です。

合計点が3点以下 → 0レベル

合計点が4点以上9点以下 → 1レベル

合計点が10点以上 → 2レベル以上

6. 書く能力の判定

まず、手順1に従って、「読む・書く」判定シートの各問題を採点します。次に各問題の得点を合計し、合計点からレベルを判定します。

●手順1：各問題の採点

まずは下の採点基準をもとに、問題1、問題3、問題5の各問題を採点します。

【A版・B版共通】

【問題1】（各1点×3問）

氏名：

1点：ひらがな・カタカナ・漢字のいずれかで姓名が書ける。

例：ろべると 田中 カストロ

0.5点：姓か名のいずれかが、ひらがな・カタカナ・漢字で書ける。

例：くりすちーな

0点：空白またはアルファベット書き、判別不能。

例：Christina Sato

住所：

1点：ひらがな・カタカナ・漢字・数字を使って住所が書ける。

例：豊田しうめぞの1ちょうめ1バン こうだんじゅうたく1-101

0.5点：ひらがな・カタカナ・漢字・数字を使って住所の基本的な部分が書ける。

例：あいちけんとよたしうめぞの

0点：空白またはアルファベット書き、判別不能。

国籍：

1点：ひらがな・カタカナ・漢字のいずれかで国籍が書ける。

例：ブラジル／中国

0.5点：正しくない部分もあるが、ひらがな・カタカナ・漢字のいずれかで国名が書かれており、推測すれば正しい国名がわかる。

例：ブラズル／ちゅごく

0点：空白または判別不能。

【A版】

【問題3】（各1点×6問）

①ごみ

1点 : ごみ、ゴミ、ゴミ

0.5点 : こみ

0点 : 空白または意味の伝達が不可能なもの（例：ゴミばこ）、明らかな間違い。

②こども

1点 : こども、子供、子ども

0.5点 : ことも、子

0点 : 空白または意味の伝達が不可能なもの、明らかな間違い。

③トイレ

1点 : トイレ、といれ、といレ

0.5点 : ドイレ

0点 : 空白または意味の伝達が不可能なもの、明らかな間違い。

④アイスクリーム

1点 : アイスクリーム、ソフトクリーム、アイス

0.5点 : ソフトクリーム、アイスクリーム、マイスクリーム

0点 : 空白または意味の伝達が不可能なもの（例：イスクリーム）明らかな間違い

⑤本

1点 : ほん、本、ホン

0.5点 : ぼん

0点 : 空白または意味の伝達が不可能なもの（例：木）、明らかな間違い

⑥今日

1点 : きょう、今日、本日

0.5点 : きょお

0点 : 空白または意味の伝達が不可能なもの（例：今）、明らかな間違い

【問題5】（2点×1問、3点×1問、4点×1問）

①おめでとうございます（2点）

2点：正しい文が書かれている

例：おめでとう、おめでとう！、おめでとうございます

1点：正しくない部分も一部あるが意味は伝わる。

例：おめでとうございます、おめでとございます、おめでと、おめでとう、

0点：空白または意味の伝達が不可能なもの、明らかな間違い

②電話してください（3点）

3点：正しい文が書かれている

例：電話してください、でんわしてください、

電話して下さい、おねがいします！、でんわおねがいします！

でんわください、電話をください、電話かけてください、でんわをかけて

2点：正しくない部分も一部あるが意味は伝わる。

例：電話をおかけてください、でんわをかけきてください、でわするください

電話をかけます

1点：文が正しくないため、誤解される可能性もあるが、文脈があれば伝わる。

例：すみません をでんは

0点：空白または意味の伝達が不可能なもの、明らかな間違い

③風邪のため、今日はお休みします（4点）

4点：正しい文が書かれている

例：風邪のため、今日はお休みします

風邪をひいたので、今日は休みます

3点：正しくない部分も多少あるが意味は伝わる。

例：わたしはかぜをひいだから、きょうは仕事できないです

私はかぜをひきました、から今日は会社をいきません

私はかぜですから、今日は仕事をしません

私は風邪ので、今日会社行かないです

2点：正しくない部分もあるが意味は伝わる。

例：わたしはかぜをひくですから、きょう休ます

私はかぜから、きょうしごとじゃない

1点：文が正しくないため、誤解される可能性もあるが、文脈があれば伝わる。

例：私はかぜから、今日のはたらくないて

しごとはやすみ かぜ

0点：空白または意味の伝達が不可能なもの、明らかな間違い

【B版】

【問題3】（各1点×6問）

①さいふ

1点 : さいふ、財布

0.5点 : さいほ、さいぷ

0点 : 空白または意味の伝達が不可能なもの（例：ざいぼ）、明らかな間違い。

②でんわ

1点 : でんわ、電話

0.5点 : でんは、でわ

0点 : 空白または意味の伝達が不可能なもの、明らかな間違い。

③テレビ

1点 : テレビ、てれび

0.5点 : テレピ テルピ

0点 : アルファベットのみで書かれたもの（例：TV）、空白または意味の伝達が不可能なもの、明らかな間違い。

④スーパーマーケット

1点 : スーパーマーケット、スーパー

0.5点 : スーパ、スパ、スーパーマケ

0点 : 空白または意味の伝達が不可能なもの（例：スパ）明らかな間違い

⑤会社

1点 : 会社、かいしゃ

0.5点 : かいしや、かいしあ

0点 : 空白または意味の伝達が不可能なもの、明らかな間違い

⑥きのう

1点 : きのう、昨日

0.5点 : きの、きのお

0点 : 空白または意味の伝達が不可能なもの、明らかな間違い

【問題5】（2点×1問、3点×1問、4点×1問）

①ありがとうございます（2点）

2点：正しい文が書かれている

例：ありがとう、 ありがとう！、 ありがとうございます

1点：正しくない部分も一部あるが意味は伝わる。

例：ありがとうございます、 ありがとございます、 ありがと、 ありがとう

0点：空白または意味の伝達が不可能なもの、明らかな間違い

②コピーしてください（3点）

3点：正しい文が書かれている

例：コピーしてください、 コピーしてください、
コピーして下さい、おねがいします！、 コピーおねがいします！
コピーください、 コピーして

2点：正しくない部分も一部あるが意味は伝わる。

例：コッピをしてください、 コーピをしてください
コピするください

1点：文が正しくないため、誤解される可能性もあるが、文脈があれば伝わる。

例：すみません コーピ、 コピ

0点：空白または意味の伝達が不可能なもの、明らかな間違い

③残業のため、遅れます（4点）

4点：正しい文が書かれている

例：残業のため、遅れます
残業があるので、遅くなります

3点：正しくない部分も多少あるが意味は伝わる。

例：残業だから、おそいになります
残業で、わたしはおくれです
ざんぎょです、おそいになります
ざんぎょなので、おそくなります

2点：正しくない部分もあるが意味は伝わる。

例：わたしはざんぎょから、おそいです
私はざんぎょ、おそい

1点：文が正しくないため、誤解される可能性もあるが、文脈があれば伝わる。

例：ざんぎょして、おそい、 わたしおそい
ざんぎょ、かえっておそい

0点：空白または意味の伝達が不可能なもの、明らかな間違い

●手順2：合計点によるレベルの判定

採点が終わったら、問題1、問題3、問題5の全ての点数を合計します。この基準はA版もB版も共通です。

合計点が3点以下 → 0レベル

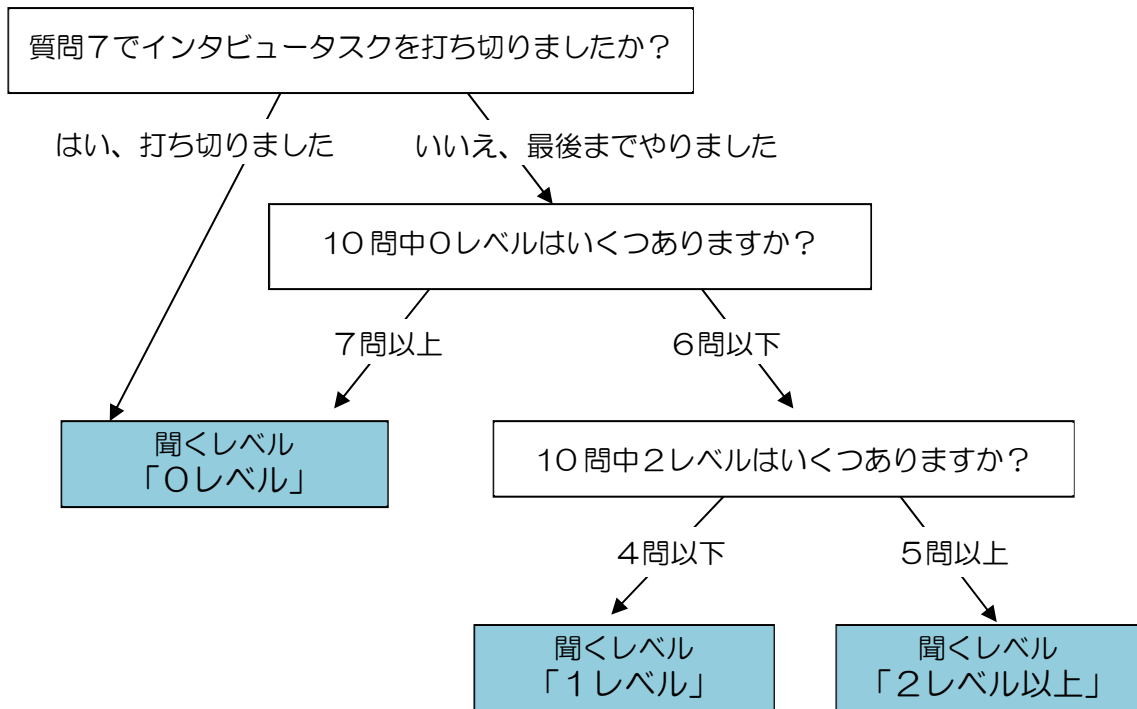
合計点が3.5点以上9.5点以下 → 1レベル

合計点が10点以上 → 2レベル以上

7. 聞く能力の判定

聞く能力は「インタビュータスク」の「聞くレベル」の結果を集計して判定します。質問1、2を除いた、質問3「名乗る」～質問12「休みの日」までの10問について見てください。聞くレベルの「0」「1」「2」それぞれの数を数え、下のチャートに従って、判定して下さい。

チャート3-1 聞く能力のレベルの判定チャート



※質問7はA版は「交通手段」、B版は「勤務時間」です。

チャート1で出たのが聞く能力のレベルです。「話す・聞く」判定シートの右上の欄に記入してください。

8. 話す能力の判定

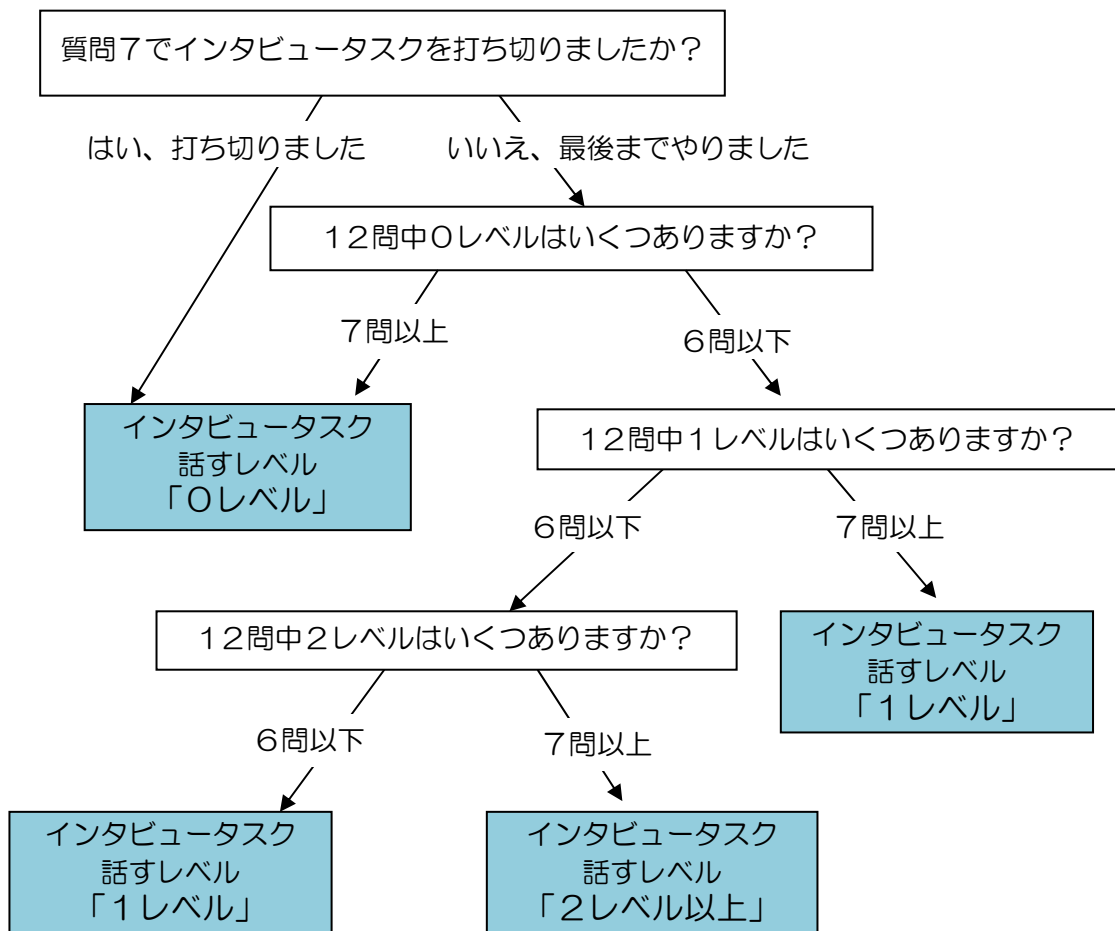
話す能力は、インタビュータスク、ロールプレイタスク、「絵を見て話す」タスクの「話すレベル」を集計して判定します。それぞれのタスクの話すレベルを判定して、さらにそれを総合的に判断し、話す能力のレベルを決めます。

1 それぞれのタスクのレベルの判定

【1】インタビュータスク

「インタビュータスク」の「話すレベル」の結果を集計して判定します。質問1「あいさつ」～質問12「休みの日」までの12問について見てください。話すレベルの「0」「1」「2」それぞれの数を数え、下のチャートに従って、判定して下さい。

チャート3-2 「インタビュータスク」判定チャート



※質問7はA版は「交通手段」、B版は「勤務時間」です。

ここで判定したレベルが「インタビュータスク」のレベルです。次に「ロールプレイタスク」のレベルの判定に移ります。

【2】ロールプレイタスク

●手順1：それぞれのトピックのレベルの判定

まず、4つのトピックの質問について、「質問のタイプ」と「質問内容の適切さ」の2つのポイントから、各トピックのレベルを算定します。

		質問のタイプ		
		3または2	1	0
質問内容の適切さ	3 または 2	2レベル	1レベル	0レベル
	1	1レベル	1レベル	0レベル
	0	0レベル	0レベル	0レベル

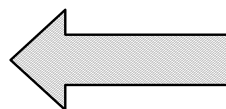
例えば、「住んでいるところ」を聞く質問で、「うち、どこ？」と聞いた場合は、以下のようにシートにチェックします。このとき、ポイントの質問のタイプは「1」、質問の適切さは「2」なので、上の表から、「住んでいるところ」のトピックのレベルは「1レベル」となります。これを4つのトピックすべてについて行います。

トピック	ポイント	レベル	例	
住んでいるところ	質問のタイプ	3	<input type="checkbox"/> 初対面にふさわしい丁寧な質問ができる。	・お住まいはどちらですか。 ・どちらにお住まいですか。
		2	<input type="checkbox"/> 文を使って質問ができる。	・どこに住んでいますか。 ・お住まいは？ ・私の家は〇〇ですけど、あなたの家は？
		1	<input checked="" type="checkbox"/> ごく単純な文、または単語の羅列による質問ができる。	・家は？ ・うち、どこ？ ・住所、何？ ・私、〇〇住んでる。あなたは？
		0	<input type="checkbox"/> 質問ができない。	
	質問内容の適切さ	2	<input checked="" type="checkbox"/> (質問全体として) 欲しい情報を得られる質問ができる。	・どこに住んでいますか。 ・うち、どこ？
		1	<input type="checkbox"/> (質問全体を見ても) 十分に情報を集められる質問ができない。	・家は？ ・アパート(寮)は？ →場所について聞いているとわからない
		0	<input type="checkbox"/> 質問の意図がわからない。質問ができない。	

4つすべてのトピックについてレベルを算定したら、どのレベルのトピックがいくつあるか数えておきましょう。

例えば、右の表のような算定結果になった場合、

- ・ 2レベルのトピック…… 1つ
 - ・ 1レベルのトピック…… 2つ
 - ・ 0レベルのトピック…… 1つ
- となります。

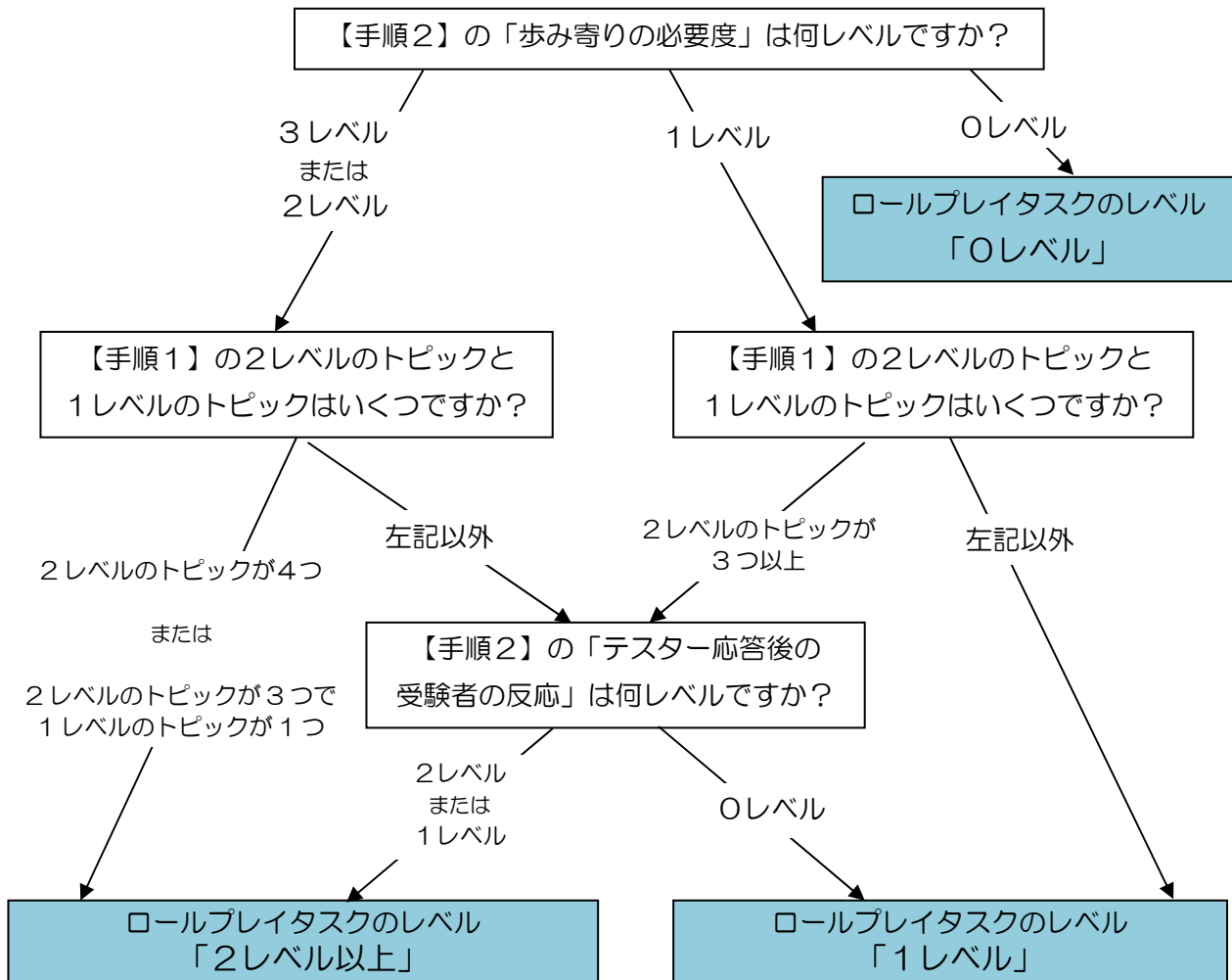


トピック	レベル
名前	2レベル
住んでいるところ	1レベル
家族構成	1レベル
趣味	0レベル

●手順2：「歩み寄りの必要度」、各トピックのレベル、「テスト応答後の受験者の反応」を総合的に見て、ロールプレイタスクのレベルを判定

下のチャートに従ってロールプレイタスクのレベルを判定します。まず、「歩み寄りの必要度」を見てそれぞれのレベルの選択肢に進んでください。その後、分岐によっては、手順1で数えたトピックのレベルの数や、「テスト応答後の受験者の反応」を見る必要がありますので注意して判定してください。

チャート3-3 ロールプレイタスクの判定チャート



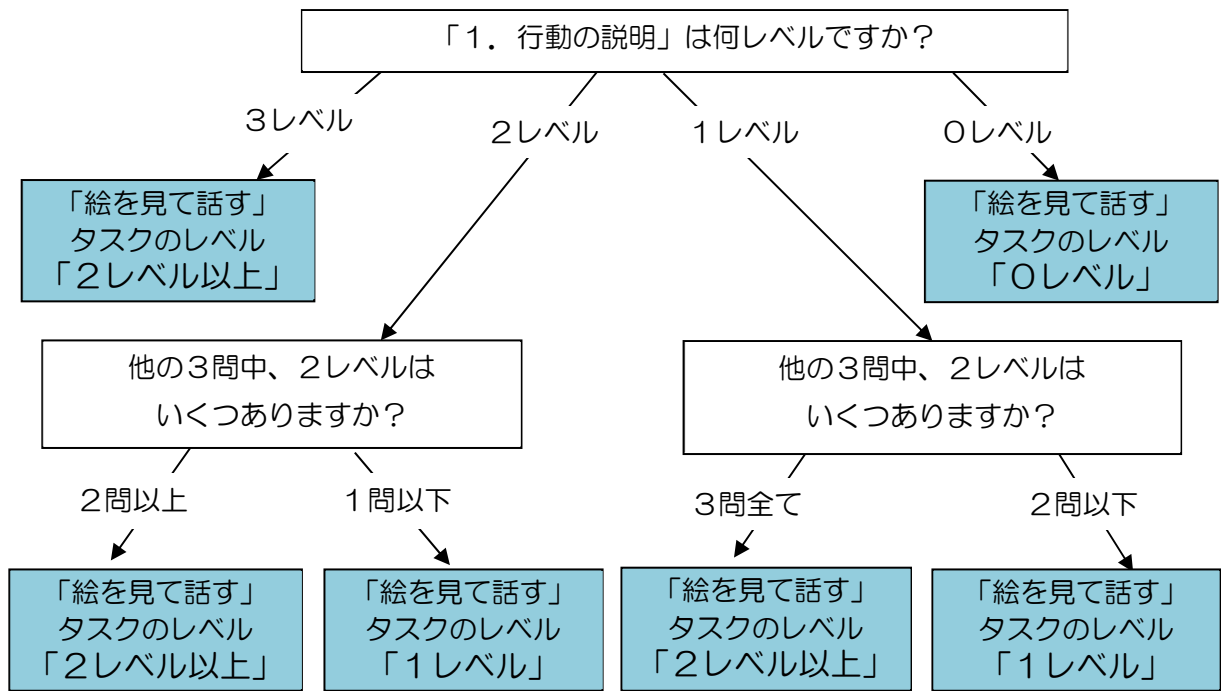
ここで判定したレベルがロールプレイタスクのレベルです。次に「絵を見て話す」タスクのレベルの判定に移ります。

【3】「絵を見て話す」タスク

「絵を見て話す」タスクの「話すレベル」の結果を集計して判定します。「話すレベル」の「0」「1」「2」それぞれの数を数え、下のチャートに従って、判定して下さい。

「絵を見て話す」タスクには絵カードの種類により「絵を見て話す1」タスクと「絵を見て話す2」タスクがありますが、判定は同じ基準に基づき行うことができます。どちらのタスクでも以下の判定の手順に従って判定して下さい。

チャート3-4 「絵を見て話す」タスクの判定チャート



ここで判定したレベルが「絵を見て話す」タスクのレベルです。

最後に、話す能力の総合的な判定に移ります。

2 話す能力のレベルの判定

インタビュータスク、ロールプレイタスク、「絵を見て話す」タスクそれぞれのレベルが出たら、3つのレベルから総合的に判断して話す能力のレベルを判定します。

具体的な手順は下のチャートに従ってください。

チャート 3-5 話す能力のレベルの判定チャート

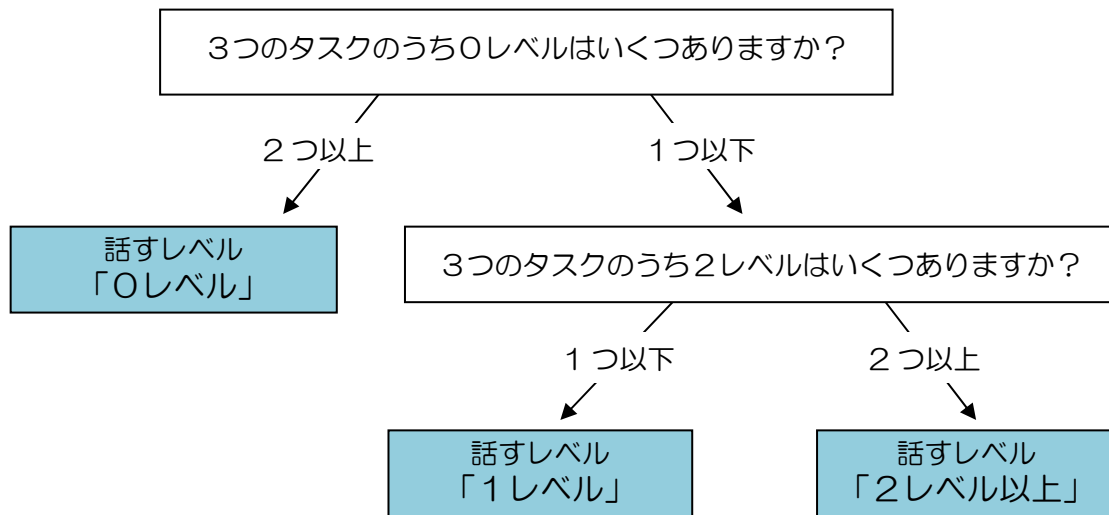


チャート 3-5 で出たのが話す能力のレベルです。「話す・聞く」判定シートの右上の欄に記入してください。

● Chapter 4

動画について

- 1 動画の内容
- 2 1レベルの受験者の「聞く・話す」判定
- 3 2レベルの受験者の「聞く・話す」判定

1. 動画の内容

とよた日本語能力判定では、1レベルの受験者と2レベルの受験者に対して行った「対象者判定」の「聞く・話す」判定の様子が収録された動画をテストターに提供しています。ここでは、それぞれの受験者の判定の様子を文字化したものと、実際の判定シートを載せていますので、動画と合わせてご覧いただくと、判定の方法がよりおわかりいただけることと思います。

●動画収録内容

Track 1 : 1レベルの「聞く・話す」判定

Track 2 : 2レベルの「聞く・話す」判定

●本章の掲載内容

- ・Track 1 の判定の文字化資料
- ・Track 1 の判定の「聞く・話す」判定シート
- ・Track 2 の判定の文字化資料
- ・Track 2 の判定の「聞く・話す」判定シート

2. 1レベルの受験者の「聞く・話す」判定

ここでは、Track 1 に収録されている 1 レベルの受験者について、文字化資料と判定シートをもとに、判定の様子を追っていきます。特に、話すレベルの判定について、解説していきます。

下の表は、Track 1 に収録されている 1 レベルの受験者の判定の様子を文字化したものです。

以下が表中の記号の説明です。

- T1 → テスター
- A → 受験者
- *** → 聞き取れない箇所
- … → 沈黙
- 【 】 → 非言語行動
- ### → 都合により音声をカットした部分

番号	発話者	内容
1001	T1	こんにちは
1002	A	こんにちは
1003	T1	日本語がわかりますか？
1004	A	少し
1005	T1	少し、はい
1006	T1	私は村上です、お名前はなんですか？
1007	A	サカイエレイネ…、サカイ
1008	T1	サカイさん、はい、サカイさんね、はい
1009	T1	えっと、お国はどちらですか？
1010	A	…
1011	T1	お国は？
1012	A	【首をかしげる】
1013	T1	国は？
1014	A	…
1015	T1	国はペルーですか？コロンビア？ブラジル？
1016	A	あ、ブラジル
1017	T1	あ、ブラジルですか、そうですか、はい
1018	T1	いつ日本へきましたか？
1019	A	うーん
1020	T1	いつ、日本、きました
1021	A	ああ、7、7年
1022	T1	7年、7年、えっと、2007年？
1023	A	うーん…にせん…
1024	T1	にせん…
1025	A	ああ、* *、2003

「少し」と語で答えている

「お国は？」「国は？」と聞いてもわからないようなので例示した

「7年」もしくは「2003」は「推測すれば意味がわかる」答え

1026	T1	2003、2003年ですね
1027	T1	今はどこに住んでいますか？
1028	A	と、豊田市
1029	T1	豊田市のどこですか？
1030	A	エ、エイデンの近く
1031	T1	エイデンの近くですか？あ、そうですか、私わからないな、はい
1032	T1	ここまでどうやってきますか？
1033	A	あー…
1034	T1	ここまで何で来ますか？
1035	A	【首をかしげる】
1036	T1	ここまでバスで来ますか？
1037	A	ああ、バ、バス
1038	T1	バスですか
1039	A	バス
1040	T1	ああそうですか、バスで来ます
1041	T1	家からここまで何分くらいかかりますか？
1042	A	3分
1043	T1	3分、あ、近いですね、あ、そうですか、3分、あ、そう
1044	T1	サカイさんはどんな仕事をしていますか？
1045	A	どんな…
1046	T1	サカイさんの仕事はなんですか？
1047	A	【首かしげる】
1048	T1	仕事は運搬ですか？組立？
1049	A	組立
1050	T1	組立、ああそうですか、組立ね、はい
1051	T1	何時から何時まで働きますか？
1052	A	【首かしげる】【時計を指さす】
1053	T1	うん？
1054	A	わから…
1055	T1	何時から何時まで、えーと、仕事は何時から何時までですか？
1056	A	はち…
1057	T1	8時
1058	A	はちじ…
1059	T1	8時
1060	A	8時から5…5…
1061	T1	5？
1062	A	【笑】
1063	T1	【笑】
1064	T1	8時からですか
1065	A	8時、8時
1066	T1	はい、8時、はい
1067	T1	仕事はどうですか？
1068	A	【首をかしげる】
1069	T1	仕事はどうですか？たいへんですか？

「豊田市」も
「エイデンの近く」も
語での答え

「仕事は何ですか」
と聞いてもわからな
いようなので
例示した

「8時から」も
あいまいで
「5時まで」も
言えていないので、
「時間は言うことがで
きる」とみなす

1070	A	あー、たいへん、ち
1071	T1	たいへんじゃない、いそがしいですか
1072	A	いそがしい
1073	T1	いそがしい、あ、そうですか
1074	T1	たのしい？
1075	A	たのしい？わからない
1076	T1	わからない、はい
1077	T1	休みはいつも何をしますか？
1078	A	やすみ？
1079	T1	休み
1080	A	ど、どよ
1081	T1	あ、どうぶと？
1082	A	や、やすみ
1083	T1	土曜日と日曜日
1084	T1	休みの日になにをしますか？
1085	T1	休みの日、土曜日と日曜日何する？
1086	A	あー、スーパー
1087	T1	スーパー
1088	A	そうじ
1089	T1	いそがしいですね、やすみも、そうですか
1090	T1	では、これを読んでください
1091	A	****
1092	T1	どうぞ
1093	A	あーわからない……名前は？
1094	T1	私の？名前は村上です、よろしくおねがいたします
1095	A	あー、ど、うーん、住んで、どこすんでる？
1096	T1	私？どこ住んでる…名古屋です、名古屋市に住んでいます
1097	A	あー、息子、ありますか？
1098	T1	息子はいません
1099	A	【笑】
1100	T1	【笑】
1101	A	うーん、えー
1102	T1	難しい？はい、いいですよ、どうもありがとう
1103	T1	じゃあ、この絵を見てください、この人は山田さんです、山田さんは昨日何をしましたか？
1104	A	き、昨日？
1105	T1	うん、これ昨日、昨日ね、昨日何をしましたか？話してください、山田さんは？
1106	A	仕事
1107	T1	うん
1108	A	スーパー
1109	T1	スーパー、はい
1110	T1	じゃ、これは？
1111	A	ご飯食べる

テストの例示を繰り返している

「スーパー」「そうじ」と語で答えている

「名前は？」と文で適切な質問ができています

「どこ住んでる？」とごく単純な文で適切な質問ができています

息子についてしか聞いていないので、十分に情報を集められない

最後の質問は回避した

1112	T1	ご飯食べる、あ、そうですか
1113	T1	これは？
1114	A	電話
1115	T1	電話、はい
1116	A	テレビ
1117	T1	テレビ
1118	T1	わからない、あ、はい
1119	T1	山田さんは何時に仕事を終わりましたか？
1120	A	5・・・
1121	T1	うん？5？
1122	A	うーん
1123	T1	わかりません、はい
1124	T1	それじゃ、山田さんは電話をかけました、何番ですか？
1125	A	何番？
1126	T1	何番ですか？番号
1127	A	ああ、ゼロきゅうゼロななはちきゅうゼロいちさんごろく(09078901356)
1128	T1	はい、そうですね、はい
1129	T1	山田さんは買い物をしました、スーパーです、何をいくらで買いましたか？
1130	A	ああ、ひゃくごじゅうえん？
1131	T1	ひゃくごじゅうえん、何？
1132	A	ああ、バナナ、バナナ
1133	T1	バナナ？
1134	A	はくご
1135	T1	はく？
1136	A	ひゃくごじゅうえん
1137	T1	ひゃくごじゅうえん
1138	T1	パンは？
1139	A	さんひゃくよんじゅうきゅうえん
1140	A	チキン？
1141	T1	チキン
1142	A	いちまんご、の一、いちまん、えー、笑、せんえん、せんえんごじゅうえん
1143	T1	せんえんごじゅうえん？
1144	A	ごじゅ、ごじゅう、せんえん、せんえんごじゅうえん
1145	T1	せんえんごじゅうえん、はい
1146	T1	これは？
1147	A	ミルク、ひゃくきゅうじゅうはちえん
1148	T1	はい、わかりました、これで終わりますね、ありがとうございます
1149	A	はい、ありがとう

「行動の説明」はほとんどが語のみ

時間の説明ができない

電話番号はすべて正確に言えている

パンと牛乳の値段はほぼ正しく言えたが、バナナと鶏肉の値段は正しく言えなかった

NO. ××××××

A 版

聞く

2

話す

1

とよた日本語能力判定 対象者判定「聞く・話す」判定シート

情報記入欄

対象教室	第 〇〇 期 △△△ 日本語教室				
判定日	西暦 20×× 年 × 月 ×× 日				
場所	*****				
目的	対象者判定 / 修了判定 / その他()				
受験者	氏名	サカイ・エライネ	判定者	氏名	村上京子
	国	ブラジル		レコーダ	
	性別	男・女		フォルダ	

※レコーダを使用しない場合、「レコーダ」「フォルダ」は記入しなくてもよい。
 ※国名はテストでの回答を記入するので、終了後記入。

インタビュータスク

【インタビュータスクの手順】

- ① テスターは上の質問から順に言う。学習者が聞き取れなかったと思われる場合は、同じ問題をもう一度繰り返す（全部で2回言ってもよい）。質問が理解できていないと判断した場合、同じ囲みにある下の質問へ移る。学習者が理解できた質問のレベルの□にチェックを入れる。
- ② 受験者が答えた答えの形式に最も近いものの□にチェックを入れる。
- ③ 質問は1から順に行う。7まで終了した時点で□の0レベルに5つ以上チェックがあれば、ロールプレイタスクへ進む。そうでない場合は、12まで終了したら、ロールプレイへ進む。

1. あいさつ

テスター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
✓こんにちは	1	✓適当な答え	こんにちは
	0	□非言語行動での反応	頭を下げる/手をあげる
	0	□あいさつだと理解し、母語や英語で答える	ボンジーア/オイ/ハロー/ニイハオ
	0	□産出できない	

2. 日本語について

テスター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
✓日本語がわかりますか。	2	□文で答える	だいたいわかります/まあまあです
	1	✓語で答える	はい/いいえ/少し
	0	□非言語行動での反応	頷く/首を振る/ジェスチャー
	0	□産出できない	

3. 名乗る

聞くレベル	テスター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
2	□私は〇〇（名前）です。	2	□名乗っていることを理解して自分も名乗る	マウロです/マウロといいます/マウロと申します
2	✓お名前は何かですか。	2	□文で答える	マウロです/木村太郎です
2	□お名前は？	1	✓名前のみ言う	マウロ/木村
1	□名前？	0	□産出できない	反応なし、首をかしげる

名前：サカイエライネ

4. 出身国

聞くレベル	テスター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
2	<input type="checkbox"/> お国はどちらですか。	2	<input type="checkbox"/> 文で答える	ブラジルから来ました／ブラジル出身です
2	<input type="checkbox"/> お国は？	2	<input type="checkbox"/> 「国名＋です」で答える	ブラジルです／中国です
2	<input type="checkbox"/> 国は？	1	<input type="checkbox"/> 国名のみ言う	ブラジル／中国
1	<input checked="" type="checkbox"/> 国は？ブラジルですか、ペルーですか、中国ですか？【例示】	1	<input checked="" type="checkbox"/> テスターが言った選択肢を繰り返す、「はい」と言う	(ブラジル?) 頷く／はい／そう／ブラジル
1	<input type="checkbox"/> ブラジル？ペルー？中国？	0	<input type="checkbox"/> 母語的な発音や英語などで国名を言う、頷く	ブラジル (ポルトガル語で)、中文 (中国語で)
0	<input type="checkbox"/> 理解できない	0	<input type="checkbox"/> 産出できない	

国： ブラジル

5. 数字／時

聞くレベル	テスター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
2	<input type="checkbox"/> いつ日本へ来ましたか。	2	<input type="checkbox"/> 文で答える	2006 年に来ました／5 年前に来ました
1	<input checked="" type="checkbox"/> 日本、来た、いつ？	2	<input type="checkbox"/> 「～です」で答える	2006 年です／5 年前です
1	<input type="checkbox"/> いつ日本？2000 年？2005 年？【例示】	1	<input type="checkbox"/> 語のみ	2006 年／5 年前
0	<input type="checkbox"/> 理解できない	1	<input checked="" type="checkbox"/> 推測すれば意味がわかる	2、0、0、6／5 年
		0	<input type="checkbox"/> 非言語行動で反応する	(手で)5、文字を書く
		0	<input type="checkbox"/> 母語で反応する	Dois anos/two years
		0	<input type="checkbox"/> 産出できない	

来日年：西暦 2003 年

6. 住んでいる所

聞くレベル	テスター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
2	<input checked="" type="checkbox"/> 今はどこに住んでいますか。	2	<input type="checkbox"/> 文で答える	保見に住んでいます
2	<input type="checkbox"/> うち/いえはどこですか。	2	<input type="checkbox"/> 「～です」で答える	保見です/市役所の近くです
1	<input type="checkbox"/> うち、いえ、どこ？	1	<input checked="" type="checkbox"/> 語で答える	保見/寮/アパート、保見
1	<input type="checkbox"/> 保見？みよし？【例示】	0	<input type="checkbox"/> 非言語行動での反応	(文字で)homi、地図をかく
0	<input type="checkbox"/> 理解できない	0	<input type="checkbox"/> 産出できない	

住んでいる所：豊田市

7. 交通手段

聞くレベル	テスター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
2	<input type="checkbox"/> ここまでどうやって来ていますか。／ここまでどうやって来ましたか。	2	<input type="checkbox"/> 文で答える	車で通っています／バスで行きます／送迎で来ています／歩いてきました。
2	<input type="checkbox"/> ここまでなにで来ますか。／ここまでなにで来ましたか。	2	<input type="checkbox"/> 「～です」で答える	車です／歩きます／送迎です
1	<input checked="" type="checkbox"/> ここまで、バスで来ますか、車で来ますか。【例示】	2	<input type="checkbox"/> 「(手段)で」で答える	自転車で／バスで／歩いて
1	<input type="checkbox"/> ここに来ます。バス？車？電車？歩きます？送迎？【例示】	1	<input checked="" type="checkbox"/> 語で答える	自転車／車／バス／送迎
0	<input type="checkbox"/> 理解できない	1	<input type="checkbox"/> テスターの例示を繰り返す	(テスター「車?」)うん、車
		1	<input type="checkbox"/> 「はい、うん/いいえ」で答える	はい／うん／ううん／いいえ
		0	<input type="checkbox"/> 非言語／母語での反応	Outobus／(文字で)車／擬音
		0	<input type="checkbox"/> 産出できない	

「話すレベル (受験者の応答)」の0レベルに5つ以上チェックがあれば、ロールプレイタスクへ

8. 通勤時間

聞くレベル	テスター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
2	<input checked="" type="checkbox"/> 家からここまで、何分くらいかかりますか？	2	<input type="checkbox"/> 文で答える	1時間かかります／1時間もかかる
2	<input type="checkbox"/> 家からここまで何分ですか？	2	<input type="checkbox"/> 「～です」で答える	10分です／10分くらいです
1	<input type="checkbox"/> （地名：6番の回答）からここまで、10分ですか？30分ですか？【例示】	1	<input checked="" type="checkbox"/> 語で答える	10分／1時間／10分くらい
1	<input type="checkbox"/> ここにきます。時間、10分？20分？30分？（答えるまで例を出す）	1	<input type="checkbox"/> テスターの例示を繰り返す	（テスター「30分？」）30分
0	<input type="checkbox"/> 理解できない	1	<input type="checkbox"/> 「はい、うん／いいえ」で答える	はい／うん／ううん／いいえ
		0	<input type="checkbox"/> 非言語／母語での反応	数字を書く／頷く／母語
		0	<input type="checkbox"/> 産出できない	



9. 仕事内容

※臨機応変に！

聞くレベル	テスター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
2	<input type="checkbox"/> どんな仕事をしていますか？（していましたか？）	2	<input type="checkbox"/> 文で答える	組み立てをしています／トラックで荷物を運んでる
2	<input type="checkbox"/> ●●さんの仕事は何ですか？（何でしたか？）	2	<input type="checkbox"/> 「～です（でした）」で答える	組み立てです／ラインの仕事でした
1	<input checked="" type="checkbox"/> 検査の仕事です（でした）か？ 運搬の仕事です（でした）か？ どんな仕事です（でした）か？ 【例示】	1	<input checked="" type="checkbox"/> 語で答える	シートベルト／運搬／組み立て／ねじ
1	<input type="checkbox"/> 仕事は、検査？検査？選別？ 【例示】	1	<input type="checkbox"/> テスターの例示を繰り返す	（テスター「検査の仕事ですか？」）はい、検査
0	<input type="checkbox"/> 理解できない	1	<input type="checkbox"/> 「はい／うん／いいえ」で答える	はい／うん／ううん／いいえ
		0	<input type="checkbox"/> 母語での反応	
		0	<input type="checkbox"/> 産出できない	



10. 勤務時間

※臨機応変に！

聞くレベル	テスター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
2	<input type="checkbox"/> 何時から何時まで働きますか？（働きましたか？）	2	<input type="checkbox"/> 文で答える	8時から4時半まで働きます／夜勤はいつも6時からです
2	<input checked="" type="checkbox"/> 仕事は何時から何時までですか？（何時まででしたか？）	2	<input type="checkbox"/> 「～です（でした）」で答える	9時から5時までです
2	<input type="checkbox"/> 仕事は何時からです（でした）か？【答えがでたら】何時までです（でした）か？	2	<input type="checkbox"/> 「～から、～まで」で答える	9時から5時まで
1	<input type="checkbox"/> 仕事は9時からです（でした）か？7時からです（でした）か？【例示】	1	<input checked="" type="checkbox"/> 時間は言うことができる	8時から4時半ね／9時ね。あと、5時。
0	<input type="checkbox"/> 理解できない	1	<input type="checkbox"/> テスターの例示を繰り返す	（テスター「9時からですか？」）はい、9時
		1	<input type="checkbox"/> 「はい／うん／いいえ」で答える	はい／うん／ううん／いいえ
		0	<input type="checkbox"/> 非言語／母語での反応	
		0	<input type="checkbox"/> 産出できない	



11. 仕事の感想

聞くレベル	テスター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
2	□仕事はどうです(でした)か?	3	□例を入れ、文で答える	機械が多くて、大変です/食堂が大きいから、いいね
2	☑仕事はどうです(でした)か? 大変です(でした)か?【例示】	2	□文で答える	毎日忙しいです
1	□仕事、忙しい(しかった)? 楽しい(しかった)? 大変? 【例示】	2	□「～です(でした)」で答える	忙しいです/楽しいです
0	□理解できない	1	□語で答える	忙しい/楽しい/大丈夫
		1	☑テスターの例示を繰り返す	(テスター「忙しい?」) 忙しいです。
		1	□「はい/うん/いいえ」で答える	はい/うん/ううん/いいえ
		0	□非言語/母語での反応	
		0	□産出できない	



12. 休みの日

聞くレベル	テスター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
2	□休みはいつも何をしますか?	3	□接続表現を使って、複文や複数の文で答える。	よく家族と教会にいきますけど、ときどきパーティや買い物に行きます。
2	□休みの日に何をしますか?	2	□文で答える	買い物に行きます
1	☑休みの日何をする?	2	□「～です(でした)」で答える	買い物です/バーベキューです
0	□理解できない	1	☑語で答える	買い物/バーベキュー/寝る
		0	□非言語/母語での反応	
		0	□産出できない	



ロールプレイタスクへ

ロールプレイタスク

ロールカードの指示文（母語で記述されている）

私たちは今日初めて会いました。仲良くなるために、次のことを質問しながら、自然な会話をしてください。
 ①名前 ②住んでいるところ（どこに住んでいるか） ③家族構成（家族に誰がいるか） ④趣味
 では、始めましょう。

手順① 【質問のタイプ】【質問の適切さ】について、質問のレベルをひとつずつチェックする

トピック	ポイント	レベル	例	
名前	質問のタイプ	3	<input type="checkbox"/> 初対面にふさわしい丁寧な質問ができる。	・名前は何かとおっしゃいますか。 ・お名前をお聞きしてもいいですか。
		2	<input checked="" type="checkbox"/> 文を使って質問ができる。	・（お）名前は何かですか。 ・お名前は？
		1	<input type="checkbox"/> ごく単純な文、または単語の羅列による質問ができる。	・名前、なに？ ・私、〇〇。あなたは？
		0	<input type="checkbox"/> 質問ができない。	
	質問内容の適切さ	2	<input checked="" type="checkbox"/> （質問全体として）欲しい情報を得られる質問ができる。	・（お）名前は何かですか。 ・（お）名前は？
		1	<input type="checkbox"/> （質問全体を見ても）十分に情報を集められる質問ができない。	・あなたはお名前ですか？ →名前を聞いているとわからない
0		<input type="checkbox"/> 質問の意図がわからない。質問ができない。		
住んでいるところ	質問のタイプ	3	<input type="checkbox"/> 初対面にふさわしい丁寧な質問ができる。	・お住まいはどちらですか。 ・どちらにお住まいですか。
		2	<input type="checkbox"/> 文を使って質問ができる。	・どこに住んでいますか。 ・お住まいは？ ・私の家は〇〇ですけど、あなたの家は？
		1	<input checked="" type="checkbox"/> ごく単純な文、または単語の羅列による質問ができる。	・家は？ ・うち、どこ？ ・住所、何？ ・私、〇〇住んでる。あなたは？
		0	<input type="checkbox"/> 質問ができない。	
	質問内容の適切さ	2	<input checked="" type="checkbox"/> （質問全体として）欲しい情報を得られる質問ができる。	・どこに住んでいますか。 ・うち、どこ？
		1	<input type="checkbox"/> （質問全体を見ても）十分に情報を集められる質問ができない。	・家は？ ・アパート（寮）は？ →場所について聞いているとわからない
0		<input type="checkbox"/> 質問の意図がわからない。質問ができない。		
家族構成	質問のタイプ	3	<input type="checkbox"/> 初対面にふさわしい丁寧な質問ができる。	・ご家族についてお聞きしてもいいですか。 ・ご結婚していらっしゃるんですか。
		2	<input type="checkbox"/> 文を使って質問ができる。	・家族は何人ですか。 ・結婚していますか。 ・お父さん、お母さんと一緒に住んでいますか。
		1	<input checked="" type="checkbox"/> ごく単純な文、または単語の羅列による質問ができる。	・家族、何人？ ・お父さん、お母さん、一緒？ ・子供いる？ ・結婚してる？
		0	<input type="checkbox"/> 質問ができない。	
	質問内容の適切さ	2	<input type="checkbox"/> （質問全体として）欲しい情報を得られる質問ができる。	・家族は何人ですか。 ・家族は誰がいる？
		1	<input checked="" type="checkbox"/> （質問全体を見ても）十分に情報を集められる質問ができない。	・結婚してる？ ・子供いますか。 →家族構成について聞いていない
0		<input type="checkbox"/> 質問の意図がわからない。質問ができない。		
趣味	質問のタイプ	3	<input type="checkbox"/> 初対面にふさわしい丁寧な質問ができる。	・何かご趣味をお持ちですか。 ・お休みの日は何をされることが多いですか。
		2	<input type="checkbox"/> 文を使って質問ができる。	・好きなことは何ですか。 ・趣味は何ですか。 ・好きなスポーツは何ですか。 ・何が好きですか。
		1	<input type="checkbox"/> ごく単純な文、または単語の羅列による質問ができる。	・趣味、何？ ・休みの日、何する？ ・何、好き？ ・私、〇〇好き。あなたは？
		0	<input checked="" type="checkbox"/> 質問ができない。	
	質問内容の適切さ	2	<input type="checkbox"/> （質問全体として）欲しい情報を得られる質問ができる。	・趣味は何？ ・好きなことは何ですか。
		1	<input type="checkbox"/> （質問全体を見ても）十分に情報を集められる質問ができない。	・何が好きですか？→好きなものを聞く質問であり、 趣味について聞いていない ・休みの日、何する？ →休みの日にすることが趣味とは限らない
0		<input checked="" type="checkbox"/> 質問の意図がわからない。質問ができない。		

手順② ロールプレイ全体に関して、以下の2点をそれぞれチェックする

歩み寄りの必要度	
3	<p><input type="checkbox"/> よどみなく質問ができ、しかも、求める答えを適切に引き出せる質問ができる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>受験者：お名前は何ですか？ テスター：私の名前は佐藤です。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>受験者：何人家族ですか。 テスター：3人家族です。</p> </div> </div>
2	<p><input type="checkbox"/> 少し考える時間があれば、求める答えを適切に引き出せる質問ができる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>受験者：あー…名前…えーと…名前は、 何ですか？ テスター：私の名前は佐藤です。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>受験者：あー…家族は…えーと…なに… 何人ですか？ テスター：3人家族です。</p> </div> </div>
1	<p><input checked="" type="checkbox"/> 求める答えを適切に引き出せる質問ができないが、テスターが推測したり聞き返したりすれば、求める答を得ることができる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>受験者：んー、あなたはお名前ですか？ テスター：えっ？ 受験者：あなたはお名前ですか？ テスター：あ、私の名前？ 受験者：はい。名前。 テスター：私の名前は佐藤です。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>受験者：あなた、結婚してる？ テスター：はい。しています。 受験者：子供はいる？ テスター：いますよ。 受験者：娘、何人？ テスター：娘はいません。 受験者：…あー、息子は？ テスター：息子は1人います。</p> </div> </div>
0	<p><input type="checkbox"/> 質問の生成に時間がかかり、質問できたとしても、求める答えを適切に引き出せる質問ができない。または質問を回避する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>受験者：あー…名前…あー…あなた、名前…ですか？ テスター：えっ？ 受験者：……。 (黙ってしまう) テスター：あ、私の名前？ 受験者：……。？ (首をかしげる)</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>受験者：あー…こども、いる？ テスター：いいえ。いません。 私、結婚してないんです。 受験者：あー……結婚…ない？ テスター：はい。してないです。 受験者：……。 (黙ってしまう)。</p> </div> </div>
テスター応答後の受験者の反応	
2	<p><input type="checkbox"/> 「いいですね。」など、テスターの応答に対して何か一言以上が返ってくる。</p>
1	<p><input checked="" type="checkbox"/> 「うん。」となどのわずかな反応、または、テスターの応答のくり返し。</p>
0	<p><input type="checkbox"/> 頷きだけなど、非言語のみの反応。または、全く反応がない。</p>



絵を見て話すタスクへ

「絵を見て話す」タスク

【「絵を見て話す」タスクの手順】

- ① 「絵カード1」か「絵カード2」を選ぶ（指定がある場合はその指定の絵カードを使用する）
 ② 「絵カード1」→「絵を見て話す1」タスクへ
 「絵カード2」→「絵を見て話す2」タスクへ

「絵を見て話す1」タスク

【「絵を見て話す1」タスクの手順】

- ① 「絵カード1」を見せる。
 ② テスターが「この人は山田さんです。昨日、山田さんは何をしましたか？説明して下さい」と言う。

1. 行動の説明

テスター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
（最初の指示で受験者が発話しない場合）絵を指で指しながら、「山田さんは何をしましたか？」とひとつずつ聞く	3	<input type="checkbox"/> 接続表現を使い、順を追って説明できる	5時に仕事が終わってから買い物をして帰りました／奥さんと夕食を食べましたそれから電話をかけました
	2	<input type="checkbox"/> 1つずつの絵を文で説明できる	スーパーで買い物をしました。6時に家へ帰りました。テレビを見ました。電話をかけました。
	2	<input type="checkbox"/> 1つずつの絵をやや不自然であるが文で説明できる	スーパーで買い物する。6時にアパートに帰る。テレビを見る。友達に電話する。
	1	<input type="checkbox"/> 1つずつの絵を不完全だが説明できる	買い物する。アパート帰る。テレビ見る。電話する。
	1	<input checked="" type="checkbox"/> 絵の情報の一部を単語で言える	買い物、帰った、テレビ、電話
	0	<input type="checkbox"/> 説明できない	

2. 時間の説明

テスター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
（「1. 行動の説明」で時刻を説明しなかった場合）以下の問いかけを行う <input type="checkbox"/> 山田さんは何時に仕事を終わりましたか？ <input type="checkbox"/> 山田さんは何時に買い物をしましたか？ <input type="checkbox"/> 山田さんは何時に電話をしましたか？ <input type="checkbox"/> 山田さんは何時から何時までテレビを見ましたか？ <input type="checkbox"/> 山田さんは何時に寝ましたか？	2	<input type="checkbox"/> 「●時に～しました」「■時から▲時まで～しました」と正確に説明できる	8時半に友達に電話をしました。9時から10時45分までテレビを見ました ※（個別に質問した後では）9時から10時45分まで。
	1	<input type="checkbox"/> 時間は言うことができる	8時半 電話しました。9時と10時45分、テレビ見た。 ※（個別に質問した後では）9時と、10時45分。
	0	<input checked="" type="checkbox"/> 説明できない	

3. 品物と値段の説明

テスター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
（「1. 行動の説明」で値段を説明しなかった場合）以下の問いかけを行う <input type="checkbox"/> 何をいくらで買いましたか？ <input type="checkbox"/> これは何ですか？いくらでしたか？ <input type="checkbox"/> これ何？いくら？何円？	2	<input type="checkbox"/> 品物と値段を正しく説明できる（4ペア中3ペア以上）	バナナがひゃくきゅうじゅうはちえん
	1	<input checked="" type="checkbox"/> 品物と値段を部分的に正しく説明できる（4ペア中2or1ペア）	バナナ、いちきゅうはちえん
	0	<input type="checkbox"/> 1ペアも品物と値段を正しく説明できない	
※品物の名前 バナナ〇、牛乳〇、ミルク〇、パン〇 とり<〇、チキン〇、とり〇、肉〇、にわとり〇			

4. 電話番号の説明

テスター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
（「1. 行動の説明」で電話番号を説明しなかった場合）以下の問いかけを行う <input type="checkbox"/> 何番に電話をかけましたか？ <input type="checkbox"/> 電話番号は何番ですか？ <input type="checkbox"/> 電話番号は？	2	<input checked="" type="checkbox"/> 正しく説明できる	「090-7890-1356」を全て言える
	1	<input type="checkbox"/> 部分的に言える	0,3,1 など簡単なものは言える
	0	<input type="checkbox"/> 説明できない	

3. 2レベルの受験者の「聞く・話す」判定

ここでは、Track 2に収録されている2レベルの受験者について、文字化資料と判定シートをもとに、判定の様子を追っていきます、特に、話すレベルの判定について、解説していきます。

下の表は、Track 2に収録されている2レベルの受験者の判定の様子を文字化したものです、

以下が表中の記号の説明です、

T2 → テスター

B → 受験者

*** → 聞き取れない箇所

… → 沈黙

【 】 → 非言語行動

→ 都合により音声をカットした部分

番号	発話者	発話
2001	T2	こんにちは
2002	B	こんにちは
2003	T2	日本語がわかりますか？
2004	B	少し
2005	T2	少し、はい
2006	T2	私は入江です、
2007	B	***
2008	T2	お名前はなんですか？
2009	B	私は寺川アリネです
2010	T2	てらがわ…
2011	B	寺川アリネ
2012	T2	あ、アリネさんですね
2013	T2	お国はどちらですか？
2014	B	ブラジルです
2015	T2	ブラジルですか、はい
2016	T2	いつ日本へ来ましたか？
2017	B	うーん、12年前
2018	T2	12年前、あ、結構長いですね
2019	T2	今どこに住んでいますか？
2020	B	今、豊田、保見団地、
2021	T2	保見団地ですか、はい
2022	T2	ここまでどうやって来ていますか？
2023	B	バスで
2024	T2	バスですか

文で答えている

語で答えている

2025	T2	家からここまで何分ぐらいかかりますか？
2026	B	よ、30分くらい
2027	T2	30分？
2028	B	40分
2029	T2	40分くらい、結構遠いですね
2030	T2	今どんな仕事をしていますか？
2031	B	あーん、ラインのうーん#####
2032	T2	あ、そうですか、つくるほうですか、そうですか
2033	T2	何時から何時まで働きますか？
2034	B	8時から5、8時20分から5時20分まで
2035	T2	8時20分から5時20分まで、あ、そうですか、結構長いですね
2036	T2	仕事はどうですか？
2037	B	うーん、簡単
2038	T2	簡単ですか、そうですか、じゃあいいですね
2039	T2	休みの日はいつも何をしますか？
2040	B	うーん、買い物する、んとー、遊びに行く
2041	T2	あ、そうですか、買い物したり、遊びに
2042	T2	じゃあ、これを見てください
2043	B	あなたの名前はなんですか？
2044	T2	私の名前は入江です
2045	B	あー、どこに住んでいますか？
2046	T2	私は名古屋市に住んでいます
2047	B	とー、家族はいくつですか？
2048	T2	歳ですか？
2049	B	あー家族は、あー***えー、何人が住んでいますか
2050	T2	あ、人数ですね、えーと、私を入れて3人です
2051	B	何が好きですか？何やっが好きですか？
2052	T2	好きなものですか？えーと、そうですね、ケーキが好きですね
2053	T2	ケーキ好きですか？
2054	B	【うなずく】
2055	T2	そうですか
2056	B	【笑】
2057	T2	【笑】
2058	T2	いいですか？じゃ、次はこれを見てください
2060	T2	この人、この人は山田さんです、山田さんです、山田さんは昨日何をしましたか？私に教えてください
2061	B	山田さん、仕事帰りました
2062	T2	はい
2063	B	とー、あとは、5時30分の夜買い物した、とーあと家にかいました、とー、あー、よー夕ごはん食べた、とー電話しました、とーあとはテレビ見ました、とーあと寝てた
2064	T2	じゃー、えー、山田さんは何時に仕事が終わりましたか？
2065	B	5時の夜

都合により音声が入っていないが、ここでは文で答えている

文で答えているが、接続表現は使っていない

最初は「いくつですか？」と聞いたが、「何人が住んでいますか？」と修正した

「ケーキ」は趣味ではないのに、それ以上は質問しなかったの、趣味について十分に聞いたとは言えない

過去形を使って文で言っているが、接続表現は使っていない

2066	T2	山田さんは何時にごはんを食べましたか？
2067	B	7時 15 分から8時 15 分まで
2068	T2	はい
2069	T2	山田さんは何時に電話をしましたか？
2070	B	8時半
2071	T2	はい
2072	T2	山田さんは何番に電話をかけましたか？
2073	B	ゼロきゅうぜろのななはちきゅうぜろのいちさんごーろく
2074	T2	はい
2075	T2	えー、山田さんは買い物しましたねー、何をいくらで買いましたか？
2076	B	バナナはひゃくごえんと、パンはさんびやくよんじゅうきゅうえんと、鶏肉、せんごじゅうえんと、牛乳、ひやく、ひやくきゅう、ひやくきゅうじゅうはち
2077	B	【笑】
2078	T2	はい、はい、じゃあ、オッケーです、これで全部終わりです、ありがとうございました

時間は正確に言えている

品物の名前と値段が正確に言えている

NO.	××××××
-----	--------

A 版

聞く	2
----	----------

話す	2
----	----------

とよた日本語能力判定 対象者判定「聞く・話す」判定シート

情報記入欄

対象教室	第 ○○ 期 △△△ 日本語教室				
判定日	西暦 20×× 年 × 月 ×× 日				
場所	*****				
目的	対象者判定 / 修了判定 / その他()				
受験者	氏名	テラカワアリネ	判定者	氏名	入江友理
	国	ブラジル		レコーダ	
	性別	男 ・ (女)		フォルダ	

※レコーダを使用しない場合、「レコーダ」「フォルダ」は記入しなくてもよい。
※国名はテストでの回答を記入するので、終了後記入。

インタビュータスク

【インタビュータスクの手順】

- ① テスターは上の質問から順に言う。学習者が聞き取れなかったと思われる場合は、同じ問題をもう一度繰り返す（全部で2回言ってもよい）。質問が理解できていないと判断した場合、同じ囲みにある下の質問へ移る。学習者が理解できた質問のレベルの□にチェックを入れる。
- ② 受験者が答えた答えの形式に最も近いものの□にチェックを入れる。
- ③ 質問は1から順に行う。7まで終了した時点で□の0レベルに5つ以上チェックがあれば、ロールプレイタスクへ進む。そうでない場合は、12まで終了したら、ロールプレイへ進む。

1. あいさつ

	テスター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
	✓こんにちは	1	✓適当な答え	こんにちは
		0	□非言語行動での反応	頭を下げる/手をあげる
		0	□あいさつだと理解し、母語や英語で答える	ボンジーア/オイ/ハロー/ニイハオ
		0	□産出できない	

2. 日本語について

	テスター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
	✓日本語がわかりますか。	2	□文で答える	だいたいわかります/まあまあです
		1	✓語で答える	はい/いいえ/少し
		0	□非言語行動での反応	頷く/首を振る/ジェスチャー
		0	□産出できない	

3. 名乗る

聞くレベル	テスター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
2	□私は○○（名前）です。	2	□名乗っていることを理解して自分も名乗る	マウロです/マウロといいます/マウロと申します
2	✓お名前は何かですか。	2	✓文で答える	マウロです/木村太郎です
2	□お名前は？	1	□名前のみ言う	マウロ/木村
1	□名前？	0	□産出できない	反応なし、首をかしげる

名前：テラカワアリネ

4. 出身国

聞くレベル	テスター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
2	<input checked="" type="checkbox"/> お国はどちらですか。	2	<input type="checkbox"/> 文で答える	ブラジルから来ました／ブラジル出身です
2	<input type="checkbox"/> お国は？	2	<input checked="" type="checkbox"/> 「国名+です」で答える	ブラジルです／中国です
2	<input type="checkbox"/> 国は？	1	<input type="checkbox"/> 国名のみ言う	ブラジル／中国
1	<input type="checkbox"/> 国は？ブラジルですか、ペルーですか、中国ですか？【例示】	1	<input type="checkbox"/> テスターが言った選択肢を繰り返す、「はい」と言う	(ブラジル?) 頷く／はい／そう／ブラジル
1	<input type="checkbox"/> ブラジル？ペルー？中国？	0	<input type="checkbox"/> 母語的な発音や英語などで国名を言う、頷く	ブラジル (ポルトガル語で)、中文 (中国語で)
0	<input type="checkbox"/> 理解できない	0	<input type="checkbox"/> 産出できない	

国： ブラジル

5. 数字／時

聞くレベル	テスター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
2	<input checked="" type="checkbox"/> いつ日本へ来ましたか。	2	<input type="checkbox"/> 文で答える	2006 年に来ました／5 年前に来ました
1	<input type="checkbox"/> 日本、来た、いつ？	2	<input type="checkbox"/> 「～です」で答える	2006 年です／5 年前です
1	<input type="checkbox"/> いつ日本？2000 年？2005 年？【例示】	1	<input checked="" type="checkbox"/> 語のみ	2006 年／5 年前
0	<input type="checkbox"/> 理解できない	1	<input type="checkbox"/> 推測すれば意味がわかる	2、0、0、6／5 年
		0	<input type="checkbox"/> 非言語行動で反応する	(手で)5、文字を書く
		0	<input type="checkbox"/> 母語で反応する	Dois anos/two years
		0	<input type="checkbox"/> 産出できない	

来日年：西暦 1998 年

6. 住んでいる所

聞くレベル	テスター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
2	<input checked="" type="checkbox"/> 今はどこに住んでいますか。	2	<input type="checkbox"/> 文で答える	保見に住んでいます
2	<input type="checkbox"/> うち/いえはどこですか。	2	<input type="checkbox"/> 「～です」で答える	保見です/市役所の近くです
1	<input type="checkbox"/> うち、いえ、どこ？	1	<input checked="" type="checkbox"/> 語で答える	保見/寮/アパート、保見
1	<input type="checkbox"/> 保見？みよし？【例示】	0	<input type="checkbox"/> 非言語行動での反応	(文字で)homi、地図をかく
0	<input type="checkbox"/> 理解できない	0	<input type="checkbox"/> 産出できない	

住んでいる所：保見団地

7. 交通手段

聞くレベル	テスター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
2	<input checked="" type="checkbox"/> ここまでどうやって来ていますか。/ここまでどうやって来ましたか。	2	<input type="checkbox"/> 文で答える	車で通っています/バスで行きます/送迎で来ています/歩いてきました。
2	<input type="checkbox"/> ここまでなにで来ますか。/ここまでなにで来ましたか。	2	<input type="checkbox"/> 「～です」で答える	車です/歩きます/送迎です
1	<input type="checkbox"/> ここまで、バスで来ますか、車で来ますか。【例示】	2	<input checked="" type="checkbox"/> 「(手段)で」で答える	自転車で/バスで/歩いて
1	<input type="checkbox"/> ここに来ます。バス？車？電車？歩きます？送迎？【例示】	1	<input type="checkbox"/> 語で答える	自転車/車/バス/送迎
0	<input type="checkbox"/> 理解できない	1	<input type="checkbox"/> テスターの例示を繰り返す	(テスター「車?」)うん、車
		1	<input type="checkbox"/> 「はい、うん/いいえ」で答える	はい/うん/ううん/いいえ
		0	<input type="checkbox"/> 非言語/母語での反応	Outobus/(文字で)車/擬音
		0	<input type="checkbox"/> 産出できない	

「話すレベル(受験者の応答)」の0レベルに5つ以上チェックがあれば、ロールプレイタスクへ

8. 通勤時間

聞くレベル	テスター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
2	<input checked="" type="checkbox"/> 家からここまで、何分くらいかかりますか？	2	<input type="checkbox"/> 文で答える	1時間かかります／1時間もかかる
2	<input type="checkbox"/> 家からここまで何分ですか？	2	<input type="checkbox"/> 「～です」で答える	10分です／10分くらいです
1	<input type="checkbox"/> (地名：6番の回答) からここまで、10分ですか？30分ですか？【例示】	1	<input checked="" type="checkbox"/> 語で答える	10分／1時間／10分くらい
1	<input type="checkbox"/> ここに来ます。時間、10分？20分？30分？(答えるまで例を出す)	1	<input type="checkbox"/> テスターの例示を繰り返す	(テスター「30分?」) 30分
0	<input type="checkbox"/> 理解できない	1	<input type="checkbox"/> 「はい、うん/いいえ」で答える	はい/うん/ううん/いいえ
		0	<input type="checkbox"/> 非言語/母語での反応	数字を書く/頷く/母語
		0	<input type="checkbox"/> 産出できない	



9. 仕事内容

※臨機応変に！

聞くレベル	テスター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
2	<input checked="" type="checkbox"/> どんな仕事をしていますか？(していましたか？)	2	<input checked="" type="checkbox"/> 文で答える	組み立てをしています／トラックで荷物を運んでる
2	<input type="checkbox"/> ●●さんの仕事は何ですか？(何でしたか？)	2	<input type="checkbox"/> 「～です(でした)」で答える	組み立てです／ラインの仕事でした
1	<input type="checkbox"/> 検査の仕事です(でした)か？ 運搬の仕事です(でした)か？ どんな仕事です(でした)か？ 【例示】	1	<input type="checkbox"/> 語で答える	シートベルト／運搬／組み立て／ねじ
1	<input type="checkbox"/> 仕事は、検査？検査？選別？ 【例示】	1	<input type="checkbox"/> テスターの例示を繰り返す	(テスター「検査の仕事ですか?」) はい、検査
0	<input type="checkbox"/> 理解できない	1	<input type="checkbox"/> 「はい/うん/いいえ」で答える	はい/うん/ううん/いいえ
		0	<input type="checkbox"/> 母語での反応	
		0	<input type="checkbox"/> 産出できない	



10. 勤務時間

※臨機応変に！

聞くレベル	テスター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
2	<input checked="" type="checkbox"/> 何時から何時まで働きますか？(働きましたか？)	2	<input type="checkbox"/> 文で答える	8時から4時半まで働きます／夜勤はいつも6時からです
2	<input type="checkbox"/> 仕事は何時から何時までですか？(何時まででしたか？)	2	<input type="checkbox"/> 「～です(でした)」で答える	9時から5時までです
2	<input type="checkbox"/> 仕事は何時からですか(でした)か？【答えがでたら】何時までですか(でした)か？	2	<input checked="" type="checkbox"/> 「～から、～まで」で答える	9時から5時まで
1	<input type="checkbox"/> 仕事は9時からですか(でした)か？7時からですか(でした)か？【例示】	1	<input type="checkbox"/> 時間は言うことができる	8時から4時半ね／9時ね。あと、5時。
0	<input type="checkbox"/> 理解できない	1	<input type="checkbox"/> テスターの例示を繰り返す	(テスター「9時からですか?」) はい、9時
		1	<input type="checkbox"/> 「はい/うん/いいえ」で答える	はい/うん/ううん/いいえ
		0	<input type="checkbox"/> 非言語/母語での反応	
		0	<input type="checkbox"/> 産出できない	



11. 仕事の感想

聞くレベル	テスター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
2	<input checked="" type="checkbox"/> 仕事はどうです(でした)か?	3	<input type="checkbox"/> 例を入れ、文で答える	機械が多くて、大変です/食堂が大きいから、いいね
2	<input type="checkbox"/> 仕事はどうです(でした)か? 大変です(でした)か?【例示】	2	<input type="checkbox"/> 文で答える	毎日忙しいです
1	<input type="checkbox"/> 仕事、忙しい(しかった)? 楽しい(しかった)? 大変?【例示】	2	<input type="checkbox"/> 「～です(でした)」で答える	忙しいです/楽しいです
0	<input type="checkbox"/> 理解できない	1	<input checked="" type="checkbox"/> 語で答える	忙しい/楽しい/大丈夫
		1	<input type="checkbox"/> テスターの例示を繰り返す	(テスター「忙しい?」) 忙しいです。
		1	<input type="checkbox"/> 「はい/うん/いいえ」で答える	はい/うん/ううん/いいえ
		0	<input type="checkbox"/> 非言語/母語での反応	
		0	<input type="checkbox"/> 産出できない	



12. 休みの日

聞くレベル	テスター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
2	<input checked="" type="checkbox"/> 休みはいつも何をしますか?	3	<input type="checkbox"/> 接続表現を使って、複文や複数の文で答える。	よく家族と教会にいきますけど、ときどきパーティや買い物に行きます。
2	<input type="checkbox"/> 休みの日に何をしますか?	2	<input checked="" type="checkbox"/> 文で答える	買い物に行きます
1	<input type="checkbox"/> 休みの日何する?	2	<input type="checkbox"/> 「～です(でした)」で答える	買い物です/バーベキューです
0	<input type="checkbox"/> 理解できない	1	<input type="checkbox"/> 語で答える	買い物/バーベキュー/寝る
		0	<input type="checkbox"/> 非言語/母語での反応	
		0	<input type="checkbox"/> 産出できない	



ロールプレイタスクへ

ロールプレイタスク

ロールカードの指示文（母語で記述されている）

私たちは今日初めて会いました。仲良くなるために、次のことを質問しながら、自然な会話をしてください。

①名前 ②住んでいるところ（どこに住んでいるか） ③家族構成（家族に誰がいるか）④趣味
では、始めましょう。

手順① 【質問のタイプ】【質問の適切さ】について、質問のレベルをひとつずつチェックする

トピック	ポイント	レベル	例	
名前	質問のタイプ	3	<input type="checkbox"/> 初対面にふさわしい丁寧な質問ができる。	・名前は何かとおっしゃいますか。 ・お名前をお聞きしてもいいですか。
		2	<input checked="" type="checkbox"/> 文を使って質問ができる。	・(お) 名前は何かですか。 ・お名前は？
		1	<input type="checkbox"/> ごく単純な文、または単語の羅列による質問ができる。	・名前、なに？ ・私、〇〇。あなたは？
		0	<input type="checkbox"/> 質問ができない。	
	質問内容の適切さ	2	<input checked="" type="checkbox"/> (質問全体として) 欲しい情報を得られる質問ができる。	・(お) 名前は何かですか。 ・(お) 名前は？
		1	<input type="checkbox"/> (質問全体を見ても) 十分に情報を集められる質問ができない。	・あなたはお名前ですか？ →名前を聞いているとわからない
0		<input type="checkbox"/> 質問の意図がわからない。質問ができない。		
住んでいるところ	質問のタイプ	3	<input type="checkbox"/> 初対面にふさわしい丁寧な質問ができる。	・お住まいはどちらですか。 ・どちらにお住まいですか。
		2	<input checked="" type="checkbox"/> 文を使って質問ができる。	・どこに住んでいますか。 ・お住まいは？ ・私の家は〇〇ですけど、あなたの家は？
		1	<input type="checkbox"/> ごく単純な文、または単語の羅列による質問ができる。	・家は？ ・うち、どこ？ ・住所、何？ ・私、〇〇住んでる。あなたは？
		0	<input type="checkbox"/> 質問ができない。	
	質問内容の適切さ	2	<input checked="" type="checkbox"/> (質問全体として) 欲しい情報を得られる質問ができる。	・どこに住んでいますか。 ・うち、どこ？
		1	<input type="checkbox"/> (質問全体を見ても) 十分に情報を集められる質問ができない。	・家は？ ・アパート(寮)は？ →場所について聞いているとわからない
0		<input type="checkbox"/> 質問の意図がわからない。質問ができない。		
家族構成	質問のタイプ	3	<input type="checkbox"/> 初対面にふさわしい丁寧な質問ができる。	・ご家族についてお聞きしてもいいですか。 ・ご結婚していらっしゃるんですか。
		2	<input checked="" type="checkbox"/> 文を使って質問ができる。	・家族は何人ですか。 ・結婚していますか。 ・お父さん、お母さんと一緒に住んでいますか。
		1	<input type="checkbox"/> ごく単純な文、または単語の羅列による質問ができる。	・家族、何人？ ・お父さん、お母さん、一緒？ ・子供いる？ ・結婚してる？
		0	<input type="checkbox"/> 質問ができない。	
	質問内容の適切さ	2	<input checked="" type="checkbox"/> (質問全体として) 欲しい情報を得られる質問ができる。	・家族は何人ですか。 ・家族は誰がいる？
		1	<input type="checkbox"/> (質問全体を見ても) 十分に情報を集められる質問ができない。	・結婚してる？ ・子供いますか。 →家族構成について聞いていない
0		<input type="checkbox"/> 質問の意図がわからない。質問ができない。		
趣味	質問のタイプ	3	<input type="checkbox"/> 初対面にふさわしい丁寧な質問ができる。	・何かご趣味をお持ちですか。 ・お休みの日は何をされることが多いですか。
		2	<input checked="" type="checkbox"/> 文を使って質問ができる。	・好きなことは何ですか。 ・趣味は何ですか。 ・好きなスポーツは何ですか。 ・何が好きですか。
		1	<input type="checkbox"/> ごく単純な文、または単語の羅列による質問ができる。	・趣味、何？ ・休みの日、何する？ ・何、好き？ ・私、〇〇好き。あなたは？
		0	<input type="checkbox"/> 質問ができない。	
	質問内容の適切さ	2	<input type="checkbox"/> (質問全体として) 欲しい情報を得られる質問ができる。	・趣味は何？ ・好きなことは何ですか。
		1	<input checked="" type="checkbox"/> (質問全体を見ても) 十分に情報を集められる質問ができない。	・何が好きですか？→好きなものを聞く質問であり、 趣味について聞いていない ・休みの日、何する？ →休みの日にすることが趣味とは限らない
0		<input type="checkbox"/> 質問の意図がわからない。質問ができない。		

手順② ロールプレイ全体に関して、以下の2点をそれぞれチェックする

歩み寄りの必要度			
3	<p><input type="checkbox"/> よどみなく質問ができ、しかも、求める答えを適切に引き出せる質問ができる。</p> <table border="0"> <tr> <td style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 受験者：お名前は何ですか？ テスター：私の名前は佐藤です。 </td> <td style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 受験者：何人家族ですか。 テスター：3人家族です。 </td> </tr> </table>	受験者：お名前は何ですか？ テスター：私の名前は佐藤です。	受験者：何人家族ですか。 テスター：3人家族です。
受験者：お名前は何ですか？ テスター：私の名前は佐藤です。	受験者：何人家族ですか。 テスター：3人家族です。		
2	<p><input checked="" type="checkbox"/> 少し考える時間があれば、求める答えを適切に引き出せる質問ができる。</p> <table border="0"> <tr> <td style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 受験者：あー…名前…えーと…名前は、何ですか？ テスター：私の名前は佐藤です。 </td> <td style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 受験者：あー…家族は…えーと…なに…何人ですか？ テスター：3人家族です。 </td> </tr> </table>	受験者：あー…名前…えーと…名前は、何ですか？ テスター：私の名前は佐藤です。	受験者：あー…家族は…えーと…なに…何人ですか？ テスター：3人家族です。
受験者：あー…名前…えーと…名前は、何ですか？ テスター：私の名前は佐藤です。	受験者：あー…家族は…えーと…なに…何人ですか？ テスター：3人家族です。		
1	<p><input type="checkbox"/> 求める答えを適切に引き出せる質問ができないが、テスターが推測したり聞き返したりすれば、求める答を得ることができる。</p> <table border="0"> <tr> <td style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 受験者：んー、あなたはお名前ですか？ テスター：えっ？ 受験者：あなたはお名前ですか？ テスター：あ、私の名前？ 受験者：はい。名前。 テスター：私の名前は佐藤です。 </td> <td style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 受験者：あなた、結婚してる？ テスター：はい。しています。 受験者：子供はいる？ テスター：いますよ。 受験者：娘、何人？ テスター：娘はいません。 受験者：…あー、息子は？ テスター：息子は1人います。 </td> </tr> </table>	受験者：んー、あなたはお名前ですか？ テスター：えっ？ 受験者：あなたはお名前ですか？ テスター：あ、私の名前？ 受験者：はい。名前。 テスター：私の名前は佐藤です。	受験者：あなた、結婚してる？ テスター：はい。しています。 受験者：子供はいる？ テスター：いますよ。 受験者：娘、何人？ テスター：娘はいません。 受験者：…あー、息子は？ テスター：息子は1人います。
受験者：んー、あなたはお名前ですか？ テスター：えっ？ 受験者：あなたはお名前ですか？ テスター：あ、私の名前？ 受験者：はい。名前。 テスター：私の名前は佐藤です。	受験者：あなた、結婚してる？ テスター：はい。しています。 受験者：子供はいる？ テスター：いますよ。 受験者：娘、何人？ テスター：娘はいません。 受験者：…あー、息子は？ テスター：息子は1人います。		
0	<p><input type="checkbox"/> 質問の生成に時間がかかり、質問できたとしても、求める答えを適切に引き出せる質問ができない。または質問を回避する。</p> <table border="0"> <tr> <td style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 受験者：あー…名前…あー…あなた、名前…ですか？ テスター：えっ？ 受験者：……。 (黙ってしまう) テスター：あ、私の名前？ 受験者：……。?? (首をかしげる) </td> <td style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 受験者：あー…こども、いる？ テスター：いいえ。いません。私、結婚してないんです。 受験者：あー…結婚…ない？ テスター：はい。してないです。 受験者：……。 (黙ってしまう)。 </td> </tr> </table>	受験者：あー…名前…あー…あなた、名前…ですか？ テスター：えっ？ 受験者：……。 (黙ってしまう) テスター：あ、私の名前？ 受験者：……。?? (首をかしげる)	受験者：あー…こども、いる？ テスター：いいえ。いません。私、結婚してないんです。 受験者：あー…結婚…ない？ テスター：はい。してないです。 受験者：……。 (黙ってしまう)。
受験者：あー…名前…あー…あなた、名前…ですか？ テスター：えっ？ 受験者：……。 (黙ってしまう) テスター：あ、私の名前？ 受験者：……。?? (首をかしげる)	受験者：あー…こども、いる？ テスター：いいえ。いません。私、結婚してないんです。 受験者：あー…結婚…ない？ テスター：はい。してないです。 受験者：……。 (黙ってしまう)。		
テスター応答後の受験者の反応			
2	<input type="checkbox"/> 「いいですね。」など、テスターの応答に対して何か一言以上が返ってくる。		
1	<input type="checkbox"/> 「うん。」などのわずかな反応、または、テスターの応答のくり返し。		
0	<input checked="" type="checkbox"/> 頷くだけなど、非言語のみの反応。または、全く反応がない。		



絵を見て話すタスクへ

「絵を見て話す」タスク

【「絵を見て話す」タスクの手順】

- ① 「絵カード1」か「絵カード2」を選ぶ（指定がある場合はその指定の絵カードを使用する）
- ② 「絵カード1」→「絵を見て話す1」タスクへ
「絵カード2」→「絵を見て話す2」タスクへ

「絵を見て話す1」タスク

【「絵を見て話す1」タスクの手順】

- ① 「絵カード1」を見せる。
- ② テスターが「この人は山田さんです。昨日、山田さんは何をしましたか？説明して下さい」と言う。

1. 行動の説明

テスター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
（最初の指示で受験者が発話しない場合）絵を指で指しながら、「山田さんは何をしましたか？」とひとつずつ聞く	3	<input type="checkbox"/> 接続表現を使い、順を追って説明できる	5時に仕事が終わってから買い物をして帰りました／奥さんと夕食を食べましたそれから電話をかけました
	2	<input checked="" type="checkbox"/> 1つずつの絵を文で説明できる	スーパーで買い物をしました。6時に家へ帰りました。テレビを見ました。電話をかけました。
	2	<input type="checkbox"/> 1つずつの絵をやや不自然であるが文で説明できる	スーパーで買い物する。6時にアパートに帰る。テレビを見る。友達に電話する。
	1	<input type="checkbox"/> 1つずつの絵を不完全だが説明できる	買い物する。アパート帰る。テレビ見る。電話する。
	1	<input type="checkbox"/> 絵の情報の一部を単語で言える	買い物、帰った、テレビ、電話
	0	<input type="checkbox"/> 説明できない	

2. 時間の説明

テスター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
（「1. 行動の説明」で時刻を説明しなかった場合）以下の問いかけを行う <input type="checkbox"/> 山田さんは何時に仕事を終わりましたか？ <input type="checkbox"/> 山田さんは何時に買い物をしましたか？ <input type="checkbox"/> 山田さんは何時に電話をしましたか？ <input type="checkbox"/> 山田さんは何時から何時までテレビを見ましたか？ <input type="checkbox"/> 山田さんは何時に寝ましたか？	2	<input checked="" type="checkbox"/> 「●時に～しました」「■時から▲時まで～しました」と正確に説明できる	8時半に友達に電話をしました。9時から10時45分までテレビを見ました ※（個別に質問した後では）9時から10時45分まで。
	1	<input type="checkbox"/> 時間は言うことができる	8時半 電話しました。9時と10時45分、テレビ見た。 ※（個別に質問した後では）9時と、10時45分。
	0	<input type="checkbox"/> 説明できない	

3. 品物と値段の説明

テスター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
（「1. 行動の説明」で値段を説明しなかった場合）以下の問いかけを行う <input type="checkbox"/> 何をいくらで買いましたか？ <input type="checkbox"/> これは何ですか？いくらでしたか？ <input type="checkbox"/> これ何？いくら？何円？	2	<input checked="" type="checkbox"/> 品物と値段を正しく説明できる（4ペア中3ペア以上）	バナナがひゃくきゅうじゅうはちえん
	1	<input type="checkbox"/> 品物と値段を部分的に正しく説明できる（4ペア中2or1ペア）	バナナ、いちきゅうはちえん
	0	<input type="checkbox"/> 1ペアも品物と値段を正しく説明できない	
	※品物の名前		

4. 電話番号の説明

テスター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
（「1. 行動の説明」で電話番号を説明しなかった場合）以下の問いかけを行う <input type="checkbox"/> 何番に電話をかけましたか？ <input type="checkbox"/> 電話番号は何番ですか？ <input type="checkbox"/> 電話番号は？	2	<input checked="" type="checkbox"/> 正しく説明できる	「090-7890-1356」を全て言える
	1	<input type="checkbox"/> 部分的に言える	0,3,1など簡単なものは言える
	0	<input type="checkbox"/> 説明できない	

● Chapter 5

資料

- 【1】 「聞く・話す」 判定シート (A版・B版)
- 【2】 ロールカード (多言語)
- 【3】 絵カード (2種)
- 【4】 Can-do statements (日本語版)
- 【5】 「読む・書く」 判定シート (A版・B版：英語)
- 【6】 判定結果入力シート

NO.	
-----	--

A 版

聞く	
----	--

話す	
----	--

とよた日本語能力判定 対象者判定「聞く・話す」判定シート

情報記入欄

対象教室	第 期			日本語教室	
判定日	西暦 年 月 日				
場所					
目的	対象者判定 / 修了判定 / その他()				
受験者	氏名		判定者	氏名	
	国			レコーダ	
	性別	男・女		フォルダ	

※レコーダを使用しない場合、「レコーダ」「フォルダ」は記入しなくてもよい。
 ※国名はテストでの回答を記入するので、終了後記入。

インタビュータスク

【インタビュータスクの手順】

- ① テスターは上の質問から順に言う。学習者が聞き取れなかったと思われる場合は、同じ問題をもう一度繰り返す（全部で2回言ってもよい）。質問が理解できていないと判断した場合、同じ囲みにある下の質問へ移る。学習者が理解できた質問のレベルの口をチェックを入れる。
- ② 受験者が答えた答えの形式に最も近いものの口をチェックを入れる。
- ③ 質問は1から順に行う。12まで終了したら、ロールプレイへ進む。

1. あいさつ

	テスター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
	口こんにちは	1	口適当な答え	こんにちは
		0	口非言語行動での反応	頭を下げる/手をあげる
		0	口あいさつだと理解し、母語や英語で答える	ボンジーア/オイ/ハロー/ニイハオ
		0	口産出できない	



2. 日本語について

	テスター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
	口日本語がわかりますか。	2	口文で答える	だいたいわかります/まあまあです
		1	口語で答える	はい/いいえ/少し
		0	口非言語行動での反応	頷く/首を振る/ジェスチャー
		0	口産出できない	



3. 名乗る

聞くレベル	テスター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
2	口私は〇〇（名前）です。	2	口名乗っていることを理解して自分も名乗る	マウロです/マウロといいます/マウロと申します
2	口お名前は何か。	2	口文で答える	マウロです/木村太郎です
2	口お名前は？	1	口名前のみ言う	マウロ/木村
1	口名前？	0	口産出できない	反応なし、首をかしげる

名前：

4. 出身国

聞くレベル	テスター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
2	□お国はどちらですか。	2	□文で答える	ブラジルから来ました／ブラジル出身です
2	□お国は？	2	□「国名+です」で答える	ブラジルです／中国です
2	□国は？	1	□国名のみ言う	ブラジル／中国
1	□国は？ブラジルですか、ペルーですか、中国ですか？【例示】	1	□テスターが言った選択肢を繰り返す、「はい」と言う	(ブラジル?) 頷く／はい／そう／ブラジル
1	□ブラジル？ペルー？中国？	0	□母語的な発音や英語などで国名を言う、頷く	ブラジル (ポルトガル語で)、 中文 (中国語で)
0	□理解できない	0	□産出できない	

国：

5. 数字／時

聞くレベル	テスター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
2	□いつ日本へ来ましたか。	2	□文で答える	2006年に来ました／5年前に来ました
1	□日本、来た、いつ？	2	□「～です」で答える	2006年です／5年前です
1	□いつ日本？2000年？2005年？【例示】	1	□語のみ	2006年／5年前
0	□理解できない	1	□推測すれば意味がわかる	2、0、0、6／5年
		0	□非言語行動で反応する	(手で)5、文字を書く
		0	□母語で反応する	Dois anos/two years
		0	□産出できない	

来日年：西暦 年

6. 住んでいる所

聞くレベル	テスター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
2	□今はどこに住んでいますか。	2	□文で答える	保見に住んでいます
2	□うち/いえはどこですか。	2	□「～です」で答える	保見です/市役所の近くです
1	□うち、いえ、どこ？	1	□語で答える	保見/寮/アパート、保見
1	□保見？みよし？【例示】	0	□非言語行動での反応	(文字で)homi、地図をかく
0	□理解できない	0	□産出できない	

住んでいる所：

7. 交通手段

聞くレベル	テスター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
2	□ここまでどうやって来ていますか。／ここまでどうやって来ましたか。	2	□文で答える	車で通っています／バスで行きます／送迎で来ています／歩いてきました。
2	□ここまでなにで来ますか。／ここまでなにで来ましたか。	2	□「～です」で答える	車です／歩きます／送迎です
1	□ここまで、バスで来ますか、車で来ますか。【例示】	2	□「(手段)」で答える	自転車で／バスで／歩いて
1	□ここに来ます。バス？車？電車？歩きます？送迎？【例示】	1	□語で答える	自転車／車／バス／送迎
0	□理解できない	1	□テスターの例示を繰り返す	(テスター「車?」)うん、車
		1	□「はい、うん/いいえ」で答える	はい／うん／ううん／いいえ
		0	□非言語／母語での反応	Outobus／(文字で)車／擬音
		0	□産出できない	

「話すレベル(受験者の応答)」の0レベルに5つ以上チェックがあれば、ロールプレイタスクへ

8. 通勤時間

聞くレベル	テスター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
2	□家からここまで、何分くらいかかりますか？	2	□文で答える	1時間かかります／1時間もかかる
2	□家からここまで何分ですか？	2	□「～です」で答える	10分です／10分くらいです
1	□（地名：6番の回答）からここまで、10分ですか？30分ですか？【例示】	1	□語で答える	10分／1時間／10分くらい
1	□ここにきます。時間、10分？20分？30分？（答えるまで例を出す）	1	□テストの例示を繰り返す	（テスト「30分？」）30分
0	□理解できない	1	□「はい、うん／いいえ」で答える	はい／うん／ううん／いいえ
		0	□非言語／母語での反応	数字を書く／頷く／母語
		0	□産出できない	



9. 仕事内容

※臨機応変に！

聞くレベル	テスター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
2	□どんな仕事をしていますか？（していましたか？）	2	□文で答える	組み立てをしています／トラックで荷物を運んでる
2	□●●さんの仕事は何ですか？（何でしたか？）	2	□「～です（でした）」で答える	組み立てです／ラインの仕事でした
1	□検査の仕事です（でした）か？ 運搬の仕事です（でした）か？ どんな仕事です（でした）か？ 【例示】	1	□語で答える	シートベルト／運搬／組み立て／ねじ
1	□仕事は、検査？検査？選別？ 【例示】	1	□テストの例示を繰り返す	（テスト「検査の仕事ですか？」）はい、検査
0	□理解できない	1	□「はい／うん／いいえ」で答える	はい／うん／ううん／いいえ
		0	□母語での反応	
		0	□産出できない	



10. 勤務時間

※臨機応変に！

聞くレベル	テスター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
2	□何時から何時まで働きますか？（働きましたか？）	2	□文で答える	8時から4時半まで働きます／夜勤はいつも6時からです
2	□仕事は何時から何時までですか？（何時まででしたか？）	2	□「～です（でした）」で答える	9時から5時までです
2	□仕事は何時からですか（でした）か？【答えがでたら】何時までですか（でした）か？	2	□「～から、～まで」で答える	9時から5時まで
1	□仕事は9時からですか（でした）か？7時からですか（でした）か？【例示】	1	□時間は言うことができる	8時から4時半ね／9時ね。あと、5時。
0	□理解できない	1	□テストの例示を繰り返す	（テスト「9時からですか？」）はい、9時
		1	□「はい／うん／いいえ」で答える	はい／うん／ううん／いいえ
		0	□非言語／母語での反応	
		0	□産出できない	



1 1. 仕事の感想

聞くレベル	テスター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
2	□仕事はどうです（でした）か？	3	□例を入れ、文で答える	機械が多くて、大変です／食堂が大きいから、いいね
2	□仕事はどうです（でした）か？ 大変です（でした）か？ 【例示】	2	□文で答える	毎日忙しいです
1	□仕事、忙しい（しかった）？ 楽しい（しかった）？大変？ 【例示】	2	□「～です（でした）」 で答える	忙しいです／楽しいです
0	□理解できない	1	□語で答える	忙しい／楽しい／大丈夫
		1	□テスターの例示を繰り返す	（テスター「忙しい？」） 忙しいです。
		1	□「はい／うん／いいえ」で答える	はい／うん／ううん／いいえ
		0	□非言語／母語での反応	
		0	□産出できない	



1 2. 休みの日

聞くレベル	テスター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
2	□休みはいつも何をしますか？	3	□接続表現を使って、複数文や複数の文で答える。	よく家族と教会に行きますけど、ときどきパーティや買い物に行きます。
2	□休みの日に何をしますか？	2	□文で答える	買い物に行きます
1	□休みの日何する？	2	□「～です（でした）」 で答える	買い物です／バーベキューです
0	□理解できない	1	□語で答える	買い物／バーベキュー／寝る
		0	□非言語／母語での反応	
		0	□産出できない	



ロールプレイタスクへ

ロールプレイタスク

ロールカードの指示文（母語で記述されている）

私たちは今日初めて会いました。仲良くなるために、次のことを質問しながら、自然な会話をしてください。

①名前 ②住んでいるところ（どこに住んでいるか） ③家族構成（家族に誰がいるか）④趣味
では、始めましょう。

手順① 【質問のタイプ】 【質問の適切さ】 について、質問のレベルをひとつずつチェックする

トピック	ポイント	レベル	例	
名前	質問のタイプ	3	<input type="checkbox"/> 初対面にふさわしい丁寧な質問ができる。	・名前は何かとおっしゃいますか。 ・お名前をお聞きしてもいいですか。
		2	<input type="checkbox"/> 文を使って質問ができる。	・（お）名前は何かですか。 ・お名前は？
		1	<input type="checkbox"/> ごく単純な文、または単語の羅列による質問ができる。	・名前、なに？ ・私、〇〇。あなたは？
		0	<input type="checkbox"/> 質問ができない。	
	質問内容の適切さ	2	<input type="checkbox"/> （質問全体として）欲しい情報を得られる質問ができる。	・（お）名前は何かですか。 ・（お）名前は？
		1	<input type="checkbox"/> （質問全体を見ても）十分に情報を集められる質問ができない。	・あなたはお名前ですか？ →名前を聞いているとわからない
0		<input type="checkbox"/> 質問の意図がわからない。質問ができない。		
住んでいるところ	質問のタイプ	3	<input type="checkbox"/> 初対面にふさわしい丁寧な質問ができる。	・お住まいはどちらですか。 ・どちらにお住まいですか。
		2	<input type="checkbox"/> 文を使って質問ができる。	・どこに住んでいますか。 ・お住まいは？ ・私の家は〇〇ですけど、あなたの家は？
		1	<input type="checkbox"/> ごく単純な文、または単語の羅列による質問ができる。	・家は？ ・うち、どこ？ ・住所、何？ ・私、〇〇住んでる。あなたは？
		0	<input type="checkbox"/> 質問ができない。	
	質問内容の適切さ	2	<input type="checkbox"/> （質問全体として）欲しい情報を得られる質問ができる。	・どこに住んでいますか。 ・うち、どこ？
		1	<input type="checkbox"/> （質問全体を見ても）十分に情報を集められる質問ができない。	・家は？ ・アパート（寮）は？ →場所について聞いているとわからない
0		<input type="checkbox"/> 質問の意図がわからない。質問ができない。		
家族構成	質問のタイプ	3	<input type="checkbox"/> 初対面にふさわしい丁寧な質問ができる。	・ご家族についてお聞きしてもいいですか。 ・ご結婚していらっしゃるんですか。
		2	<input type="checkbox"/> 文を使って質問ができる。	・家族は何人ですか。 ・結婚していますか。 ・お父さん、お母さんと一緒に住んでいますか。
		1	<input type="checkbox"/> ごく単純な文、または単語の羅列による質問ができる。	・家族、何人？ ・お父さん、お母さん、一緒？ ・子供いる？ ・結婚してる？
		0	<input type="checkbox"/> 質問ができない。	
	質問内容の適切さ	2	<input type="checkbox"/> （質問全体として）欲しい情報を得られる質問ができる。	・家族は何人ですか。 ・家族は誰がいる？
		1	<input type="checkbox"/> （質問全体を見ても）十分に情報を集められる質問ができない。	・結婚してる？ ・子供いますか。 →家族構成について聞いていない
0		<input type="checkbox"/> 質問の意図がわからない。質問ができない。		
趣味	質問のタイプ	3	<input type="checkbox"/> 初対面にふさわしい丁寧な質問ができる。	・何かご趣味をお持ちですか。 ・お休みの日は何をされることが多いですか。
		2	<input type="checkbox"/> 文を使って質問ができる。	・好きなことは何かですか。 ・趣味は何かですか。 ・好きなスポーツは何ですか。 ・何が好きですか。
		1	<input type="checkbox"/> ごく単純な文、または単語の羅列による質問ができる。	・趣味、何？ ・休みの日、何する？ ・何、好き？ ・私、〇〇好き。あなたは？
		0	<input type="checkbox"/> 質問ができない。	
	質問内容の適切さ	2	<input type="checkbox"/> （質問全体として）欲しい情報を得られる質問ができる。	・趣味は何？ ・好きなことは何かですか。
		1	<input type="checkbox"/> （質問全体を見ても）十分に情報を集められる質問ができない。	・何が好きですか？→好きなものを聞く質問であり、趣味について聞いていない ・休みの日、何する？ →休みの日にすることが趣味とは限らない
0		<input type="checkbox"/> 質問の意図がわからない。質問ができない。		

手順② ロールプレイ全体に関して、以下の2点をそれぞれチェックする

歩み寄りの必要度	
3	<p>□よどみなく質問ができ、しかも、求める答えを適切に引き出せる質問ができる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>受験者：お名前は何ですか？ テスター：私の名前は佐藤です。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>受験者：何人家族ですか。 テスター：3人家族です。</p> </div> </div>
2	<p>□少し考える時間があれば、求める答えを適切に引き出せる質問ができる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>受験者：あー…名前…えーと…名前は、何ですか？ テスター：私の名前は佐藤です。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>受験者：あー…家族は…えーと…なに…何人ですか？ テスター：3人家族です。</p> </div> </div>
1	<p>□求める答えを適切に引き出せる質問ができないが、テスターが推測したり聞き返したりすれば、求める答えを得ることができる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>受験者：んー、あなたはお名前ですか？ テスター：えっ？ 受験者：あなたはお名前ですか？ テスター：あ、私の名前？ 受験者：はい。名前。 テスター：私の名前は佐藤です。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>受験者：あなた、結婚してる？ テスター：はい。しています。 受験者：子供はいる？ テスター：いますよ。 受験者：娘、何人？ テスター：娘はいません。 受験者：…あー、息子は？ テスター：息子は1人います。</p> </div> </div>
0	<p>□質問の生成に時間がかかり、質問できたとしても、求める答えを適切に引き出せる質問ができない。または質問を回避する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>受験者：あー…名前…あー…あなた、名前…ですか？ テスター：えっ？ 受験者：……。 (黙ってしまう) テスター：あ、私の名前？ 受験者：……？ (首をかしげる)</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>受験者：あー…こども、いる？ テスター：いいえ。いません。 私、結婚してないんです。 受験者：あー…結婚…ない？ テスター：はい。してないです。 受験者：……。 (黙ってしまう)。</p> </div> </div>
テスター応答後の受験者の反応	
2	□「いいですね。」など、テスターの応答に対して何か一言以上が返ってくる。
1	□「うん。」など、のわずかな反応、または、テスターの応答のくり返し。
0	□頷くだけなど、非言語のみの反応。または、全く反応がない。



絵を見て話すタスクへ

「絵を見て話す」タスク

- 【「絵を見て話す」タスクの手順】
- ①「絵カード1」か「絵カード2」を選ぶ（指定がある場合はその指定の絵カードを使用する）
 - ②「絵カード1」→「絵を見て話す1」タスクへ
「絵カード2」→「絵を見て話す2」タスクへ

「絵を見て話す1」タスク

- 【「絵を見て話す1」タスクの手順】
- ①「絵カード1」を見せる。
 - ②テストターが「この人は山田さんです。昨日、山田さんは何をしましたか？説明して下さい」と言う。

1. 行動の説明

テストター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
（最初の指示で受験者が発話しない場合）絵を指で指しながら、「山田さんは何をしましたか？」とひとつずつ聞く	3	<input type="checkbox"/> 接続表現を使い、順を追って説明できる	5時に仕事が終わってから買い物をして帰りました。／奥さんと夕食を食べました。それから電話をかけました。
	2	<input type="checkbox"/> 1つずつの絵を文で説明できる	スーパーで買い物をしました。6時に家へ帰りました。テレビを見ました。電話をかけました。
	2	<input type="checkbox"/> 1つずつの絵をやや不自然であるが文で説明できる	スーパーで買い物する。6時にアパートに帰る。テレビを見る。友達に電話する。
	1	<input type="checkbox"/> 1つずつの絵を不完全だが説明できる	買い物する。アパート帰る。テレビ見る。電話する。
	1	<input type="checkbox"/> 絵の情報の一部を単語で言える	買い物、帰った、テレビ、電話
	0	<input type="checkbox"/> 説明できない	

2. 時間の説明

テストター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
（「1. 行動の説明」で時刻を説明しなかった場合）以下の問いかけを行う □山田さんは何時に仕事を終わりましたか？ □山田さんは何時に買い物をしましたか？ □山田さんは何時に電話をしましたか？ □山田さんは何時から何時までテレビを見ましたか？ □山田さんは何時に寝ましたか？	2	<input type="checkbox"/> 「●時に～しました」「■時から▲時まで～しました」と正確に説明できる	8時半に友達に電話をしました。9時から10時45分までテレビを見ました。 ※（個別に質問した後では）9時から10時45分まで。
	1	<input type="checkbox"/> 時間は言うことができる	8時半電話しました。9時と10時45分、テレビ見た。 ※（個別に質問した後では）9時と、10時45分。
	0	<input type="checkbox"/> 説明できない	

3. 品物と値段の説明

テストター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
（「1. 行動の説明」で値段を説明しなかった場合）以下の問いかけを行う □何をいくらで買いましたか？ □これは何ですか？いくらでしたか？ □これ何？いくら？何円？	2	<input type="checkbox"/> 品物と値段を正しく説明できる（4ペア中3ペア以上）	バナナがひゃくきゅうじゅうはちえん
	1	<input type="checkbox"/> 品物と値段を部分的に正しく説明できる（4ペア中2or1ペア）	バナナ、いちきゅうはちえん
	0	<input type="checkbox"/> 1ペアも品物と値段を正しく説明できない	
		※品物の名前	バナナ○、牛乳○、ミルク○、パン○ とりにく○、チキン○、とり○、肉○、にわとり○

4. 電話番号の説明

テストター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
（「1. 行動の説明」で電話番号を説明しなかった場合）以下の問いかけを行う □何番に電話をかけましたか？ □電話番号は何番ですか？ □電話番号は？	2	<input type="checkbox"/> 正しく説明できる	「090-7890-1356」を全て言える
	1	<input type="checkbox"/> 部分的に言える	0,3,1 など簡単なものは言える
	0	<input type="checkbox"/> 説明できない	

「絵を見て話す2」タスク

【「絵を見て話す2」タスクの手順】

- ①「絵カード2」を見せる。
- ②テスターが「この人は田中さんです。今日の朝、田中さんは何をしましたか？説明して下さい」と言う。

1. 行動の説明

テスター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
(最初の指示で受験者が発話しない場合) 絵を指で指しながら、「田中さんは何をしましたか？」とひとつずつ聞く	3	<input type="checkbox"/> 接続表現を使い、順を追って説明できる	起きて、それから顔を洗いました。ご飯を食べてからテレビで天気予報を見ました。
	2	<input type="checkbox"/> 1つずつの絵を文で説明できる	起きました。顔を洗いました。ご飯を食べました。テレビを見ました。
	2	<input type="checkbox"/> 1つずつの絵をやや不自然であるが文で説明できる	起きる。顔を洗う。ご飯を食べる。テレビを見る。
	1	<input type="checkbox"/> 1つずつの絵を不完全だが説明できる	起きる。顔洗う。ご飯食べる。テレビ見る。電話する。買い物する。仕事。
	1	<input type="checkbox"/> 絵の情報の一部を単語で言える	ご飯。テレビ。電話。買い物。仕事。
	0	<input type="checkbox"/> 説明できない	

2. 時間の説明

テスター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
(「1. 行動の説明」で時刻を説明しなかった場合) 以下の問いかけを行う <input type="checkbox"/> 田中さんは何時に起きましたか？ <input type="checkbox"/> 田中さんは何時にテレビを見ましたか？ <input type="checkbox"/> 田中さんは何時から何時まで電話をしましたか？ <input type="checkbox"/> 田中さんは何時に買い物をしましたか？ <input type="checkbox"/> 田中さんは何時に会社につきましたか？	2	<input type="checkbox"/> 「●時に～しました」「■時から▲時まで～しました」と正確に説明できる	6時に起きました。6時半から7時までご飯を食べました。 ※(個別に質問した後では)6時半から7時まで。
	1	<input type="checkbox"/> 時間は言うことができる	6時 起きました。6時30と7時、ご飯食べた。 ※(個別に質問した後では)6時半と7時。
	0	<input type="checkbox"/> 説明できない	

3. 品物と値段の説明

テスター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
(「1. 行動の説明」で値段を説明しなかった場合) 以下の問いかけを行う <input type="checkbox"/> 何をいくらで買いましたか？ <input type="checkbox"/> これは何ですか？いくらでしたか？ <input type="checkbox"/> これ何？いくら？何円？	2	<input type="checkbox"/> 品物と値段を正しく説明できる(4ペア中3ペア以上)	サンドがにひやくきゅうじゅうはちえん
	1	<input type="checkbox"/> 品物と値段を部分的に正しく説明できる(4ペア中2or1ペア)	サンド、にいきゅうはちえん
	0	<input type="checkbox"/> 1ペアも品物と値段を正しく説明できない	
(値段の合計を説明しなかった場合) 以下の問いかけを行う <input type="checkbox"/> 合計はいくらでしたか？ <input type="checkbox"/> 全部でいくらでしたか？ <input type="checkbox"/> 全部、いくら？何円？		※品物の名前 雑誌○、本○、新聞× サンドイッチ○、サンド○、パン○、野菜× ペットボトル○、お茶○、ジュース○、その他ペットボトル飲料なら○	

4. 電話番号の説明

テスター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
(「1. 行動の説明」で電話番号を説明しなかった場合) 以下の問いかけを行う <input type="checkbox"/> 何番に電話をかけましたか？ <input type="checkbox"/> 電話番号は何番ですか？ <input type="checkbox"/> 電話番号は？	2	<input type="checkbox"/> 正しく説明できる	「080-3156-4729」を全て言える
	1	<input type="checkbox"/> 部分的に言える	0,3,1 など簡単なものは言える
	0	<input type="checkbox"/> 説明できない	

NO.	
-----	--

B版

聞く	
----	--

話す	
----	--

とよた日本語能力判定 対象者判定「聞く・話す」判定シート

情報記入欄

対象教室	第 期			日本語教室	
判定日	西暦 年 月 日				
場所					
目的	対象者判定 / 修了判定 / その他()				
受験者	氏名		判定者	氏名	
	国			レコーダ	
	性別	男 ・ 女		フォルダ	

※レコーダを使用しない場合、「レコーダ」「フォルダ」は記入しなくてもよい。
 ※国名はテストでの回答を記入するので、終了後記入。

インタビュータスク

【インタビュータスクの手順】

- ① テスターは上の質問から順に言う。学習者が聞き取れなかったと思われる場合は、同じ問題をもう一度繰り返す（全部で2回言ってもよい）。質問が理解できていないと判断した場合、同じ囲みにある下の質問へ移る。学習者が理解できた質問のレベルの口にチェックを入れる。
- ② 受験者が答えた答えの形式に最も近いものの口にチェックを入れる。
- ③ 質問は1から順に行う。12まで終了したら、ロールプレイへ進む。

1. あいさつ

	テスター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
	□こんにちは	1	□適当な答え	こんにちは
		0	□非言語行動での反応	頭を下げる/手をあげる
		0	□あいさつだと理解し、母語や英語で答える	ボンジーア/オイ/ハロー/ニイハオ
		0	□産出できない	



2. 日本語について

	テスター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
	□日本語がわかりますか。	2	□文で答える	だいたいわかります/まあまあです
		1	□語で答える	はい/いいえ/少し
		0	□非言語行動での反応	頷く/首を振る/ジェスチャー
		0	□産出できない	



3. 名乗る

聞くレベル	テスター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
2	□私は〇〇（名前）です。	2	□名乗っていることを理解して自分も名乗る	マウロです/マウロといいます/マウロと申します
2	□お名前は何か。	2	□文で答える	マウロです/木村太郎です
2	□お名前は？	1	□名前のみ言う	マウロ/木村
1	□名前？	0	□産出できない	反応なし、首をかしげる

名前：

4. 出身国

聞くレベル	テスター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
2	□お国はどちらですか。	2	□文で答える	ブラジルから来ました／ブラジル出身です
2	□お国は？	2	□「国名+です」で答える	ブラジルです／中国です
2	□国は？	1	□国名のみ言う	ブラジル／中国
1	□国は？ブラジルですか、ペルーですか、中国ですか？【例示】	1	□テストが言った選択肢を繰り返す、「はい」と言う	(ブラジル?) 頷く／はい／そう／ブラジル
1	□ブラジル?ペルー?中国?	0	□母語的な発音や英語などで国名を言う、頷く	ブラジル (ポルトガル語で)、 中文 (中国語で)
0	□理解できない	0	□産出できない	



国：

5. 数字／時

聞くレベル	テスター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
2	□いつ日本へ来ましたか。	2	□文で答える	2006年に来ました／5年前に来ました
1	□日本、来た、いつ?	2	□「～です」で答える	2006年です／5年前です
1	□いつ日本?2000年?2005年?【例示】	1	□語のみ	2006年／5年前
0	□理解できない	1	□推測すれば意味がわかる	2、0、0、6／5年
		0	□非言語行動で反応する	(手で)5、文字を書く
		0	□母語で反応する	Dois anos/two years
		0	□産出できない	



来日年：西暦 年

6. 仕事内容

※臨機応変に！

聞くレベル	テスター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
2	□どんな仕事をしていますか？(していましたか?)	2	□文で答える	組み立てをしています／トラックで荷物を運んでる
2	□●●さんの仕事は何ですか？(何でしたか?)	2	□「～です(でした)」で答える	組み立てです／ラインの仕事でした
1	□検査の仕事です(でした)か？ 運搬の仕事です(でした)か？ どんな仕事です(でした)か？ 【例示】	1	□語で答える	シートベルト／運搬／組み立て／ねじ
1	□仕事は、検査?検査?選別? 【例示】	1	□テストの例示を繰り返す	(テスト「検査の仕事ですか?」) はい、検査
0	□理解できない	1	□「はい／うん／いいえ」で答える	はい／うん／ううん／いいえ
		0	□母語での反応	
		0	□産出できない	



7. 勤務時間

※臨機応変に！

聞くレベル	テスター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
2	□何時から何時まで働きますか？ (働きましたか？)	2	□文で答える	8時から4時半まで働きます ／夜勤はいつも6時からです
2	□仕事は何時から何時までです か？(何時まででしたか？)	2	□「～です(でした)」 で答える	9時から5時までです
2	□仕事は何時からです(でした) か？【答えがでたら】何時まで です(でした)か？	2	□「～から、～まで」で 答える	9時から5時まで
1	□仕事は9時からです(でした) か？7時からです(でした) か？【例示】	1	□時間は言うことができ る	8時から4時半ね／9時ね。 あと、5時。
0	□理解できない	1	□テスターの例示を繰り返 す	(テスター「9時からです か?」) はい、9時
		1	□「はい／うん／いい え」で答える	はい／うん／ううん／いいえ
		0	□非言語/母語での反応	
		0	□産出できない	



話すレベル(受験者の応答)の0レベルに
5つ以上チェックがあれば、ロールプレイタスクへ

8. 仕事の感想

聞くレベル	テスター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
2	□仕事はどうです(でした)か？	3	□例を入れ、文で答える	機械が多くて、大変です／食 堂が大きいから、いいね
2	□仕事はどうです(でした)か？ 大変です(でした)か？ 【例示】	2	□文で答える	毎日忙しいです
1	□仕事、忙しい(しかった)？ 楽しい(しかった)？大変？ 【例示】	2	□「～です(でした)」 で答える	忙しいです／楽しいです
0	□理解できない	1	□語で答える	忙しい／楽しい／大丈夫
		1	□テスターの例示を繰り返 す	(テスター「忙しい?」) 忙しいです。
		1	□「はい／うん／いい え」で答える	はい／うん／ううん／いいえ
		0	□非言語/母語での反応	
		0	□産出できない	



9. 住んでいる所

聞くレベル	テスター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
2	□今はどこに住んでいますか。	2	□文で答える	保見に住んでいます
2	□うち/いえはどこですか。	2	□「～です」で答える	保見です/市役所の近くです
1	□うち、いえ、どこ？	1	□語で答える	保見/寮/アパート、保見
1	□保見?みよし?【例示】	0	□非言語行動での反応	(文字で)homi、地図をかく
0	□理解できない	0	□産出できない	



住んでいる所：

10. 交通手段

聞くレベル	テスター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
2	□ここまでどうやって来ていますか。/ここまでどうやって来ましたか。	2	□文で答える	車で通っています/バスで行きます/送迎で来ています/歩いてきました。
2	□ここまでなにで来ますか。/ここまでなにで来ましたか。	2	□「～です」で答える	車です/歩きます/送迎です
1	□ここまで、バスで来ますか、車で来ますか。【例示】	2	□「(手段)で」で答える	自転車で/バスで/歩いて
1	□ここに来ます。バス?車?電車?歩きます?送迎?【例示】	1	□語で答える	自転車/車/バス/送迎
0	□理解できない	1	□テストの例示を繰り返す	(テスター「車?」)うん、車
		1	□「はい、うん/いいえ」で答える	はい/うん/ううん/いいえ
		0	□非言語/母語での反応	Outobus/(文字で)車/擬音
		0	□産出できない	



11. 通勤時間

聞くレベル	テスター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
2	□家からここまで、何分くらいかかりますか?	2	□文で答える	1時間かかります/1時間もかかる
2	□家からここまで何分ですか?	2	□「～です」で答える	10分です/10分くらいです
1	□(地名:6番の回答)からここまで、10分ですか?30分ですか?【例示】	1	□語で答える	10分/1時間/10分くらい
1	□ここに来ます。時間、10分?20分?30分?(答えるまで例を出す)	1	□テストの例示を繰り返す	(テスター「30分?」)30分
0	□理解できない	1	□「はい、うん/いいえ」で答える	はい/うん/ううん/いいえ
		0	□非言語/母語での反応	数字を書く/頷く/母語
		0	□産出できない	



12. 休みの日

聞くレベル	テスター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
2	□休みはいつも何をしますか?	3	□接続表現を使って、複文や複数の文で答える。	よく家族と教会にいきますけど、ときどきパーティや買い物に行きます。
2	□休みの日に何をしますか?	2	□文で答える	買い物に行きます
1	□休みの日何をする?	2	□「～です(でした)」で答える	買い物です/バーベキューです
0	□理解できない	1	□語で答える	買い物/バーベキュー/寝る
		0	□非言語/母語での反応	
		0	□産出できない	



ロールプレイタスクへ

ロールプレイタスク

ロールカードの指示文（母語で記述されている）

私たちは今日初めて会いました。仲良くなるために、次のことを質問しながら、自然な会話をしてください。

①名前 ②住んでいるところ（どこに住んでいるか） ③家族構成（家族に誰がいるか） ④趣味
では、始めましょう。

手順① 【質問のタイプ】 【質問の適切さ】 について、質問のレベルをひとつずつチェックする

トピック	ポイント	レベル	例	
名前	質問のタイプ	3	□初対面にふさわしい丁寧な質問ができる。	・名前は何とおっしゃいますか。 ・お名前をお聞きしてもいいですか。
		2	□文を使って質問ができる。	・（お）名前は何ですか。 ・お名前は？
		1	□ごく単純な文、または単語の羅列による質問ができる。	・名前、なに？ ・私、〇〇。あなたは？
		0	□質問ができない。	
	質問内容の適切さ	2	□（質問全体として）欲しい情報を得られる質問ができる。	・（お）名前は何ですか。 ・（お）名前は？
		1	□（質問全体を見ても）十分に情報を集められる質問ができない。	・あなたはお名前ですか？ →名前を聞いているとわからない
		0	□質問の意図がわからない。質問ができない。	
住んでいるところ	質問のタイプ	3	□初対面にふさわしい丁寧な質問ができる。	・お住まいはどちらですか。 ・どちらにお住まいですか。
		2	□文を使って質問ができる。	・どこに住んでいますか。 ・お住まいは？ ・私の家は〇〇ですけど、あなたの家は？
		1	□ごく単純な文、または単語の羅列による質問ができる。	・家は？ ・うち、どこ？ ・住所、何？ ・私、〇〇住んでる。あなたは？
		0	□質問ができない。	
	質問内容の適切さ	2	□（質問全体として）欲しい情報を得られる質問ができる。	・どこに住んでいますか。 ・うち、どこ？
		1	□（質問全体を見ても）十分に情報を集められる質問ができない。	・家は？ ・アパート（寮）は？ →場所について聞いているとわからない
		0	□質問の意図がわからない。質問ができない。	
家族構成	質問のタイプ	3	□初対面にふさわしい丁寧な質問ができる。	・ご家族についてお聞きしてもいいですか。 ・ご結婚していらっしゃるんですか。
		2	□文を使って質問ができる。	・家族は何人ですか。 ・結婚していますか。 ・お父さん、お母さんと一緒に住んでいますか。
		1	□ごく単純な文、または単語の羅列による質問ができる。	・家族、何人？ ・お父さん、お母さん、一緒？ ・子供いる？ ・結婚してる？
		0	□質問ができない。	
	質問内容の適切さ	2	□（質問全体として）欲しい情報を得られる質問ができる。	・家族は何人ですか。 ・家族は誰がいる？
		1	□（質問全体を見ても）十分に情報を集められる質問ができない。	・結婚してる？ ・子供いますか。 →家族構成について聞いていない
		0	□質問の意図がわからない。質問ができない。	
趣味	質問のタイプ	3	□初対面にふさわしい丁寧な質問ができる。	・何かご趣味をお持ちですか。 ・お休みの日は何をされることが多いですか。
		2	□文を使って質問ができる。	・好きなことは何ですか。 ・趣味は何ですか。 ・好きなスポーツは何ですか。 ・何が好きですか。
		1	□ごく単純な文、または単語の羅列による質問ができる。	・趣味、何？ ・休みの日、何する？ ・何、好き？ ・私、〇〇好き。あなたは？
		0	□質問ができない。	
	質問内容の適切さ	2	□（質問全体として）欲しい情報を得られる質問ができる。	・趣味は何？ ・好きなことは何ですか。
		1	□（質問全体を見ても）十分に情報を集められる質問ができない。	・何が好きですか？→好きなものを聞く質問であり、趣味について聞いていない ・休みの日、何する？ →休みの日にすることが趣味とは限らない
		0	□質問の意図がわからない。質問ができない。	

手順② ロールプレイ全体に関して、以下の2点をそれぞれチェックする

歩み寄りの必要度	
3	<p>□よどみなく質問ができ、しかも、求める答えを適切に引き出せる質問ができる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>受験者：お名前は何ですか？ テスター：私の名前は佐藤です。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>受験者：何人家族ですか。 テスター：3人家族です。</p> </div> </div>
2	<p>□少し考える時間があれば、求める答えを適切に引き出せる質問ができる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>受験者：あー…名前…えーと…名前は、何ですか？ テスター：私の名前は佐藤です。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>受験者：あー…家族は…えーと…なに…何人ですか？ テスター：3人家族です。</p> </div> </div>
1	<p>□求める答えを適切に引き出せる質問ができないが、テスターが推測したり聞き返したりすれば、求める答えを得ることができる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>受験者：んー、あなたはお名前ですか？ テスター：えっ？ 受験者：あなたはお名前ですか？ テスター：あ、私の名前？ 受験者：はい。名前。 テスター：私の名前は佐藤です。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>受験者：あなた、結婚してる？ テスター：はい。しています。 受験者：子供はいる？ テスター：いますよ。 受験者：娘、何人？ テスター：娘はいません。 受験者：…あー、息子は？ テスター：息子は1人います。</p> </div> </div>
0	<p>□質問の生成に時間がかかり、質問できたとしても、求める答えを適切に引き出せる質問ができない。または質問を回避する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>受験者：あー…名前…あー…あなた、名前…ですか？ テスター：えっ？ 受験者：……。 (黙ってしまう) テスター：あ、私の名前？ 受験者：……？？ (首をかしげる)</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>受験者：あー…こども、いる？ テスター：いいえ。いません。 私、結婚してないんです。 受験者：あー……結婚…ない？ テスター：はい。してないです。 受験者：……。 (黙ってしまう)。</p> </div> </div>
テスター応答後の受験者の反応	
2	□「いいですね。」など、テスターの応答に対して何か一言以上が返ってくる。
1	□「うん。」など、のわずかな反応、または、テスターの応答のくり返し。
0	□頷くだけなど、非言語のみの反応。または、全く反応がない。



絵を見て話すタスクへ

「絵を見て話す」タスク

- 【「絵を見て話す」タスクの手順】
- ①「絵カード1」か「絵カード2」を選ぶ（指定がある場合はその指定の絵カードを使用する）
 - ②「絵カード1」→「絵を見て話す1」タスクへ
「絵カード2」→「絵を見て話す2」タスクへ

「絵を見て話す1」タスク

- 【「絵を見て話す1」タスクの手順】
- ①「絵カード1」を見せる。
 - ②テストターが「この人は山田さんです。昨日、山田さんは何をしましたか？説明して下さい」と言う。

1. 行動の説明

テストター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
（最初の指示で受験者が発話しない場合）絵を指で指しながら、「山田さんは何をしましたか？」とひとつずつ聞く	3	<input type="checkbox"/> 接続表現を使い、順を追って説明できる	5時に仕事が終わってから買い物をし、帰りました。／奥さんと夕食を食べました。それから電話をかけました。
	2	<input type="checkbox"/> 1つずつの絵を文で説明できる	スーパーで買い物をしました。6時に家へ帰りました。テレビを見ました。電話をかけました。
	2	<input type="checkbox"/> 1つずつの絵をやや不自然であるが文で説明できる	スーパーで買い物する。6時にアパートに帰る。テレビを見る。友達に電話する。
	1	<input type="checkbox"/> 1つずつの絵を不完全だが説明できる	買い物する。アパート帰る。テレビ見る。電話する。
	1	<input type="checkbox"/> 絵の情報の一部を単語で言える	買い物、帰った、テレビ、電話
	0	<input type="checkbox"/> 説明できない	

2. 時間の説明

テストター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
（「1. 行動の説明」で時刻を説明しなかった場合）以下の問いかけを行う □山田さんは何時に仕事を終わりましたか？ □山田さんは何時に買い物をしましたか？ □山田さんは何時に電話をしましたか？ □山田さんは何時から何時までテレビを見ましたか？ □山田さんは何時に寝ましたか？	2	<input type="checkbox"/> 「●時に～しました」「■時から▲時まで～しました」と正確に説明できる	8時半に友達に電話をしました。9時から10時45分までテレビを見ました。 ※（個別に質問した後では）9時から10時45分まで。
	1	<input type="checkbox"/> 時間は言うことができる	8時半 電話しました。9時と10時45分、テレビ見た。 ※（個別に質問した後では）9時と、10時45分。
	0	<input type="checkbox"/> 説明できない	

3. 品物と値段の説明

テストター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
（「1. 行動の説明」で値段を説明しなかった場合）以下の問いかけを行う □何をいくらで買いましたか？ □これは何ですか？いくらでしたか？ □これ何？いくら？何円？	2	<input type="checkbox"/> 品物と値段を正しく説明できる（4ペア中3ペア以上）	バナナがひゃくきゅうじゅうはちえん
	1	<input type="checkbox"/> 品物と値段を部分的に正しく説明できる（4ペア中2or1ペア）	バナナ、いちきゅうはちえん
	0	<input type="checkbox"/> 1ペアも品物と値段を正しく説明できない	
		※品物の名前	バナナ〇、牛乳〇、ミルク〇、パン〇 とりにく〇、チキン〇、とり〇、肉〇、にわとり〇

4. 電話番号の説明

テストター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
（「1. 行動の説明」で電話番号を説明しなかった場合）以下の問いかけを行う □何番に電話をかけましたか？ □電話番号は何番ですか？ □電話番号は？	2	<input type="checkbox"/> 正しく説明できる	「090-7890-1356」を全て言える
	1	<input type="checkbox"/> 部分的に言える	0,3,1 など簡単なものは言える
	0	<input type="checkbox"/> 説明できない	

「絵を見て話す2」タスク

【「絵を見て話す2」タスクの手順】

- ①「絵カード2」を見せる。
- ②テストターが「この人は田中さんです。今日の朝、田中さんは何をしましたか？説明して下さい」と言う。

1. 行動の説明

テストター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
(最初の指示で受験者が発話しない場合) 絵を指で指しながら、「田中さんは何をしましたか？」とひとつずつ聞く	3	<input type="checkbox"/> 接続表現を使い、順を追って説明できる	起きて、それから顔を洗いました。ご飯を食べてからテレビで天気予報を見ました。
	2	<input type="checkbox"/> 1つずつの絵を文で説明できる	起きました。顔を洗いました。ご飯を食べました。テレビを見ました。
	2	<input type="checkbox"/> 1つずつの絵をやや不自然であるが文で説明できる	起きる。顔を洗う。ご飯を食べる。テレビを見る。
	1	<input type="checkbox"/> 1つずつの絵を不完全だが説明できる	起きる。顔洗う。ご飯食べる。テレビ見る。電話する。買い物する。仕事。
	1	<input type="checkbox"/> 絵の情報の一部を単語で言える	ご飯。テレビ。電話。買い物。仕事。
	0	<input type="checkbox"/> 説明できない	

2. 時間の説明

テストター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
(「1. 行動の説明」で時刻を説明しなかった場合) 以下の問いかけを行う <input type="checkbox"/> 田中さんは何時に起きましたか？ <input type="checkbox"/> 田中さんは何時にテレビを見ましたか？ <input type="checkbox"/> 田中さんは何時から何時まで電話をしましたか？ <input type="checkbox"/> 田中さんは何時に買い物をしましたか？ <input type="checkbox"/> 田中さんは何時に会社につきましたか？	2	<input type="checkbox"/> 「●時に～しました」「■時から▲時まで～しました」と正確に説明できる	6時に起きました。6時半から7時までご飯を食べました。 ※(個別に質問した後では)6時半から7時まで。
	1	<input type="checkbox"/> 時間は言うことができる	6時 起きました。6時30と7時、ご飯食べた。 ※(個別に質問した後では)6時半と7時。
	0	<input type="checkbox"/> 説明できない	

3. 品物と値段の説明

テストター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
(「1. 行動の説明」で値段を説明しなかった場合) 以下の問いかけを行う <input type="checkbox"/> 何をいくらで買いましたか？ <input type="checkbox"/> これは何ですか？いくらでしたか？ <input type="checkbox"/> これ何？いくら？何円？	2	<input type="checkbox"/> 品物と値段を正しく説明できる(4ペア中3ペア以上)	サンドがにひやくきゅうじゅうはちえん
	1	<input type="checkbox"/> 品物と値段を部分的に正しく説明できる(4ペア中2or1ペア)	サンド、にいきゅうはちえん
	0	<input type="checkbox"/> 1ペアも品物と値段を正しく説明できない	
(値段の合計を説明しなかった場合) 以下の問いかけを行う <input type="checkbox"/> 合計はいくらでしたか？ <input type="checkbox"/> 全部でいくらでしたか？ <input type="checkbox"/> 全部、いくら？何円？		※品物の名前 雑誌○、本○、新聞× サンドイッチ○、サンド○、パン○、野菜× ペットボトル○、お茶○、ジュース○、その他ペットボトル飲料なら○	

4. 電話番号の説明

テストター	話すレベル	受験者の答え	答えの例
(「1. 行動の説明」で電話番号を説明しなかった場合) 以下の問いかけを行う <input type="checkbox"/> 何番に電話をかけましたか？ <input type="checkbox"/> 電話番号は何番ですか？ <input type="checkbox"/> 電話番号は？	2	<input type="checkbox"/> 正しく説明できる	「080-3156-4729」を全て言える
	1	<input type="checkbox"/> 部分的に言える	0,3,1 など簡単なものは言える
	0	<input type="checkbox"/> 説明できない	

私たちは今日初めて会いました。

仲良くなるために、次のことを質問しながら、自然な会話をしてください。

- ① 名前
- ② 住んでいるところ（どこに住んでいるか）
- ③ 家族構成（家族に誰がいるか）
- ④ 趣味

では、始めましょう。

We met for the first time.

To get to know each other, make conversation, asking the following questions.

- ① name
- ② place of living (the place you live)
- ③ family members (Who do you live with?)
- ④ hobbies

Let's start.

Nos encontramos pela primeira vez hoje.
Para nos tornarmos amigos, vamos fazer as seguintes perguntas,
através de uma conversação natural.

- ① Nome
- ② Onde você mora (Local onde mora)
- ③ Composição familiar(Membros da família)
- ④ Passatempo, hobby, gosto.

Então, vamos começar.

Hoy, es la primera vez que nos conocimos.
 Haz siguientes preguntas.

Tratad de conversar en la forma natural.

- ① Nombre
- ② ¿Dónde vive? (¿Dónde está viviendo?)
- ③ Miembros de su familia, (De cuánta gente se conforma su familia)
- ④ Aficiones, gustos.

Entonces, comenzamos.

我们今天初次见面。
为了拉近距离，请一边就下面的问题提问，一边自然的进行对话。

- ① 名字
- ② 住所（你住在哪里）
- ③ 家庭结构（家里都有哪些人）
- ④ 兴趣爱好

下面我们就开始吧。

我們今天是初次見面。
為了不產生距離感、接下來的提問、請用自然的答話方式回應。

- ① 名子
- ② 住的地方（住在哪？）
- ③ 家族成員（家族裡有誰？）
- ④ 興趣

那麼、我們開始吧。

Kami ay unang nag-kita ngayong araw na ito.
Upang magkasundo, natural na makipag-usap habang tinatanong
ang sumusunod.

- ① Pangalan
- ② Tirahan (Kung saan nakatira.)
- ③ Kamag-anak sa bahay. (Kung sino ang pamilya.)
- ④ Libangan

Mag-umpisa na tayo.

Kita baru pertama kali bertemu hari ini.

Agar jadi akrab, mulailah percakapan yang alami dengan menanyakan hal berikut.

- ① Nama
- ② Tempat tinggal (Tinggal dimana?)
- ③ Anggota keluarga (Keluarga Anda terdiri dari siapa saja?)
- ④ Hobi

Baiklah, ayo kita mulai.

พวกเราเจอกันวันนี้เป็นวันแรก
เพื่อความสะดวกสนทนากันยิ่งขึ้น ต่อไประหว่างที่ถามคำถามนั้น
เชิญพูดคุยกันตามอัธยาศัย

- ① ชื่อ
- ② ที่พัก (พักอยู่ที่ไหน)
- ③ สมาชิกในครอบครัว (มีใครอยู่บ้างในครอบครัว)
- ④ งานอดิเรก

เอาล่ะ เริ่มกันเถอะ

Chúng tôi gặp nhau lần đầu vào hôm nay.

Đề thân thiết với nhau hơn, xin hãy tự nhiên nói chuyện với nhau trong khi hỏi nhau những câu hỏi này.

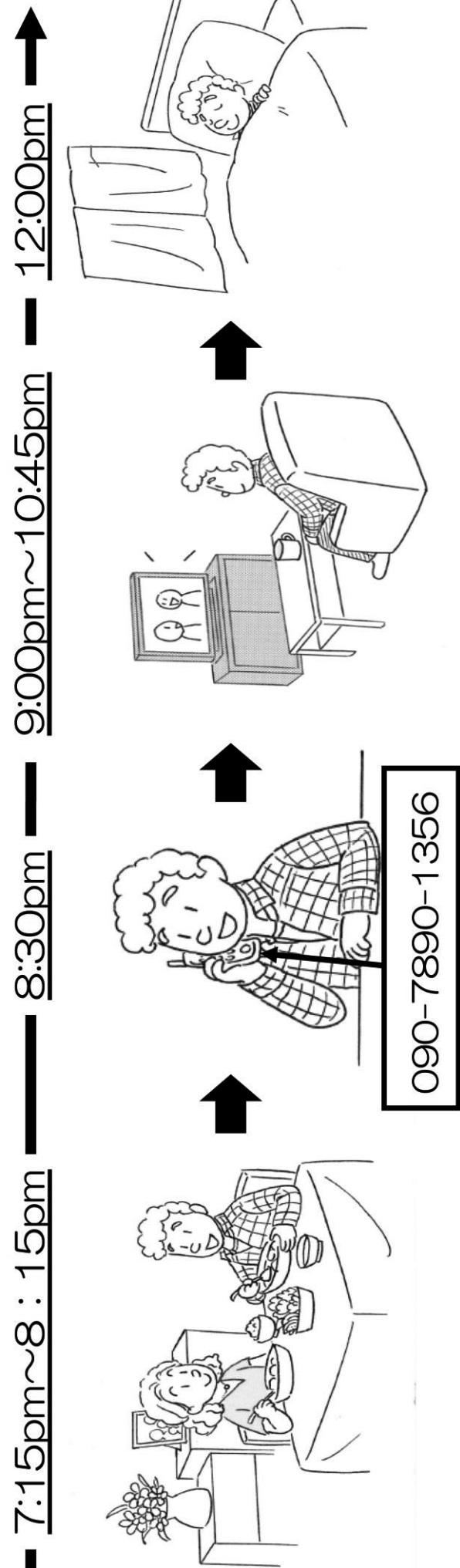
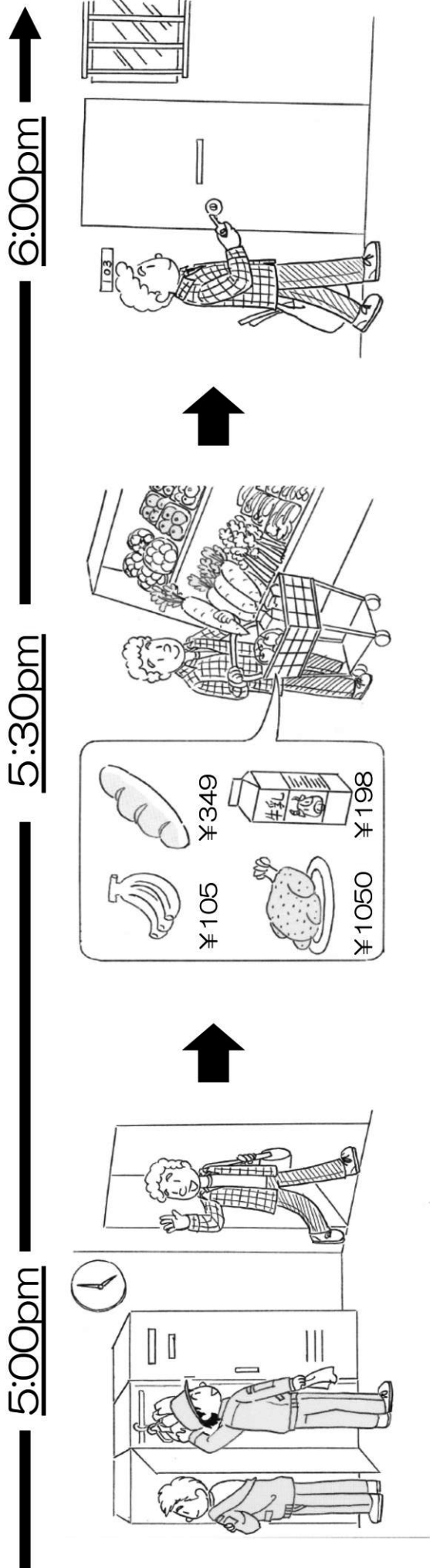
- ① Họ tên
- ② Nơi ở (Bạn đang sống ở đâu?)
- ③ Thành phần gia đình (Gia đình bạn có những ai?)
- ④ Sở thích

Chúng ta hãy bắt đầu nào!

हामीहरु आज पहिलो पटक भेट्यौं।
 राम्रो सम्बन्ध बनाउनको लागि निम्न प्रश्न गर्दै स्वाभाविक कुराकानी गर्नुहोस्।

- ① नाम
- ② बसेको ठाउँ(कहाँ बसिरहेको छ?)
- ③ पारीवारिक संरचना(परिवारमा को को छ?)
- ④ सौख

लौ, अब सुरु गरौं।



絵カード1

6:00am



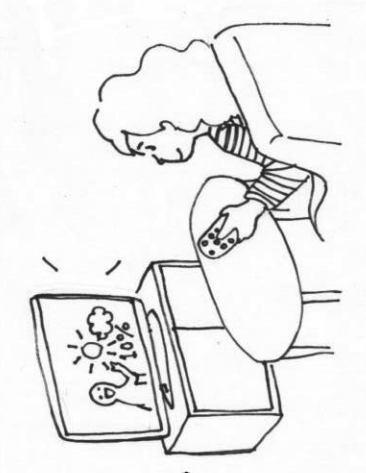
6:05am



6:30am~7:00am



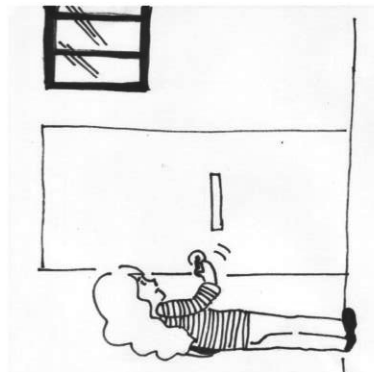
7:10am



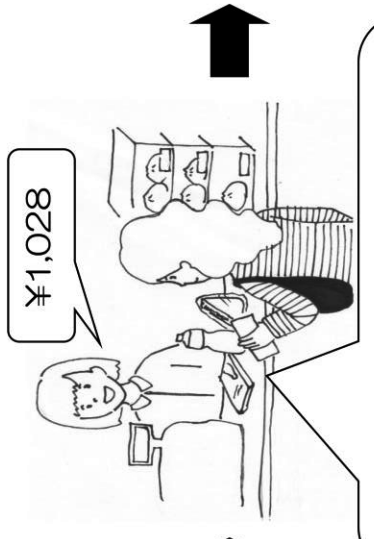
7:25am



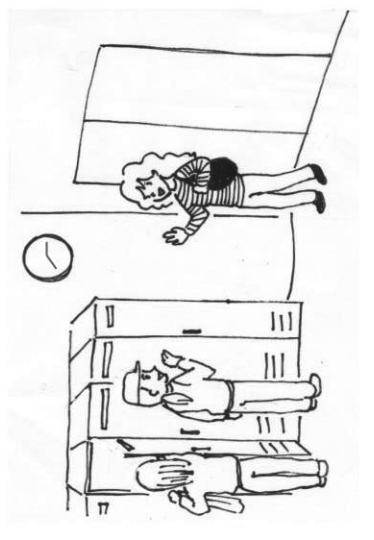
7:40am



7:50am



8:15am



080-3156-4729

POP-ON	¥580
Cake	¥298
Bottle of Water	¥150

Can-do-statements【自己評価チェックリスト】 ID番号 _____ 名前 _____

あなたは日本語で次のようなことができますか？ あてはまる数字に○をつけてください。

1：まったくできない 2：あまりできない 3：なんとかできる 4：簡単にできる

聞く		難			易
1	「こんにちは」「いらっしゃいませ」などの挨拶を聞いて理解できます。	1	2	3	4
2	はっきりした発音で、ゆっくり言ってもらえれば、質問や指示が理解できます。	1	2	3	4
3	乗り物に乗っているとき、知っている駅や停留所の名前を聞き取ることができます。	1	2	3	4
4	自分の知っている日本人の名前を聞き取ることができます。	1	2	3	4
5	いい店や場所について質問したとき、ゆっくり話してもらえれば、理解できます。	1	2	3	4
6	よくある状況で「このごろ、どう？」のような日常的な表現をいくつか理解できます。	1	2	3	4
7	店内の放送などで呼ばれて、どこに行けばいいか聞いて理解できます。	1	2	3	4
8	病院や薬局で薬をもらった時の飲み方の説明を聞いて理解できます。	1	2	3	4

話す		難			易
9	人と会ったとき日本語であいさつができます。	1	2	3	4
10	自分の名前や国籍、住んでいるところなど自分の基本的な情報を人に伝えることができます。	1	2	3	4
11	相手の人が言っていることがわからないとき、わからないと伝えることができます。	1	2	3	4
12	相手にもっとゆっくり話してもらいたいとき、日本語で頼むことができます。	1	2	3	4
13	自分の家族について人に詳しく説明することができます。	1	2	3	4
14	きのう自分がしたことを人に説明することができます。	1	2	3	4
15	会う約束をするとき、自分の都合のいい場所と時間を伝えることができます。	1	2	3	4
16	病院でいつからどこが痛いかなどの質問に簡単に答えることができます。	1	2	3	4

読む		難			易
17	書類などによく書いてある「名前」「生年月日」「国籍」などの漢字の意味がわかります。	1	2	3	4
18	カタカナ（漢字）で書かれた自分の国名がわかります。	1	2	3	4
19	カタカナで書かれた知っている店の名前や商品名がわかります。	1	2	3	4
20	工場や団地内の「注意」「立入禁止」などの表示の意味がわかります。	1	2	3	4
21	日常よく見かける「本日、定休日」など漢字の意味がわかります。	1	2	3	4
22	郵便局や宅配便などの不在連絡票が読んで理解できます。	1	2	3	4
23	年賀状やクリスマスカードなど季節のお便りなどの文を読んで理解できます。	1	2	3	4

書く		難			易
24	自分の名前がカタカナまたは漢字で書けます。	1	2	3	4
25	自分の住所がひらがなやカタカナまたは漢字で書けます。	1	2	3	4
26	自分の国名がカタカナ（漢字）で書けます。	1	2	3	4
27	買い物メモの単語をひらがなやカタカナまたは漢字を使って書けます。	1	2	3	4
28	ことづけメモなど簡単な文が書けます。	1	2	3	4
29	年賀状やクリスマスカードなどに日本語で短いメッセージが書けます。	1	2	3	4
30	ケータイメールで、友達に会う約束をひらがなまたは漢字で送ることができます。	1	2	3	4

読む

書く

番号 _____

1. Answer the following questions, writing your answer in Japanese.

氏名			
住所			
生年月日	年	月	日 () 歳
性別	男 ・ 女	国籍	

2. What do the following words mean? Mark the most suitable response with a circle.

- ① くるま：1. Telephone 2. Watch 3. Train 4. Automobile
- ② ありがとう：1. Sorry 2. Thank you 3. Goodbye 4. Nice to meet you
- ③ バス：1. Bus 2. Boss 3. Van 4. Screw
- ④ インターネット：1. Interchange 2. Internet 3. Super-market 4. Apartment
- ⑤ 出口：1. Glass 2. Window 3. Exit 4. Emergency Exit
- ⑥ 危険：1. Stop 2. Safety 2. Parking 4. Danger

3. How do you say the following phrases in Japanese? Write its equivalent in Japanese (Hiragana, Katakana or Kanji).

- ① Trash/Garbage/Rubbish： ② Children：
- ③ Toilet： ④ Ice Cream：
- ⑤ Book： ⑥ Today：

4. What do the following words mean? Mark the most suitable response with a circle.

- ① 10 時開店 : 1. Open at 10
 2. Close at 10
 3. Start work at 10
 4. Finish work at 10
- ② 月曜 : 定休日 : 1. Open on Mondays
 2. Open on Sundays
 3. Close on Mondays
 4. Close on Sundays
- ③ これは食べ物ではありません : 1. Drinkable
 2. Not Drinkable
 3. Edible
 4. Not Edible
- ④ 電気ご使用料のお知らせ : 1. Notice of Gas Usage
 2. Notice of Electricity Usage
 3. Notice of Water Usage
 4. Notice of Telephone Usage
- ⑤ 至急ご連絡ください : 1. Contact immediately
 2. Contact tomorrow
 3. Come immediately
 4. Come tomorrow

5. How do you say the following phrases in Japanese? Write its equivalent in Japanese (Hiragana, Katakana or Kanji).

- ① Congratulations
- ② Please call him (on the telephone).
- ③ I'm taking the day off (work) because I'm down with a flu.

番号_____

読む	書く

1. Answer the following questions, writing your answer in Japanese.

氏名			
住所			
生年月日	年	月	日 () 歳
性別	男 ・ 女	国籍	

2. What do the following words mean? Mark the most suitable response with a circle.

- ① くすり : 1. Table 2. Candy 3. Medicine 4. Car
- ② あぶない : 1. Don't know 2. Danger 3. Hot 4. Don't touch
- ③ タクシー : 1. taxi 2. bus 3. tax 4. charge
- ④ ペットボトル : 1. Plastic 2. Ball pen 3. Cardboard Box 4. Plastic Bottle
- ⑤ 止まれ : 1. Proceed 2. Turn 3. Stop 4. No Entry
- ⑥ 注意 : 1. Warning 2. No Smoking 3. Safety 4. Prohibited

3. How do you say the following phrases in Japanese? Write its equivalent in Japanese (Hiragana, Katakana or Kanji).

- ① a wallet : ② Telephone :
- ③ Television : ④ Supermarket :
- ⑤ a company : ⑥ Yesterday :

4. What do the following words mean? Mark the most suitable response with a circle.

- ① 6時閉店 : 1. Start at 6
2. End at 6
3. Open at 6
4. Close at 6
- ② 金曜特売 : 1. Bargains on Fridays
2. Bargains on Mondays
3. Closed on Fridays
4. Closed on Mondays
- ③ これはお酒です : 1. Drinkable
2. Non-drinkable
3. Alcohol
4. Non-alcohol
- ④ 停電のお知らせ : 1. Missed Delivery Notice
2. Power Outage Notice
3. Evacuation Drill Notice
4. Water Outage Notice
- ⑤ ご自由にお使いください : 1. Please come ahead of time.
2. Welcome to try it. Please feel free to use it.
3. Take one for free
4. This is perishable. Please enjoy while still fresh.

5. How do you say the following phrases in Japanese? Write its equivalent in Japanese (Hiragana, Katakana or Kanji).

- ① Thank you. :
- ② Please make a photo copy. :
- ③ I'm staying late for OT. :

参考文献

ここでは対象者判定テスターとしての知識や技能を高めるために参考になる文献を分野ごとに紹介します。自主学習やスキルアップなどに活用してください。

○とよた日本語能力判定の基本的理念について

■ 豊田市（2010）『とよた日本語学習支援ガイドライン』

「とよた日本語学習支援システム（以下、本システム）」のすべてに共通のガイドラインとして策定されました。日本語能力判定だけでなく、教室活動やeラーニング、人材育成などの概要から具体的な方法までが記されています。また多文化共生施策の概要や本判定の大元である本システムの成り立ちなども詳細に解説されています。対象者判定テスターにとっては、システムの全体像を理解する上で読んでおくべきもののひとつです。本システムのホームページからダウンロードできます。

<http://www.toyota-j.com/>

■ Council of Europe(2001) *Common European Framework of Reference for Language Learning, teaching, assessment*, Cambridge: Cambridge University Press. (吉島茂・大橋理枝他訳編(2004)『外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠』朝日出版社)

ヨーロッパの多くの言語教育はこの「ヨーロッパ共通参照枠(CEFR)」に基づいて目標やカリキュラムを策定し、それぞれの評価基準を定めています。本判定もこのCEFRを参考とし、独自の評価基準を策定しました。下記のサイトからもダウンロードできます。

http://wwwsoc.nii.ac.jp/jgg/jggl/library/cef_verzeichnis.html

■ 金田智子（2011）「「生活のための日本語」能力判定の可能性」『日本語教育』148号, pp.13-27. 日本語教育学会

実態調査に基づき、様々な日本語能力判定試験を「生活のための日本語」という観点から分析した論文です。生活者に求められる日本語能力を既存の試験がどのように判定しているのか、あるいはどう評価されるべきかということが詳細に述べられています。本判定も生活のための日本語を対象として開発が行われてきましたので、多くの部分で参考になります。本判定もこの中で紹介されています。

■ 鎌田修・嶋田和子・迫田久美子編（2008）『プロフィシェンシーを育てる』凡人社

日本語のコミュニケーション能力の中でも何を能力として規定するか考えるときに参考になる本です。「何ができるか」ということに重きを置いた「プロフィシェンシー」という考え方を紹介した本で、日本語学習者の日本語能力を考えるときに役立ちます。

■ 名古屋大学留学生センター（2008）『外国人住民の日本語学習における実態等予備調査委託報告書』平成19年度豊田市委託業務、名古屋大学留学生センター

本システムが構築される根拠となったのが、平成19年度実施の予備調査を集計したこの報告書です。この報告書には、豊田市に在住・在勤の外国人を対象に日本語学習の実態や日本語能力・ニーズについてアンケートやインタビューをした結果がまとめられています。本判定も判定基準の策定や方針を決める際にこの結果に基づき、想定される受験者の実態を反映した判定試験にしました。

とよた日本語学習支援システムのホームページからもダウンロードできます。下記のページをご覧ください。

http://www.toyota-j.com/misc/ja_report_9.pdf

○評価について

■ 国際交流基金（2011）『学習を評価する』ひつじ書房

日本語能力の評価について、実際の教室で教える立場に立った時、どのような考え方で評価していくのかを考えるのに参考になる本です。評価とは何か、何を評価するのかなど、「評価」の基本的な考え方から、実際の評価の観点や分析の方法などをわかりやすく解説しています。

■ 牧野成一他著（2001）『ACTFL OPI 入門』アルク

OPI（オーラル・プロフィシエンシー・インタビュー）という口頭能力を測る試験をわかりやすく解説した入門書です。本判定もこのOPIを参考にしていますので、手順や評価の方法などの幅広い面で役立つことでしょう。

■ 佐藤慎司，熊谷由理編（2010）『アセスメントと日本語教育』くろしお出版

日本語教育が「アセスメント」をどのように取り入れてきたかを、ヨーロッパ言語共通参照枠(CEFR)や日本語クラスなどへの反映から検証した本です。これまでの「結果」のみのアセスメントから、「過程」を重視したアセスメントへの転換が詳しく述べられています。

〇とよた日本語能力判定に関わる研究

著書

- 村上京子・衣川隆生・小林典子・酒井たか子・加納千恵子（2013）関正昭・平高史也（編）『日本語教育叢書「つくる」テストを作る』スリーエーネットワーク
- 村上京子（2015）「「生活者として外国人」のための日本語能力判定」李在鎬（編）『日本語教育のための言語テストガイドブック』pp. 154-174. くろしお出版

論文

- 入江友理（2012）「地域日本語教室における外国籍住民の日本語能力に関する自己評価」『日本言語テスト学会誌』第15号 pp. 115-132. 日本言語テスト学会
- 千葉月香（2016）「就労外国人の記述に対して人事担当者が用いる評価基準—工場労働者の履歴書の志望動機欄の記述に焦点を当てて—」『小出記念日本語教育研究会論文集』24号 pp. 85-96. 小出記念日本語教育研究会
- 村上京子（2008）「日本語学習支援システム構築に向けた能力判定の開発」『ヨーロッパ日本語教育』vol.13, pp.81-88.
- 村上京子（2009）「外国人就労者のための日本‘Can Do’statementsの開発—パフォーマンス・テストによる妥当性の検討」『言語教育評価研究』第1号 pp.21-34. 言語教育評価研究所
- 村上京子（2009）「Can-do-statements とパフォーマンス・テストに基づく日本語能力判定基準の策定」『ヨーロッパ日本語教育』vol.14, pp.148-155.
- 村上京子（2012）「自律的学習支援のための Can-do statements コンピュータ版の開発」『ヨーロッパ日本語教育』vol. 16, pp. 180-183.
- 村上京子（2012）「就労外国人のための読み書き判定試験の開発」『名古屋大学留学生センター紀要』10号 pp.12-22. 名古屋大学留学生センター
- 村上京子（2015）「外国人が書いた日本語電子メール文の特徴と評価」『ヨーロッパ日本語教育』vol.19, pp.301-302.

発表

- 稲熊美保（2009）「とよた日本語能力判定—現状と課題」『日本テスト学会第7回大会発表論文抄録集』pp. 50-51. （於：名古屋大学）
- 稲熊美保・入江友理（2010）「とよた日本語学習支援システムにおける対象者判定試験の開発」AELE 第2回言語教育評価フォーラム（於：桜美林大学）
- 入江友理（2011）「Can-do statements を用いた自己評価に学習者の特性が及ぼす影響—地域日本語教室における外国籍住民を対象として—」『日本語教育方法研究会誌』Vol. 18 No. 1, pp. 34-35. （於：首都大学東京）
- 入江友理（2011）「とよた日本語能力判定の「対象者判定」における判定マニュアル

の作成とテストの養成」日本語教育学会 2011 年秋季大会ポスター発表予稿集 pp. 281-282. (於：米子コンベンションセンター)

- 入江友理 (2015) 「とよた日本語能力判定」第 42 回日本言語テスト学会研究例会「多様な日本語環境にある使用者のための会話能力評価—地域外国人にも注目して—」(於：常葉大学)
- 北村祐人 (2011) 「就労外国人を対象とした実態調査に基づく判定試験の開発」日本語教育学会 2011 年第 3 回中部地区研究集会予稿集 pp. 61-64. (於：愛知教育大学)
- 北村祐人 (2011) 「集住地域における日本語支援体制とその可能性—とよた日本語能力判定から就労外国人の支援をめざして—」静岡文化芸術大学シンポジウム「外国人学習者の未来への歩みにむけて—外国人児童生徒、労働者、生活者の指導體制や研修制度から学ぶ—」(於：静岡文化芸術大学)
- 北村祐人・米勢治子・粕谷浩二・入江友理 (2012) 「「生活者としての外国人」の能力評価」日本語教育国際研究大会 (於：名古屋大学)
- 北村祐人 (2014) 「日本語学習ポートフォリオを活用してみよう—移動する学習者のための日本語能力評価—」平成 27 年度文化庁日本語教育研究協議会【熊本】(於：熊本県総合福祉センター)
- 北村祐人 (2015) 「地域における日本語能力評価のあり方」平成 26 年度群馬県女子大学「日本語ボランティアスキルアップ研修」基調講演 (於：群馬県立女子大学)
- 北村祐人 (2015) 「日本語学習ポートフォリオと日本語能力評価の実践」, 平成 27 年度文化庁日本語教育研究協議会【仙台・大阪・福岡】(於：ベルエア会館・エル・おおさか・福岡朝日ビル)
- 千葉月香 (2014) 「就労外国人が書いた日本語の履歴書の記述に対する日本語母語話者の評価—評価方法の違いが評価結果に与える影響—」日本語教育学会 2014 年秋季大会予稿集 pp. 105-110. (於：富山国際会議場)
- 千葉月香 (2015) 「「生活者」としての外国人の読み書き能力の発達順序—地域日本語学習支援教室のプレースメントテスト結果から—」日本語教育学会 2015 年秋季大会予稿集 pp. 176-181. (於：沖縄国際大学)
- 村上京子 (2008) 「就労外国人を対象とする日本語能力の測定」日本言語テスト学会第 12 回全国研究大会 (於：常磐大学)
- 村上京子 (2010) 「4 技能におけるコミュニケーション能力の測定方法の開発」第 15 回ヨーロッパ日本語教育シンポジウム (於：ルーマニア・ブカレスト大学)
- 村上京子・北村祐人・中岡ヘナト・奥田清仁・渡邊博顕 (2013) 「「生活者としての外国人」にとっての日本語能力向上の意義を問う」日本語教育学会 2013 年秋季大会パネルセッション (於：関西外国語大学)
- 村上京子 (2013) 「地域外国人のための日本語評価」シンポジウム「言語能力評価の最前線」桜美林大学 (於：桜美林大学四谷キャンパス)
- 村上京子 (2014) 「学習支援につながる評価のしくみ」基調講演&ワークショップ (於：デンマーク・東海大学ヨーロッパ学術センター)
- 村上京子 (2014) 「外国人が書いた日本語電子メール文の特徴と評価」第 18 回ヨーロッパ日本語教育シンポジウム (於：スロベニア・リュブリアナ大学)

- 村上京子 (2014) 「日本語教育における e-learning と e-testing の開発と運用」 日本研究言語グループ定期講演<招待講演> (於 ; オランダ・ライデン大学)

科学研究費助成

- 基盤研究 (C) 21520536. 2009 年-2011 年度 「読み書き能力レベル判定試験の開発」
代表 : 村上京子
- 基盤研究 (C) 24520576. 2012 年-2014 年度 「地域外国人のためのコンピュータ版日本語能力判定試験の開発」 代表 : 村上京子

※とよた日本語能力判定「レベル判定」に関する研究、及び、とよた日本語能力判定のデータの一部を使用した研究も含まれます

執筆者

村上 京子（名古屋大学 名誉教授）

北村 祐人（名古屋大学とよた日本語学習支援システム 前システム・コーディネーター）

入江 友理（中部大学日本語教育センター 非常勤講師）

協力者（初版・第2版）

米勢 治子（東海日本語ネットワーク 副代表）

西村 美保（清泉女子大学 准教授）

改訂協力者（第3版） ◎改訂執筆総括

鈴木 崇夫（名古屋大学とよた日本語学習支援システム システム・コーディネーター）

米勢 治子（東海日本語ネットワーク 副代表）

鷺見 幸美（名古屋大学国際言語文化研究科 准教授）

古本 裕子（名古屋学院大学留学生別科 非常勤講師）

◎千葉 月香（名古屋大学国際言語文化研究科 博士後期課程3年）

木村あずさ（名古屋大学国際言語文化研究科 博士後期課程2年）

安藤 郁実（名古屋大学国際言語文化研究科 博士後期課程1年）

末松 大貴（名古屋大学国際言語文化研究科 博士前期課程2年）

とよた日本語能力判定

対象者判定の手引き [第3版]

2011年8月 初版

2012年3月 第2版

2016年8月 第3版（改訂版）

2020年3月 第3版（改訂版）第2刷

● 豊田市 経営戦略室 国際まちづくり推進課

TEL 0565-34-6963

FAX 0565-34-6681

URL <http://www.city.toyota.aichi.jp/>

E-MAIL kokusai@city.toyota.aichi.jp

● 名古屋大学 とよた日本語学習支援システム

URL <http://www.toyota-j.com/>

E-MAIL otoiawase@toyota-j.com